

## VII章 社会変容期における集団間関係



## Ⅶ章 社会変容期における集団間関係

### 1. 石材流通の様相

Ⅱ期の中九州地域においては、各遺跡の出土状況から石材ごとに特徴的な搬入状況が示される。すなわち、各石材の具体的な石材流通の様相を推定し、それらを総合的に捉えることによって、当該時期の集団間の関係を復元することが可能である。以下、特徴的な流通のあり方を示した石材に焦点をあて、分析対象遺跡を例として用い、その復元を試みる。

#### (1) 黒曜石 A

Ⅱ期に見られる黒曜石 A の流通は、基本的に鈴桶技法における流通と同様に、中心地遺跡と捉えることができる遺跡を中心としたものであったと考えられる。鈴桶技法における流通では、原石や石核ではなく原産地遺跡である鈴桶遺跡で生産された石刃が主体となって一元的に流通していた。しかし、それ以外の黒曜石 A は剥片のみならず原石や石核での流通も前提としており、各地で剥片剥離作業が行われていた。これは、その出土量と多量の石核、調整剥片、そして何より無加工の原石が出土しており、中心地遺跡と考えられる上南部遺跡の様相から明らかである。このような状況は、鈴桶技法よりもむしろ吉留の示した黒曜石流通の様相(吉留 2004)に近く、その広域流通の延長上にあつたものと考えられる。しかし、上南部遺跡において黒曜石の埋納遺構が検出されることはなく、原石の大量保有が行われているわけではない。また、剥片、製品に対する原石、石核の保有量も吉留の示す内陸部集落のものに類似する。このことから、この場合の上南部遺跡は、吉留が示した海浜部集落のように、原産地と直接的に関わるという役割を果たしていたわけではなく、あくまでその次段階以降における中心地遺跡であった。

上南部遺跡(中心地遺跡)以外の遺跡から出土する黒曜石 A の搬入状況からは、前述したように 3 タイプの遺跡が存在していたことが分かった。すなわち、中心地遺跡ほどの規模ではないが石核・礫の搬入があり、剥片剥離作業を行っていた遺跡(以下「二次生産遺跡」とする)、剥片剥離作業は行われぬが剥片段階での搬入があり、製品加工も含む使用を行っていた遺跡(以下「素材剥片搬入遺跡」とする)、製品まで加工された段階での搬入が行われ、純粋に使用のみが行われた遺跡(以下「製品搬入遺跡」とする)である。実際に、この遺跡分類を石材分析に用いた遺跡にあてはめてみると、まず中心地遺跡である上南部遺跡と同様に白川流域の遺跡集中圏に属する乾原遺跡、緑川流域の遺跡集中圏に属する二の峠遺跡、鳥井原遺跡が製品搬入遺跡に該当する。そして、菊池川流域の遺跡集中圏に属する三万田遺跡が素材剥片搬入遺跡に該当し、その集中圏から離れた下流域付近に立地する梅迫遺跡と井芹川流域の遺跡集中圏に属する島崎遺跡が二次生産遺跡に該当する。

菊池川流域の三万田遺跡は、住居址の出土する A 3 類の集落遺跡であり、黒曜石 A が用いられた剥片、製品が多量に出土するが、上南部遺跡のように剥片剥離作業を行っていない。すなわち、剥片段階の石器をどこかから入手する必要があり、その場合中心地遺跡から入手するパターンと、中心地遺跡から石核・礫が搬入されると考えられる同一河川流域の梅迫遺跡のような二次生産遺跡から入手するパターンとが考えられる。ただ、この場合他の二次生産遺跡である集落遺跡において剥片剥離が行われており、その結果得られた剥片が素材剥片搬入遺跡へと搬出されるパターンも存在するであろう。例えば実見対象遺跡



ではないが、上南部遺跡と三万田遺跡の中間地域に立地するA1類のワクド石遺跡では、報告されているだけでも100点近くの黒曜石A製石核が出土しており、確実に剥片生産を行っていた遺跡であると考えられる。その量から、中心地遺跡のひとつであった可能性もある。本遺跡からは、安山岩F製も含め100点近くの石刃が出土していることから、鈴桶技法における流通の一部をも担っているが、やはりそれに伴う石核は出土していないことから、出土した黒曜石A製の石核は全て鈴桶技法と関連しない剥片を剥離したものであろう。このような遺跡も存在していることから、実際にはより細かい流通段階が存在した可能性もある。ともかく、三万田遺跡のような素材剥片搬入遺跡では、剥片生産を行う遺跡からの剥片搬入が行われていることは確かであり、本稿では梅迫遺跡を例に論を進めていきたい。

梅迫遺跡は、居住痕跡がないうえに多量の石核・礫、剥片が出土する遺跡であることから、剥片剥離作業を専門的に行う場であったと考えられる。これを行う専門集団が存在したかは別として、本遺跡ではその性格から、生産した剥片を自家消費のみに費やしていたとは考えにくい。すなわち、生産した剥片を別の遺跡へ搬出しており、立地的にも三万田遺跡に搬出することは可能である。立地上、三万田遺跡では上南部遺跡やワクド石遺跡からの搬入が行われる方が自然ではあるが、これには梅迫遺跡における片岩Aという在地産石材の流通の問題が関わってくるため、次項と合わせて総合的な解釈につなげたい。

一方、緑川流域や中心地遺跡の立地する白川流域のA3類遺跡や、包含層のみによって構成されるC類遺跡は製品搬入遺跡にあたり、直接的に製品のみが搬入される。数点の剥片が出土する場合もあるが、遺跡内における製品加工はほとんど行っていないと考えてよいであろう。このような遺跡に関しては、距離的にも素材剥片搬入遺跡を経由するより、むしろ中心地遺跡から直接搬入が行われていた可能性が高い。また、鳥井原遺跡は土器等の遺物出土状況からキャンプサイトのような位置付けの遺跡であった可能性が高く、製品を保持した人々が直接出向くことによって搬入が行われたとも考えられる。

また、井芹川流域遺跡集中圏に関しては、島崎遺跡が二次生産遺跡に該当しており、上南部遺跡から石核・礫が搬入され、剥片剥離作業が行われていたと考えられる。島崎遺跡は、梅迫遺跡と同様に住居址が出土しないが、多くの遺構が検出されていることから居住遺跡ではなくB類遺跡であり、やはり作業場としての性格を有していたと考えられる。遺跡内から出土する石器に関しても、黒曜石Aが際立って多く、それと比較すると他石材の利用は非常に少ないことから、黒曜石Aに対する作業場であった可能性が高い。よって、剥片剥離の結果得られた剥片はそこから他遺跡へと搬出されたと思われる。

## (2) 片岩A

黒曜石Aとは異なった流通を示す石材が片岩Aである。黒曜石Aは、原産地からの距離にかかわらず大量保有遺跡が存在しており、しかもそこでは剥片生産が行われ、さらに他遺跡への石核・礫の搬出も行う。片岩Aの流通では、原産地周辺の遺跡(原産地遺跡)で自家消費をはるかに超えるほどの礫、剥片が多量に出土し、それらが河川流域を越えて流通するうえに、その距離にかかわらず石材を多量に保有する遺跡(上南部遺跡)が存在する。大量保有の遺跡が存在する点については、片岩Aの流通は黒曜石Aと変わらない。よって、上南部遺跡のように大量保有を示す遺跡を、中心地遺跡と位置付けてよいだろう。



しかし、片岩Aの場合原産地遺跡以外の遺跡では礫は出土せず、剥片や製品のみが出土している。すなわち、片岩Aの流通は鈴桶技法における流通に近い、原産地遺跡における一元的な生産・流通の様相を呈している。しかし、この場合原産地遺跡となる梅迫遺跡は集落遺跡ではなく作業遺跡と捉えられることから、專業集団の問題は別としても、付近の集落遺跡に居住する人々が訪れることによってその作業が行われていたと考えられる。遺跡分布から、梅迫遺跡周辺には集落遺跡の立地が希薄であるため、三万田遺跡の立地する菊池川流域遺跡集中圏の遺跡の人々がこの役割を担っていた可能性が高い。これは、Ⅱ期になって定住化が進み、民族例に見るような土地ならびにそこから産出する資源の占有権が発生している可能性が高いことから想定される(小畑 2005)。Ⅰ期の石材利用状況から考えると、片岩Aの原産地にあたる土地の占有権は、以前から積極的な石材利用を行っていた菊池側流域の集落遺跡にあったと考えることが妥当であろう。よって、白川流域の遺跡の人々が片岩Aを入手しようとする場合には、菊池川流域遺跡を介していたと考えられる。また、この場合、梅迫遺跡で出土する黒曜石Aの石核や礫は、菊池川流域遺跡の人々によって持ち込まれたことになるため、黒曜石Aに対し上南部遺跡から菊池川流域遺跡集中圏の集落を経由する流通ルートが想定される。

そこで、三万田遺跡における片岩Aの出土状況を見てみると、礫はほとんど出土しておらず、ほぼ同量の剥片と製品によって構成されていることから、原産地遺跡や中心地遺跡とするよりも、むしろ使用段階に重点をおいていると捉えられる。原産地に近い距離に位置する遺跡ならば、片岩Aの出土量が多い方が自然な現象として捉えられるにもかかわらず、より距離が離れる上南部遺跡の方がはるかに多量の剥片、製品を保有している。また、この剥片と製品が同量出土する状況は、同遺跡内における黒曜石Aの出土状況と類似する。このことから、片岩Aについても黒曜石Aと同様に他遺跡から剥離作業が行われた剥片が搬入され、他遺跡へと再び搬出されると考えられる。すなわち、三万田遺跡が上南部遺跡から搬出された石核・礫段階の黒曜石Aと、梅迫遺跡で剥片剥離作業を行い持ち帰られた剥片段階の片岩Aとを交換する場としての役割を有していた可能性が考えられる。この場合の交換は、ポランニーの示した互酬にあたる。交換された黒曜石Aの石核・礫は、片岩Aの剥片剥離作業の際に作業場である梅迫遺跡へ持ち込まれ剥片剥離が行われた後、剥片のみが再び三万田遺跡に持ち帰られる(図 32)。実際に三万田遺跡とそれらの遺跡間の直接的な関係を証明することはできないが、菊池川流域の遺跡集中圏に立地する遺跡のいずれかがこのような交換の場であった可能性は高い。各河川流域における複数の遺跡集中圏の存在、作業場としての原産地遺跡、上南部遺跡のような中心地遺跡の存在とその石材利用状況からこのような過程を推定することができる。

一方、黒曜石Aの流通について製品搬入遺跡であった白川・緑川流域遺跡においては、片岩Aも同様に製品段階での搬入が行われている。このことから、片岩Aについても黒曜石Aと同様に中心地遺跡から製品が直接搬入されていたと考えてよいであろう。この場合、菊池川流域遺跡のように中心地遺跡と交換を行う可能性がある石材は、砥石として目的的な利用が行われている砂岩である。しかし、緑川流域の集落遺跡では梅迫遺跡のように砂岩を多量に保有している遺跡は認められず、反対に鳥井原遺跡のようなキャンプサイトと考えられる様な遺跡やA3類にあたる遺物出土量の少ない小規模な集落遺跡が存在することから、これらの遺跡はむしろ白川流域の大規模集落遺跡に住む人々が、砂岩を直接入手



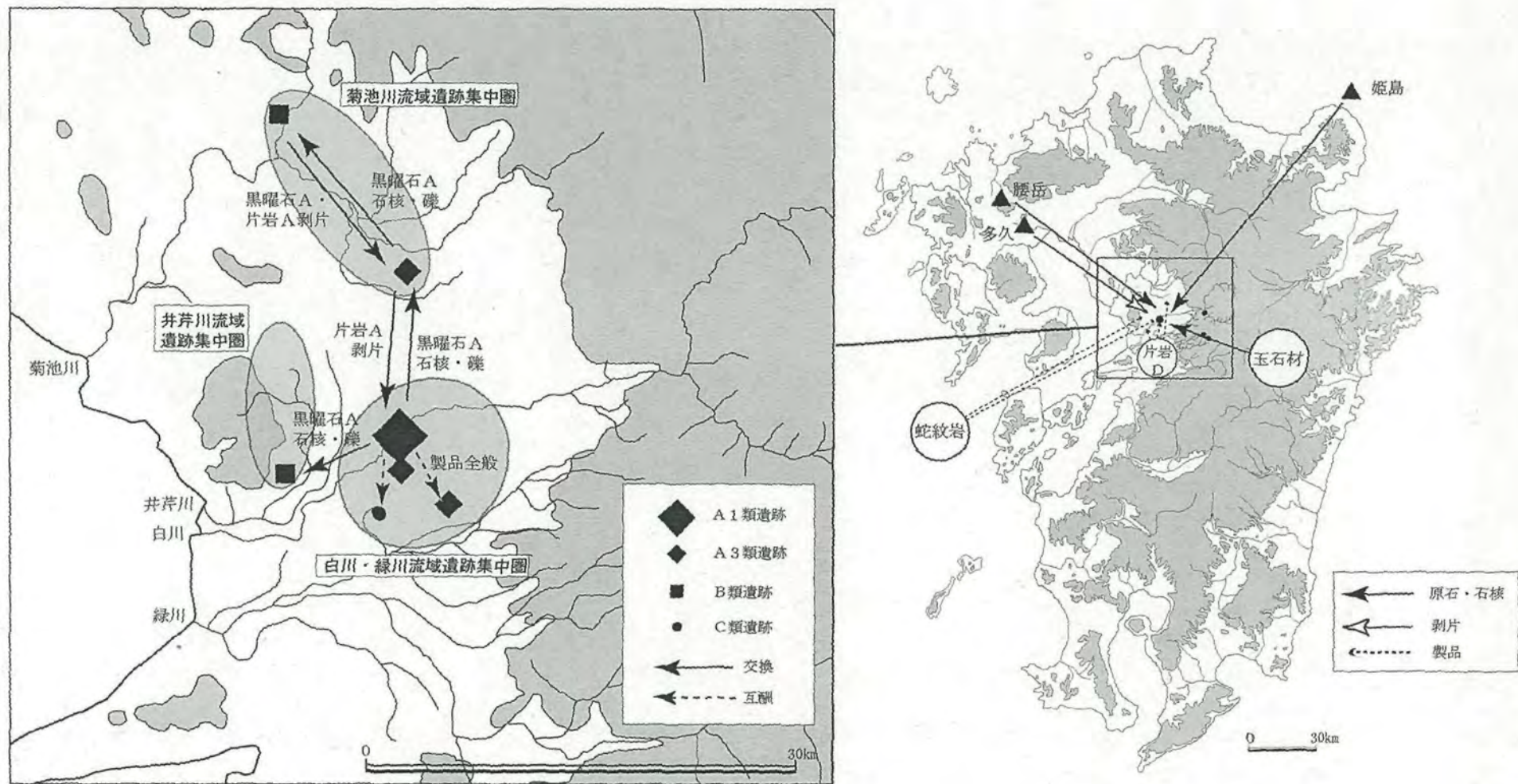


図32 後期後半石材流通復元図

するための足掛かりとなる場としての役割を担っていたのではないかと考えられる。すなわち、白川流域遺跡集中圏と緑川流域遺跡集中圏は同一の生活意識をもった人々によって構成された1つの生活圏であったことを示している。この場合、中心地遺跡と小規模集落遺跡やキャンプサイトとの間に見られる製品流通は、砂岩という見返りがあったにせよ、むしろ贈与に近いものであったと考えられる。

井芹川流域遺跡においては片岩Aの流通がほとんどなく、上述したように黒曜石A専用ともいえる作業場であったと考えられる。それでも中心地遺跡から黒曜石Aの石核・礫の搬入は行われていたはずである。しかし、この地域には片岩Aのように交換に値する石材の産出地が存在しない。金峰山で採取可能と思われる玄武岩質安山岩も、二子山における一元的流通の様相を示している。そのため、具体的な様相を示すことができない。しかし、石材以外の何らかの物資を交換に充てていたことも考えられることから、菊池川流域遺跡集中圏と同様の位置付けであったと判断したい。

### (3) 二子山産打製石器

安山岩E、すなわち二子山産安山岩の流通はI期からごく少量のみ認められるものの、II期になって爆発的に増加する。その利用の大半は打製石斧であるが、円盤状石器等の打製石器や磨製石斧、局部磨製石斧といった磨製石器への利用も確認できる。各遺跡における出土状況はほぼ全てにおいて製品状態であり、多少の剥片や加工の少ない未製品としたものも出土するものの、素材となるような礫が出土していないことから、主に製品まで加工されたものが搬入されたと考えられる。それに加え、合志市の二子山に石器製作址が存在し、製作段階から製品までの石器資料がきわめて多量に出土することから、ここで製品の状態まで加工されたものが一帯に流通していたと考えてよいであろう。

二子山石器製作址の立地環境は、前述したが金峰火山の外輪山に由来する溶岩が部分的に隆起して形成されている丘陵地である。すなわち、遺跡立地周辺で同一石材を入手することができる金峰山山麓に立地する井芹川流域集中圏の遺跡が、この石材による石器製作に関わっていた可能性は少ない。またこのことは、金峰山山麓に立地する島崎遺跡で安山岩Eが全く出土していないことから明らかである。しかし、二子山周辺にはこのような一大流通を示す物資を取りまとめているような集落遺跡は存在せず、また二子山自体が各遺跡集中圏間の中央に位置することから、その生産・流通の全体像を把握することは困難である。ただし、後期後半において総体的な遺跡数やその規模、石材利用の拡大が見られることは事実であり、その中で二子山産の石器が一元的かつ一定の形態で流通していることは、遺跡間の関係性の形成に伴って生じた現象の1つとして捉えられるべきであろう。

また、その分布域からは広域流通ほどの広がりを示すわけではないものの、特定の河川流域における占有的な流通ではなく、白川・井芹川流域をも含めた流通が想定できる。すなわち、近隣地域に産出される石材を用いたごく一部の遺跡による小規模の石材流通ではなく、遺跡集中圏を越えた広がりを示すことから、遺跡集中圏間における共通要素としてその関係性を示唆している。

### (4) 特定石器専用石材

#### i) 磨製石斧石材



特定石器に用いられる特定石材を、ここでは「特定石器専用石材」と称する。磨製石斧専用に使われている石材に蛇紋岩、砂岩Dが挙げられるが、これらには二子山産打製石器と同様の流通形態が認められる。これらは、安山岩Eと同様に製品としてのみ各遺跡内で出土しており、特定の生産遺跡で製品にまで加工された段階で搬出されている。蛇紋岩については、以前から産地が特定できないことと、九州一円に同様の形態で分布しているにもかかわらず製作遺跡が発見されていないという研究課題を抱えているが、中九州地域において具体的な出土様相が示されたことはなく、実際にどのような流通が行われているのか明らかにされることはなかった。本稿において、蛇紋岩製磨製石斧の生産に対する解明までには至らないが、その流通形態は二子山産打製石器と同様の一元的なものであったことを改めて推定することができる。

また、城・下原遺跡や梅迫遺跡といった一部の遺跡で見られる、外見的に類似する変はんれい岩の存在から、蛇紋岩に対するブランド性を連想することができ、そのことが蛇紋岩流通に対する一元性を強調している。また、中九州地域から製作址が発見されていないことから、蛇紋岩を遠距離石材として扱うことも可能である。その場合、遠距離石材が製品状態まで加工された後に、広域かつ一元的に流通するという特定の専門的な流通システムが存在することから、広域流通における特定の様相を示すことは可能であろう。

砂岩Dについても詳細な産地、生産体制を解明するには至らないが、特定石材が製品形態でのみ出土するという状況は同様であるため、一元的な生産・流通体制があったと考えられる。また、砂岩Dと蛇紋岩の産地はその石質から別の場所であると判断することができる。そのため、ごく地域的ではあるが、二子山産打製石器も含め石器の一元的な生産と流通が複数石材にわたって個別に行われていたことが想定される。その全体像が掴めないことから、それぞれに「専門集団」による生産・流通であったと明言することはできないが、Ⅱ期にはそのような状態に近い生産・流通体制が複合的に広がる社会が存在していたと考えられるのである。

## ii) 玉石材

中心地遺跡である上南部遺跡では、玉石材が原石から製品に至るまでの各段階の形態で出土する。しかし、他遺跡において玉や素材剥片は出土しても、原石や素材剥片の剥出段階を示す石器は、限られたごく一部の遺跡からしか出土しない。このことから、玉石材も黒曜石Aと同様に中心地遺跡に原石が流通し、そこで素材剥片または未製品(未穿孔段階)、製品まで加工が行われ、他遺跡に搬出されたものと考えられる。石材原産地が明確になっていないことから、中心地遺跡までの具体的な流通様相を復元することはできないが、特定石器に用いられる特定石材の流通としては安山岩Eや砂岩D、蛇紋岩とは異なった様相を示すことは明らかである。すなわち、特定石材の流通体制には製品のみが広く流通する場合と、無加工の素材が中心地遺跡に集められたうえで、ある程度の加工が行われた後素材や製品が流通する場合との2通りが想定でき、より複雑な流通の様相があったものと考えられる。

また、中心地遺跡で加工された玉や未製品、素材剥片が流通する遺跡は限られており、本稿で対象遺跡とした中では三万田遺跡と島崎遺跡からしか出土していない<sup>(1)</sup>。特定遺跡でのみ玉が出土するという現象は、大規模集落の拡大とともに指摘されており、特にA1



類に相当する大規模集落では、加工過程も含め多くの玉が出土する傾向がある。このことから、玉石材の流通にはさらに特定の条件が付随していたものと考えられる。

#### (5) 黒曜石B・安山岩F

最後に、黒曜石Bと安山岩Fの流通様相に触れておく。両者は黒曜石Aと同様に遠距離石材であり、広域に流通を示す例として注目される。しかし、黒曜石Aと比較して黒曜石Bが多用されている状況は見られない。中心地遺跡である上南部遺跡においては、黒曜石Aと同様に石核や調整剥片の出土はあるものの、その量は少なく石核、剥片とともに黒曜石Aの5分の1程度である。上南部遺跡以外では石核が出土すること自体がほとんどなく、剥片や製品状態でのみ出土する。このことから、黒曜石Aと同様の流通は行われていたものの、その規模は小さいものであったと推定される。

安山岩Fについては、黒曜石Aよりも製品利用率が高く、頻繁な利用状況が認められる。しかし、その出土形態はほぼ剥片のみによって構成され、最大の出土量を誇る上南部遺跡においても剥片に対する石核の量が約1%と非常に少ない。すなわち、その多くが剥片状態で搬入されているのである。安山岩Fは黒曜石Aと原産地が近く、鈴桶技法と長尾開拓技法に見るような類似した技術が用いられていることから共通性が高いと考えられる。場合によっては、同時に石材流通が行われていた可能性も考えられるのであるが、黒曜石Aは石核・礫、剥片とバリエーションが認められるのに対し、安山岩Fは剥片のみという状況である。すなわち、原産地が同一地域にあっても、その流通に関しては個別のものであったと考えられる。このことから、各石材についてそれぞれの流通ルートとそれに関わる人々が存在していた可能性が高い。

## 2. 集団間関係

### (1) 集団の定義

石器石材の動きから、石材別に具体的な流通の様相が明らかになってきた。これらに対し、総体的に解釈を加えることによって、後期後半の集団間関係の復元を試みる。

そもそも、社会集団とは「特定の目的を継続的に志向・共有する構成員によって形成され、目的追求の過程で一定の規制と役割分担を各構成員に課すことによって、強い連帯意識を保持させることになった集合体」とされ(山本 2004)、その単位は家族、世帯、氏族、部族等に求められる。本稿では、遺跡分布から河川流域単位における遺跡集中圏を抽出し、石器石材の利用と流通形態から見られる各集中圏間の関わりを示してきた。その結果、白川流域遺跡集中圏と菊池川流域遺跡集中圏との間に石材交換を介した関わりが見られ、同じく緑川流域遺跡集中圏との間に石材入手における共同生活圏を示すことができた。すなわち、この各河川流域遺跡集中圏にそれぞれ特定の目的を共有する集団としての要素が含まれていると考えられる。このことから、これらの遺跡集中を1つの集団として捉えることができ、菊池川流域集団、緑川流域遺跡を含めた白川流域集団、井芹川流域集団の3集団の存在を想定することができる。井芹川流域遺跡集中圏においては、具体的な流通の様相が不明なため、明確に他流域集団との交換関係であるか共同生活圏を保有していたかを示すことができない。しかし、その石材利用の性格から、緑川流域遺跡集中圏よりは菊池川流域集団に近いと考えられるため、個別の集団として捉えられる。



この場合の「集団」は、部族としての社会集団に最も近いと考えられる。部族の概念は、人種、言語、文化等の特徴を共有し、一定の地域内に住む同族意識をもつ集団と捉えられる。人種、言語の復元は困難であり、部族と定義するには非常に未熟であると思われるが、特定の文化共有を示していることから、それに近い集団であると考えられる。中九州地域における文化共有の例として、富田の示した土偶の頭部文様の差による分類とその遺跡分布が挙げられる。それによると、前述したように同一類型が集中する地域として、三万田遺跡を中心とする菊池川流域、井芹川流域、託麻原台地を中心とする白川流域の分布と3箇所にまとめられるという(富田 1990)。富田は、この分布差に同一土器型式を有する広い文化領域内における、より緊密な地縁的関係をもつ集落のまとまりを求めている。このまとまり内における集落間には、土偶施文が有する呪術的意味に対する共通認識があり、祭祀文化的共通性が存在している。この分布域は、本稿で設定した各流域遺跡集中圏と重なりを示すことから、各流域集団内では文化的な1つの共通意識を有していることが想定される。

また、これらの3集団はそれぞれが谷口康浩の示すところの「地域社会」に当てはまると思われる。地域社会とは、「一定の領域を基盤として土地の用益権をもつ主体者となり、その開発・維持を行う」「対面的な結びつきのなかで共住する人びとの集団」と定義されている(谷口 2004)。すなわち、菊池川流域集団は片岩Aの採取に対する用益権を有しており、白川流域集団は黒曜石Aと砂岩を流通させる権利を有していたと捉えられることから、このカテゴリーにあてはまるであろう。さらに、谷口は「複数の地域社会が結びついてより大きな地域集団を形成している」集団のことを「地縁集団」と定義している。谷口は具体例として「部族」を提示しているが、同時に組織原理や規模は様々であることから一定の概念で規定することは難しいとも述べている。そこで、本稿における各地域社会、すなわち菊池川流域集団、白川流域集団、井芹川流域集団が交換関係によって結びついた集団間関係を地縁集団内による関係性として捉えておきたい。本稿では、この集団間関係を広域石材流通との関係性を示すために、「地域集団」内の関係性と呼称する。これに対し、広域石材流通に関わる広い範囲の集団間関係を「広域集団」内の関係性とする。

## (2) 集団間関係の復元(図 33)

### i) 地域集団内関係

中九州地域における3集団間の関係性は、財の交換(互酬)関係によって構成されている。この交換は、財のカテゴリ体系に示されるような同一カテゴリ同士の交換に限らず、自領域内における豊富な財を用いて相互に必要な財を入手しようとするものであった。すなわち、財の交換においてそのレベルに価値を求めるのではなく、あくまでも相互的な必要性に主観をおいていたと考えられる。そのため、財のカテゴリ体系のように高レベルの財に威信性が含有されていたわけではなく、特殊石器・玉レベルの財は祭祀的意義を有するのみの存在であったと考えられる。また、このことは玉や土偶が出土する遺跡が、限定されてはいるものの、A1類のような大規模集落遺跡のみに限らないことにも示されており、集落間における階層的な意識は薄かったものと思われる。中心地遺跡の存在から考えると、集団内において流通の拠点となる集落は存在した可能性がある。しかし、その集落が集団間における流通をコントロールしているような様相は見られない。むしろ、レベ



ルのより低い財に多く用いられる石材(片岩A)を入手するために、高レベル財に用いられる石材(黒曜石A)を手放していることから、高レベルの財も生活に必要とされる財を入手するための単なる消費材と見なしていた可能性が高い。黒曜石Aに関しては、原産地との距離が遠いことから直接的な入手が困難なため、価値の高い石材であるといえる一方で、原石は拳大で運搬がしやすく、広域流通の存在から遠隔地においても豊富な入手が可能であった。すなわち、石器器種のレベルに関係なく、豊富に入手が可能な石材には特別な価値が見出されることがなかったと考え

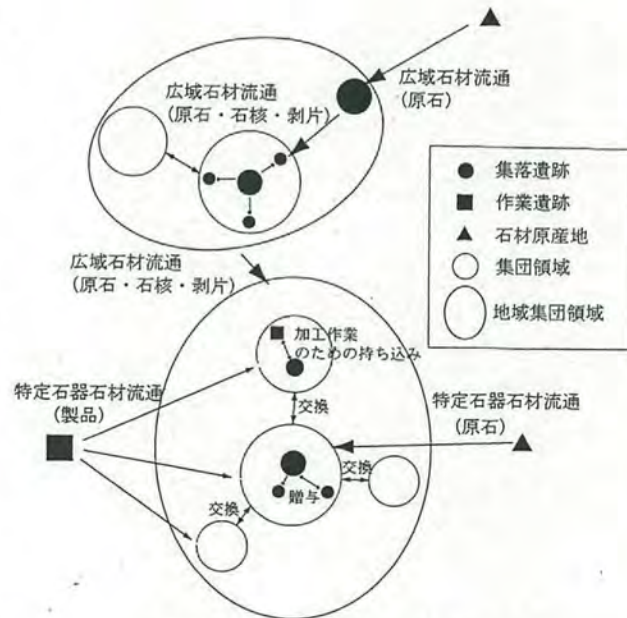


図33 後期後半集団間関係モデル

られる。すなわち、地域集団内の関係性は石材の価値にこだわった利益重視のものではなく、あくまで不足しているものを相互に補い合う平等かつ友好的なものであったと想定される。

一方、単一集団内の遺跡同士の関係性は、一部に互酬の性格を有する贈与関係によって構成されている。すなわち、必要に応じて中心地遺跡から各遺跡に財が供給され、それによって代価となりうる財を得る場合もあるが、基本的には自領域内の資源を獲得するための消費行為を前提とした、見返りを求めない関係性である。

## ii) 広域集団内関係

広域集団内の関係性は、黒曜石Aを見る限りでは中九州地域が九州地域一円における広域流通の一部であったと捉えられる。しかし、流通源である北部九州地域の遺跡から、中九州地域との間に生じたであろう黒曜石Aの代価と考えられるような財の出土は認められないことから、地域集団のように具体的な関係性を示すことができない<sup>(2)</sup>。これは、原産地の詳細は不明であるものの、蛇紋岩や玉石材においても同様である。しかも、それらの石材は蛇紋岩のように製品による一元的な流通様相を示していることから、一部専門的な行為であった可能性も示唆される。しかし、反対に地域集団内における流通の様相とは明らかな差異が見られる。I期には、鈴桶技法に見られるように広域流通を介した集団関係のみが存在しており、このような状況は見られなかった。このことから、広域と個別地域内における2種の異なる関係性の上に中九州地域の後期後半社会が成立していたことは確かである。

## (3) 集団間関係と社会(図34)

吉留が示したように、II期には北部九州におけるフネを用いた黒曜石Aの広域流通が存在していた。上述のように、中九州地域における黒曜石Aの流通も、その一連の流通の延



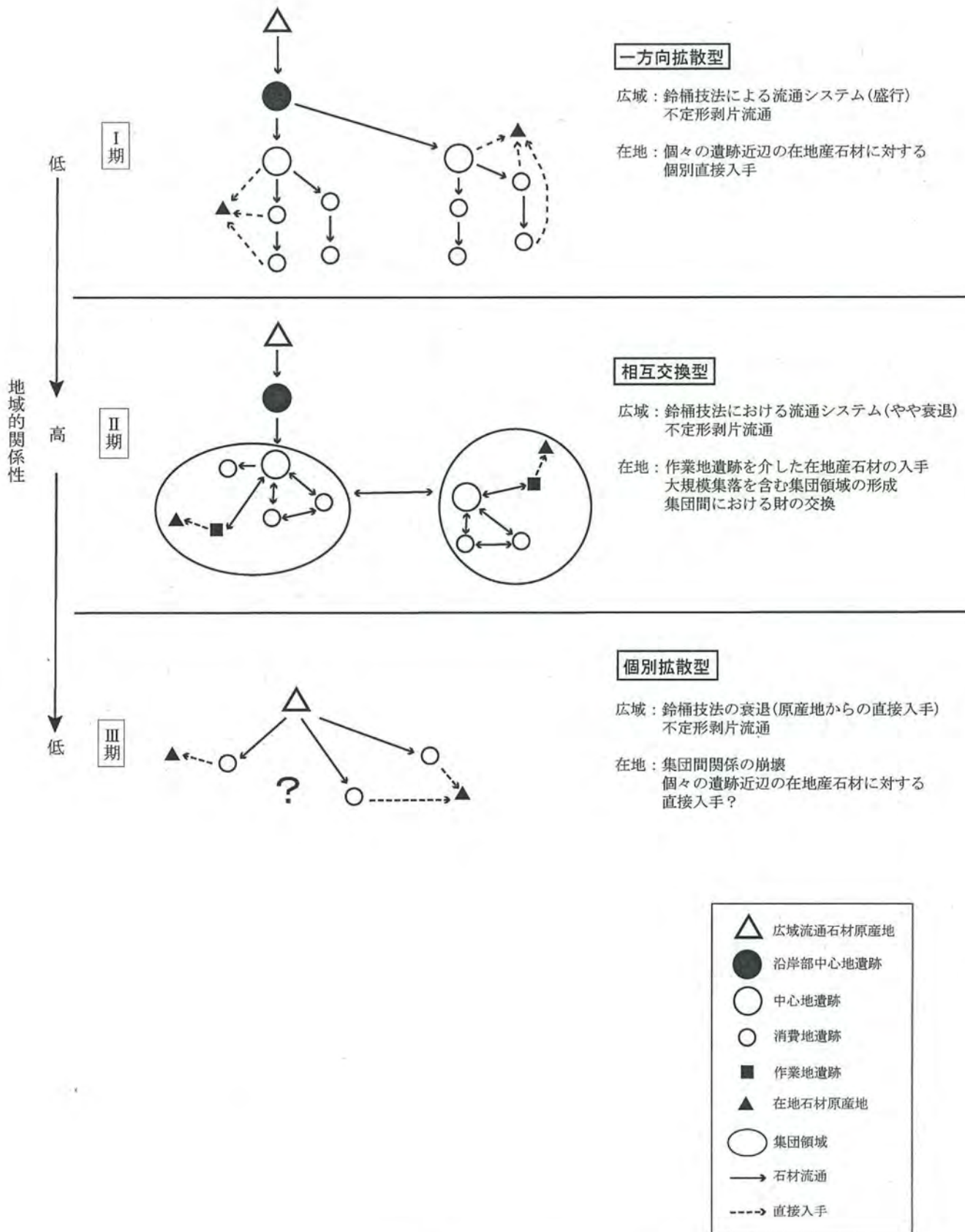


図34 後晩期集団間関係モデル



長上にあるものと考えていいだろう。この広域石材流通は、Ⅲ期の不透明な部分が存在するものの全時期を通して見られる流通形態である。Ⅰ期においては、この流通に鈴桶技法における流通システムが組み込まれており、製品のみ流通と原石からの流通というやや複雑な傾向を示すが、基本的には原産地からの一元的な流通であったと考えてよい。消費地である中九州地域では、広域流通によってもたらされた石材については中心地遺跡を通じた遺跡間における分配<sup>(3)</sup>があったものと考えられるが、在地産石材については、自遺跡の近辺に産出する石材に対し直接採取を行っていたものと考えられる。その際、遺跡の立地する河川流域では産出しない他流域産石材に対しては、いかに石器製作に効率的な石材であったとしても積極的な利用を行っておらず、他流域遺跡との関係性も見られない。すなわち、中九州地域においては、広域流通石材の分配行為<sup>(3)</sup>に対する遺跡間の関係性はあったものの、それは一方向に広がっていくものであって相互に関わりあうものではなかったと考えられる。このⅠ期の石材流通から推定される集団間関係を「一方向拡散型モデル」と称する。

Ⅱ期においては、広域流通石材の中心地遺跡を介した一元的流通が依然として続くものの、Ⅰ期にピークを迎える鈴桶技法はⅡ期以降衰退の一途をたどり、消費地である中九州地域における石材利用とその流通についてはⅠ期とは異なった様相を示す。この変化の背景には、時期的に狩猟採集から穀物栽培へと生業変化が起こった結果があると捉えられる。しかし鈴桶技法については、それがⅡ章で示したように変化以前の特定生業に対応していたものであったために衰退へと至ったのではなく、むしろ社会的変容の中に位置付けられたものであると考えるべきである。実際に、中九州地域ではⅠ期とⅡ期では遺跡数の増加に始まる様々な変容が認められるうちに、河川流域ごとに大規模集落を中心とした複数遺跡による集団領域が形成されるようになる。それに加え、それまでに見られなかった他流域産石材の積極的な利用の様相と、それを巡る新たな地域集団間の関係性が形成されている。これは、穀物栽培を受容することによって定住化が促進され、集団領域が固定されるようになったものの、生活面全般における変化とそれに伴う新たな必要財の発生から、土地利用範囲が拡大したことがその主要因と考えられる。その結果、必要財の入手のためにその財が産出される土地を領域としている集団との直接的な交渉を行い、交換による財の入手が行われるようになった。このような地域集団の関係性の形成が、それまでの財の獲得に変化をもたらし、それ以前に存在していた鈴桶技法に見るような財の流通を通じた集団間の関係性を崩壊させていったのであろう。このような集団間関係による石材流通システムの変化は、在地産石材に対してのみではなく広域流通石材に対しても適用されており、広域流通石材と在地産石材とが同一の価値を有して交換のための消費財として用いられた可能性もある。このように、Ⅰ期には一方向に対するものであった石材流通が、Ⅱ期には複数集団間において相互に行われるものへと変化するのである。このような集団間の関係性を一方向拡散型モデルに対し、「相互交換型モデル」とする。

また、鈴桶技法の衰退に対してはさらに別の要因も考えられる。Ⅱ期中九州地域における石材利用は非常に目的的な要素を含んでおり、小畑の述べるような鈴桶技法の特徴である「刃器であるとともに各種石器の素材として加工に手間のかからない石刃」を必要としなくなったことから、鈴桶技法の衰退が進んだものと思われる。また、鈴桶技法の衰退に伴いⅡ期以降に黒曜石Aの不定形剥片流通が増加することに対しても、目的的な石材利



用が影響していたものと考えられる。器種に対し目的的な石材利用を行うことによって、鈴桶型石刃の需要は減少したものの、剥片石器に用いるための良質な石材は依然として必要とされるはずである。その石材は、以前と変わらず黒曜石Aに求められた。その結果、黒曜石Aの広域流通は、以前から行われていた不定形剥片の流通へと大きくシフトしていったものと考えられる。

Ⅲ期における石材流通の様相は、事例の少なさから不鮮明ではあるものの、集団間関係が発達したⅡ期の様相がかなり崩壊していることが想定される。鈴桶技法における石材流通からは、それまでに行われていた中心地遺跡を介した石材流通システムが崩壊し、原産地遺跡と消費地遺跡の直接的な関係性が示唆されている。中九州地域においては、Ⅱ期のような集団間における石材の交換行為が行われておらず、むしろⅠ期のように個々の遺跡によって個別に石材採取が行われたものと思われる。このような石材流通の様相から推定される集団間関係を「個別拡散型モデル」とする。

以上のように、後期前半から後期後半における社会変容の背景には、狩猟採集から穀物栽培への生業変化が根本的な要因として存在しており、それに伴う定住化の促進と生活上の様々な変化、またそれによる財の必要性から新たな地域集団関係が形成された。相対的に、その関係性からは相互的なネットワークの存在を想定することができ、それによって様々な要素が共有され、拡大していく要因となったと考えられる。このような集団間関係は晩期に崩壊が生じるが、これは晩期がそれ以前に形成された集団間関係が一度破綻し、弥生時代における新たな生業変化を受容するための転換期であったためではないかと思われる。

## 註

- (1) 鳥井原遺跡でも玉の出土は報告されているが、実見することができなかつたため、例として示していない。
- (2) このことから、黒曜石Aのような広域石材流通は、その流通ルート上の人々が代価を得るために行っていた行為によるものではなく、必要材として広く配布されていたようなものであったかもしれない。いずれにせよ、その具体的な解釈は困難であり、今後の課題として保留したい。
- (3) Ⅱ章でも述べた通り、ここで言う「分配」は一方向的な配布行為であったとは考えにくい、現時点では交換対象が解明できないことから、「一方向」として捉えざるを得ない。

## 謝辞

本稿を執筆するにあたり、以下の諸先生方、諸機関には多大なるご指導・ご教示とご協力を賜りました。心より御礼申し上げます。

小畑弘己先生、甲元眞之先生、木下尚子先生、杉井健先生、大坪志子氏、渡辺一徳先生、宮縁育夫先生、熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本市博物館、山鹿市文化財管理センター、菊池市教育委員会、益城町教育委員会、熊本大学考古学研究室、熊本大学埋蔵文化財調査室、熊本大学教育学部地学研究室



## 参考文献



## 参考文献

- 敦賀啓一郎 2005 「中・南部九州における縄文時代後晩期の生産活動—石器組成の分析から—」『考古論集—川越哲志先生退官記念論文集—』川越哲志先生退官記念事業会 pp.117—134
- 安藤広道 2007 「東アジア的視点からみた縄文時代・弥生時代の農耕」『日本考古学協会 2007 年度研究発表資料集』日本考古学協会 2007 年度熊本大会実行委員会 pp.432—451
- 池田朋生 2006 「熊本の縄文時代住居跡から見た定住化の様相」『熊本県立装飾古墳館研究紀要』6 熊本県立装飾古墳館 pp.73—82
- 池田朋生 2008 「住居址からみた定住化の様相(石の本遺跡群の縄文後晩期の集落構造から)」『第 18 回九州縄文研究会熊本大会発表要旨・集成資料集 九州の縄文住居Ⅱ』九州縄文研究会・肥後考古学会 pp.20—23
- 池谷信之 2005 「「海の黒曜石」から「山の黒曜石」へ」『考古学研究』52—3 考古学研究会 pp.12—28
- 岩田修一 2003 「岩石学の基礎(1)」『Stone Sources』2 石器原産地研究会 pp.31—38
- 岩谷史記 2003 「熊本県域における姫島産黒曜石の利用状況」『Stone Sources』3 石器原産地研究会 pp.95—102
- 大坪志子 2007 「縄文—弥生時代移行期における祭祀と変化(九州)」『縄文時代の考古学』11 同成社 pp.274—282
- 小田静夫 1982 「黒曜石」『縄文文化の研究』8 雄山閣 pp.168—179
- 小畑弘己 2002 a 「縄文時代の石刃—鈴桶型石刃技法について」『青丘学術論集』20 韓国文化研究振興財団 pp.59—82
- 小畑弘己 2002 b 「鈴桶遺跡と鈴桶技法について」『Stone Sources』1 石器原産地研究会 pp.10—13
- 小畑弘己 2003 「九州腰岳原産地と鈴桶遺跡を巡る諸問題」『黒曜石文化研究』2 明治大学人文科学研究所 pp.169—183
- 小畑弘己・岩永雅彦 2005 「九州地方における原産地遺跡研究の現状—佐賀県多久・小城安山岩原産地遺跡群を中心として—」『旧石器考古学』67 旧石器文化研究会 pp.41—51
- 小畑弘己編 2005 『Stone Sources』5 石器原産地研究会 (小畑「石器製作の構造的理解に向けて—民族学・考古学の接点を探る—」pp.71—92 を含む)
- 小畑弘己 2007 「剥片剥離技法と石材供給」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.35—43
- 角縁 進 2003 「姫島の地質と岩石について」『Stone Sources』3 pp.1—3
- 梶原 洋 1991 「石器群形成に及ぼす石材環境の意義」『日本考古協会・仙台大会シンポジウム資料集』日本考古学協会 1991 年度宮城・仙台大会実行委員会 pp.51—62
- 片岡 肇 1970 「いわゆる『つまみ形石器』について」『古代文化』22—10 古代学協会 pp.223—230
- 金山喜昭 1993 「縄文時代前期における黒曜石交易の出現」『法政考古学』20 法政考古学会 pp.61—85
- 金山喜昭 1998 「集落間の交流と交易」『季刊考古学』64 雄山閣 pp.59—63
- 神川めぐみ 2008 「九州の縄文時代後晩期における石刃流通—鈴桶型石刃技法について—」『熊本大学社会文化研究』6 熊本大学社会文化科学研究科 pp.151—167
- 木村剛朗 1969 「九州姫島黒曜石よりみたる西四国縄文期の交易圏(上)」『土佐史談』124 土佐史談会 pp.11—22
- 木村剛朗 1970 「九州姫島黒曜石よりみたる西四国縄文期の交易圏(中)」『土佐史談』125 土佐史談会 pp.23—31
- 木村剛朗 1970 「九州姫島黒曜石よりみたる西四国縄文期の交易圏(下)」『土佐史談』126 土佐史談会 pp.16—25



- 古城 泰 1995「縄文中期における信州産黒曜石の南関東への搬入路」『考古学雑誌』81-3 日本考古学会 pp.70-80
- 小杉康男 1983「組成論」『縄文文化の研究』7 雄山閣 pp.16-27
- 小杉 康 2000「威信」『用語解説 現代考古学の方法と理論Ⅲ』同成社 pp.29-37
- 小杉 康 2001「縄文時代の集団と社会組織」『村落と社会の考古学』朝倉書店 pp.115-134
- 小杉 康 2003「生業としての交易活動—生業=居住戦略の推移とそれに伴う諸変化—」『考古学研究』50-2 考古学研究会 pp.10-27
- 小杉 康 2008「縄文文化における黒曜石の採掘と流通」『生産と技術の考古学』朝倉書店 pp.33-71
- 小林達雄 1986「原始集落」『岩波講座日本考古学』4 岩波書店 pp.38-75
- 小南裕一 2006「鈴桶技法の終焉—九州北半地域を中心として—」『陶埴』19 山口県埋蔵文化財センター pp.21-40
- 佐藤宏之 1999「交換」『用語解説 現代考古学の方法と理論Ⅰ』同成社 pp.40-46
- 志賀智史 2002「大分県における縄文時代の石材利用と西北九州産黒曜石製石器について」『Stone Sources』1 石器原産地研究会 pp.47-58
- 下川達彌 1973「剥片鑑考」『長崎県立美術博物館館報』1 長崎県立美術館 pp.91-102
- 下森弘之 2004「姫島産黒曜石の流通とそのシステム—姫島産黒曜石の分布からの考察—」『黒曜石文化研究』明治大学人文科学研究所 pp.121-133
- 杉原荘介・戸沢充則 1962「佐賀県伊万里市平沢良の石器文化」『駿台考古学論集』1 駿台史学会 pp.10-35
- 杉原荘介・戸沢充則・横田義章 1965「九州における特殊な刃器技法—佐賀県伊万里市鈴桶遺跡の石器群—」『考古学雑誌』51-3 日本考古学会 pp.1-24
- 鈴木正男 1969「フィッシュトラック法による黒曜石の噴出年代とウラン濃度の測定(第Ⅰ報)—石器時代黒曜石製石器の原産地推定に関する基礎的研究」『第四紀研究』8-4 日本第四紀学会 pp.123-130.
- 鈴木正男 1970「フィッシュトラック法による黒曜石の噴出年代とウラン濃度の測定(第Ⅱ報)—本州中部、伊豆諸島産出の黒曜石について—」『第四紀研究』9-1 日本第四紀学会 pp.1-6
- 鈴木道之助 1981『図録 石器の基礎知識Ⅲ 縄文』柏書房
- 大工原豊 2002「黒曜石の流通をめぐる社会—前期の北関東・中部地域—」『縄文社会論』上 同成社 pp.67-13
- 大工原豊 2007「黒曜石交易システム」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.164-177
- 高木正文 1980「九州縄文時代の収穫用石器—打製石包丁と打製石鎌について—」『鏡山猛先生古稀記念古文化論叢』鏡山猛先生古稀記念論文集刊行会 pp.69-108
- 竹広文明 1993「縄文時代の石器原材獲得—金山産サヌカイトをめぐる—」『考古論集—潮見浩先生退官記念論文集—』潮見浩先生退官記念事業会 pp.111-126
- 竹広文明 2003『サヌカイトと先史社会』溪水社
- 竹広文明 2007「サヌカイトの供給(香川県金山)」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.188-195
- 橘 昌信 1978「縦長剥片—西北九州における縄文時代の石器研究(1)—」『史学論叢』9 別府大学史学研究会 pp.75-93
- 橘 昌信 1979「石銛—西北九州における縄文時代の石器研究(2)—」『史学論叢』10 別府大学史学研究会
- 橘 昌信 1980「石匙—西北九州における縄文時代の石器研究(3)—」『史学論叢』11 別府大学史学研究会 pp.93-120
- 橘 昌信 1981「切断剥片とサイドブレード—西北九州における縄文時代の石器研究(4)—」『史学論叢』12 別

- 府大学史学研究会 pp.1-24
- 橋 昌信 1982「彫器—西北九州における縄文時代の石器研究(5)—」『史学論叢』13 別府大学史学研究会 pp.43-69
- 橋 昌信 1984「縄文晩期の石器—西北九州における縄文時代の石器研究(6)—」『史学論叢』15 別府大学史学研究会 pp.103-140
- 橋 昌信 1997「姫島産黒曜石の石器生産とその構造」『史学論叢』27 別府大学史学研究会 pp.1-20
- 橋 昌信 1998「縄文時代における剥片石器生産とその構造—腰岳産黒曜石の石器生産・流通と専門的集団—」『網干善教先生古稀記念考古学論集』(上) 網干善教先生古稀記念会 pp.77-98
- 橋 昌信 2004「原産地遺跡の石器生産・流通と専門的集団—九州島における先史時代の腰岳産黒曜石の利用—」『黒曜石文化研究』3 明治大学人文科学研究所 pp.3-19
- 谷口康浩 1993「縄文時代集落の領域」『季刊考古学』44 雄山閣 pp.67-71
- 谷口康浩 2004「領域」『現代考古学辞典』同成社 pp.427-434
- 田部剛士 2007「サヌカイトの供給(二上山)」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.178-187
- 常木 晃 1990「考古学における交換研究のための覚書(1)」『東海大学校地内遺跡調査団報告』1 東海大学校地内遺跡調査委員会・東海大学校地内遺跡調査団 pp.191-201
- 常木 晃 1991「考古学における交換研究のための覚書(2)」『東海大学校地内遺跡調査団報告』2 東海大学校地内遺跡調査委員会・東海大学校地内遺跡調査団 pp.178-191
- 富田紘一 1992「中九州縄文後晩期の遺跡—土偶から見た集落間の交流—」『乙益重隆先生古稀記念 九州上代文化論集』乙益重隆先生古稀記念論文集刊行会 pp.99-116
- 長岡信治 2004「西北九州の無斑晶質安山岩類の産状と石器石材としての可能性」『Stone Sources』4 pp.1-4
- 中村由克 2007「下呂石の供給」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.204-212
- 橋口剛士 2002「阿蘇小国産黒曜石とその利用状況」『Stone Sources』1 石器原産地研究会 pp.35-39
- 秦 昭繁 2007「珪質頁岩の供給」『縄文時代の考古学』6 同成社 pp.196-203
- 林 謙作 1993「縄文時代史 18. 縄文人の領域(5)」『季刊考古学』44 雄山閣 pp.95-102
- 林 潤也 2007「九州における縄文時代竪穴住居の変遷」『第7回日韓新石器時代研究会発表要旨 日韓新石器時代の住居と集落』九州縄文研究会・韓国新石器学会 pp.100-114
- 前田精明 2007「石器組成と生業」『縄文時代の考古学』5 pp.31-40
- 松藤和人 1990「先史時代の交易・石材採掘についての覚書 I」『旧石器考古学』40 旧石器文化談話会 pp.45-62
- 松本直子 2002「伝統と変革に揺れる社会—後・晩期の九州—」『縄文社会論(下)』同成社 pp.103-138
- 水ノ江和同 1997「北部九州の縄紋後・晩期土器—三万田式から刻目突帯文土器の直前まで—」『縄文時代』8 縄文時代文化研究会 pp.73-110
- 水ノ江和同 2002「九州の縄文集落—縄文後・晩期を中心に—」『犬飼徹夫先生古稀記念論集 四国とその周辺の考古学』犬飼徹夫先生古稀記念論文集刊行会 pp.227-248
- 水ノ江和同 2003「土器からみた縄文時代の交流圏と動態」『Stone Sources』3 石器原産地研究会 pp.39-43
- 水ノ江和同 2008「九州地方・南東」『縄文時代の考古学』2 同成社 pp.198-225
- 師富国博 2008「熊本県の縄文時代竪穴住居」『第18回九州縄文研究会熊本大会発表要旨・集成資料集 九州の縄文住居 II』九州縄文研究会・肥後考古学会 pp.109-155



- 八幡一郎 1979「第四章 先史時代の交易」『八幡一郎著作集』1 雄山閣 pp.196-243
- 山崎真治 2008「先史時代における腰岳系黒曜石の流通と画期」『博物館紀要』1 沖縄県立博物館 pp.27-34
- 山崎純男 2005「西日本縄文農耕論」『第6回韓・日新石器時代共同学術大会発表資料集』韓国新石器学会・慶南文化財研究院 pp.33-55
- 山崎純男 2007「九州における圧痕資料と縄文農耕」『日本考古学協会 2007 年度研究発表資料集』日本考古学協会 2007 年度熊本大会実行委員会 pp.344-353
- 山本典幸 2004「社会集団」『現代考古学辞典』同成社 pp.205-209
- 横田義章 1976「西北九州における縄文時代の一剥片石器群」『九州歴史資料館研究論集』2 九州歴史資料館 pp.73-77
- 吉留秀敏 1993「縄文時代後期から晩期の石技術総体的変化とその評価—早良平野を中心として—」『古文化談叢』九州古文化研究会 pp.137-164
- 吉留秀敏 2002「北部九州の剥片石器石材の流通(縄文時代後期~弥生時代)」『Stone Sources』1 石器原産地研究会 pp.63-65
- 吉留秀敏 2003「北部九州における姫島産黒曜石の流通」『Stone Sources』3 石器原産地研究会 pp.91-94
- 吉留秀敏 2004「縄文時代後・晩期の剥片石器生産について—石器・石材供給システムの様相」『考古論集—河瀬正利先生退官記念論集—』河瀬正利先生退官記念事業会 pp.231-244
- 吉留秀敏 2008「北部九州縄文時代後期から晩期社会の特質」『月刊文化財』11 第一法規株式会社 pp.25-30
- 渡辺一徳 2001『一の宮町史 阿蘇火山の生い立ち』一の宮町
- 綿貫俊一 1992「九州の旧石器石材」『考古学ジャーナル』345 ニューサイエンス社 pp.28-33
- 藁科哲男・東村武信 1983「石器原材の産地分析」『考古学と自然科学』16 日本文化財科学会 pp.59-89
- 熊本県地質図編纂委員会編 2008『熊本県地質図(10万分の1)』社団法人熊本県地質調査業協会
- 新熊本市史編纂委員会編 1996「原始・古代編」『新熊本市史通史編第1巻』熊本市
- 新熊本市史編纂委員会編 1996『新熊本市史史料編第1巻考古資料』熊本市
- 西合志町史編纂協議会編 1995「第二章 原始・古代」『西合志町史通史編』西合志町

## 報告書

- 隈昭志編 1980『古保山・古閑・天城』熊本県文化財調査報告第47集 熊本県教育委員会
- 松本健郎・野田拓治編 1983『上の原遺跡Ⅰ』熊本県文化財調査報告書第58集 熊本県教育委員会
- 浦田信智編 1985『曲野遺跡Ⅲ』熊本県文化財調査報告第75集 熊本県教育委員会
- 島津義昭編 1986『伊坂上原遺跡・石佛遺跡』熊本県文化財調査報告書第78集 熊本県教育委員会
- 村井眞輝編 1987『古保山打越遺跡』熊本県文化財調査報告第93集 熊本県教育委員会
- 緒方勉編 1987『八窪遺跡』熊本県文化財調査報告書第94集 熊本県教育委員会
- 平井浩一・丸山伸治編 1988『竜田陣内遺跡』熊本県文化財調査報告第98集 熊本県教育委員会
- 木崎康弘編 1989『六地藏遺跡』熊本県文化財調査報告第105集 熊本県教育委員会
- 吉田正一編 1994『大久保遺跡』熊本県文化財調査報告第143集 熊本県教育委員会
- 古森政次編 1994『ワクド石遺跡』熊本県文化財調査報告第144集 熊本県教育委員会
- 濱田彰久編 1997『庵ノ前遺跡Ⅲ』熊本県文化財調査報告第160集 熊本県教育委員会
- 高木正文・村崎孝宏編 1998『黒橋貝塚』熊本県文化財調査報告第166集 熊本県教育委員会
- 濱田彰久編 1999『迫ノ上遺跡』熊本県文化財調査報告第170集 熊本県教育委員会
- 濱田彰久編 1999『古閑山遺跡』熊本県文化財調査報告第171集 熊本県教育委員会
- 野田恒親・濱田彰久編 1999『古閑北・梨木遺跡』熊本県文化財調査報告書第175集 熊本県教育委員会
- 木村元浩・福田信子編 2000『万楽寺出口遺跡・山海道遺跡』熊本県文化財調査報告第185集 熊本県教育委員会
- 坂田和弘編 1998『鶴羽田遺跡』熊本県文化財調査報告第168集 熊本県教育委員会
- 野田恒親・濱田彰久編 1999『古閑北遺跡』熊本県文化財調査報告書第184集 熊本県教育委員会
- 竹田宏司編 1999『太郎迫遺跡・妙見遺跡』熊本県文化財調査報告第186集 熊本県教育委員会
- 矢野裕介編 2000『竈門寺原遺跡』熊本県文化財調査報告書第190集 熊本県教育委員会
- 村崎孝宏編 2000『竹迫宇土遺跡』熊本県文化財調査報告書第192集 熊本県教育委員会
- 岡本真也編 2001『沼山津遺跡』熊本県文化財調査報告第203集 熊本県教育委員会
- 中村幸弘編 2002『石の本遺跡群Ⅴ』熊本県文化財調査報告第205集 熊本県教育委員会
- 亀田学編 2003『フスギ遺跡』熊本県文化財調査報告第214集 熊本県教育委員会
- 米村大編 2003『岩倉山中腹遺跡』熊本県文化財調査報告第215集 熊本県教育委員会
- 帆足俊文編 2005『阿高貝塚』熊本県文化財調査報告第223集 熊本県教育委員会
- 富田紘一編 1977『鳥井原遺跡発掘調査報告書』熊本市教育委員会
- 富田紘一編 1981『上南部遺跡発掘調査報告書』熊本市教育委員会
- 大城康雄ほか編 1989『乾原・迎八反田遺跡群Ⅰ』熊本市教育委員会
- 岩谷史記・古藤忠志編 2003『島崎遺跡』熊本市教育委員会
- 林田和人・山下宗親編 2004『扇田遺跡』熊本市教育委員会
- 岩谷史記編 2005『千原台遺跡群』熊本市教育委員会
- 中村幸史郎・倉原謙治編 1980『城・下原遺跡』山鹿市立博物館調査報告第1集 山鹿市教育委員会
- 土野雄貴編 2004『川辺西原遺跡』山鹿市文化財調査報告書第15集 山鹿市教育委員会
- 山口健剛編 2004『梅迫遺跡』山鹿市文化財調査報告書第16集 山鹿市教育委員会
- 阿南亨編 2003『木柑子遺跡群』菊池市文化財調査報告 菊池市教育委員会
- 中原幹彦・鶴嶋深雪編 2002『笹尾遺跡Ⅱ』植木町文化財調査報告書第13集 植木町教育委員会



中原幹彦・鶴嶋深雪編 2004『塔ノ本遺跡・今古閑久保遺跡・滴水尖遺跡・轟城跡・ラスギ遺跡』植木町文化財調査報告書第18集 植木町教育委員会

緒方勉編 1991『瀬田裏遺跡発掘調査報告Ⅰ』大津町文化財調査報告 大津町教育委員会瀬田裏遺跡調査団・株式会社阿蘇大津ゴルフ場

福永光隆ほか編 1981『若園』菊水町文化財調査報告 菊水町教育委員会

岡本勇人編 1998『上中原遺跡』菊陽町文化財調査報告第1集 菊陽町教育委員会

坂本経堯ほか編 1972『三万田東原―調査概報―』泗水町教育委員会

花岡興史編 2000『古閑原遺跡』豊野町文化財調査報告第2集 豊野町教育委員会

隈昭志ほか編 1971『二子山石器製作址』西合志町教育委員会

堤英介編 2000『二の峠遺跡』益城町文化財調査報告第18集 益城町教育委員会

松本健郎・高木恭二編 1987『浜ノ洲貝塚・丸子島古墳』熊本日日新聞・熊本県宇土郡三角町熊本県教育委員会編 1994『熊本県遺跡地図』熊本県

(縣市町村・五十音順)

報告書(鈴桶技法関連(番号は地名表に対応)・上記記載済みも含む)

1. 酒井仁夫ほか編 1970『荒田比貝塚』大牟田市教育委員会
2. 柳田康雄編 1971『津古内畑遺跡』福岡県三井郡小郡町津古所在遺跡の調査第2次 小郡町教育委員会
3. 石山 勲・酒井仁夫編 1974『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅳ』福岡県教育委員会
4. 井上祐弘編 1976『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第2集』福岡県教育委員会
5. 井上祐弘編 1977『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第3集』福岡県教育委員会
6. 小池史哲編 1977『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第4集』福岡県教育委員会
7. 酒井仁夫編 1977『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告書Ⅶ』福岡県教育委員会
8. 柳田純孝編 1977『四箇周辺遺跡調査報告書1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第42集 福岡市教育委員会
9. 佐々木隆彦編 1977『牟田々遺跡』福岡県小郡市大字三沢所在の遺跡 小郡市教育委員会
10. 木下 修編 1978『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第8集』福岡県教育委員会
11. 石山 勲編 1978『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告ⅩⅩⅠ』福岡県教育委員会
12. 中間研志編 1978『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告ⅩⅩⅣ』福岡県教育委員会
13. 川述昭人編 1978『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告ⅩⅩⅤ』福岡県教育委員会
14. 柳田純孝編 1978『四箇周辺遺跡調査報告書2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第47集 福岡市教育委員会
15. 井上祐弘編 1979『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第13集』福岡県教育委員会
16. 井上祐弘編 1979『山陽新幹線関係埋蔵文化財調査報告書第11集』福岡県教育委員会
17. 池辺元明編 1979『九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告ⅩⅩⅧ』福岡県教育委員会
18. 中間研志編 1980『二丈・浜玉道路関係埋蔵文化財調査報告』福岡県教育委員会
19. 柳田康雄編 1980『三雲遺跡Ⅰ』福岡県文化財調査報告書第58集 福岡県教育委員会
20. 渡辺和子編 1980『千里シビナ遺跡発掘調査概報』福岡市埋蔵文化財調査報告書第60集 福岡市教育委員会
21. 木村幾太郎編 1980『新延貝塚』鞍手町埋蔵文化財調査会
22. 柳田康雄・小池史哲編 1981『三雲遺跡Ⅱ』福岡県文化財調査報告書第60集 福岡県教育委員会

23. 松村道博編 1981「次郎丸高石遺跡」『三筑遺跡・次郎丸高石遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 69 集 福岡市教育委員会
24. 横山邦継・力武卓治編 1981『高柳遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 70 集 福岡市教育委員会
25. 橘 昌信編 1981『黒崎貝塚』黒崎貝塚調査会
26. 中間研志編 1982『二丈・浜玉道路関係埋蔵文化財調査報告Ⅱ』福岡県教育委員会
27. 浜田信也・中間研志編 1982『冷水バイパス関係埋蔵文化財調査報告』 福岡県教育委員会
28. 柳田康雄・小池史哲編 1982『三雲遺跡Ⅲ』福岡県文化財調査報告書第 63 集 福岡県教育委員会
29. 塩屋勝利ほか編 1982『千里シビナ遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 88 集 福岡市教育委員会
30. 馬田弘稔編 1983『塚堂遺跡Ⅰ』一般国道 210 号線浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第 1 集 福岡県教育委員会
31. 小池史哲編 1983『三雲遺跡Ⅳ』福岡県文化財調査報告書第 65 集 福岡県教育委員会
32. 山崎純男編 1983『柏原遺跡群Ⅰ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 90 集 福岡市教育委員会
33. 山口譲治・松村道博編 1983『拾六町ツイジ遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 92 集 福岡市教育委員会
34. 山口譲治編 1983『野多目拈渡遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告第 93 集 福岡市教育委員会
35. 二宮忠司・渡辺和子編 1983『四箇周辺遺跡調査報告書 5』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 100 集 福岡市教育委員会
36. 井上祐弘編 1983『御床松原遺跡』志摩町文化財調査報告書第 3 集 志摩町教育委員会
37. 木下修編 1983『大草平』星野村文化財調査報告書第 1 集 星野村教育委員会
38. 副島邦弘編 1984『塚堂遺跡Ⅱ』一般国道 210 号線浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第 2 集 福岡県教育委員会
39. 橋口達也編 1984『石崎曲り田遺跡Ⅱ』今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告第 9 集 福岡県教育委員会
40. 浜石哲也編 1984『田村遺跡Ⅱ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 104 集 福岡市教育委員会
41. 福岡市教育委員会編 1984『中尾遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 109 集 福岡市教育委員会
42. 川述昭人編 1985『観音丸遺跡・向野古墳群・三船山遺跡』福岡県文化財調査報告書第 71 集 福岡県教育委員会
43. 柳田康雄編 1985『三雲遺跡 南小路地区編』福岡県文化財調査報告書第 69 集 福岡県教育委員会
44. 井沢洋一編 1985『有田・小田部 第 6 集』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 113 集 福岡市教育委員会
45. 佐藤浩司ほか編 1985『下吉田遺跡』北九州市埋蔵文化財調査報告第 39 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
46. 宇野慎敏編 1985『勝円遺跡(C地点)』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 41 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
47. 川述昭人編 1985『権現塚北遺跡』瀬高町文化財調査報告書第 3 集 瀬高町教育委員会
48. 澤田康夫編 1985『松木遺跡Ⅱ』那珂川町文化財調査報告書第 12 集 那珂川町教育委員会
49. 小畑弘己編 1986『今宿五郎江遺跡Ⅰ』福岡市埋蔵文化財調査報告第 132 集 福岡市教育委員会
50. 山崎純男編 1987『柏原遺跡群Ⅳ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 158 集 福岡市教育委員会
51. 山崎純男編 1987『野多目遺跡群』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 159 集 福岡市教育委員会
52. 田中壽夫編 1987『那珂遺跡群第 7 次調査』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 162 集 福岡市教育委員会
53. 佐藤一郎編 1987『田村遺跡Ⅳ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 168 集 福岡市教育委員会
54. 山崎純男編 1988『柏原遺跡群Ⅴ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 190 集 福岡市教育委員会



55. 山口信義編 1988『菊水町遺跡』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 68 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
56. 前田義人編 1988『砥石坂遺跡・上清水遺跡(第 2 地点)・新池坂本遺跡(第 3 地点)』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 71 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
57. 前田義人編 1988『貫川遺跡 1』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 73 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
58. 上野智裕編 1988『下伊田遺跡群』田川市文化財調査報告書第 4 集 田川市教育委員会
59. 吉武 学編 1989『四箇遺跡群第 23 次調査報告書』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 196 集 福岡市教育委員会
60. 二宮忠司ほか編 1989『田村遺跡VI』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 200 集 福岡市教育委員会
61. 柏原孝俊編 1989『津古生掛遺跡III』小都市文化財調査報告書第 50 集 小都市教育委員会
62. 福島日出海編 1989『嘉穂地区遺跡群VIIアミダ遺跡』嘉穂町文化財調査報告書第 10 集 嘉穂町教育委員会
63. 毛利哲久編 1989『穂波地区遺跡群』穂波町文化財調査報告書第 4 集 穂波町教育委員会
64. 岡部裕俊編 1989『長野川流域の遺跡群 I』前原町文化財調査報告書第 31 集 前原町教育委員会
65. 小池史哲編 1990『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 19』福岡県教育委員会
66. 緒方 泉編 1990『福岡東バイパス関係埋蔵文化財調査報告』福岡県教育委員会
67. 濱石哲也編 1990『田村遺跡VII』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 216 集 福岡市教育委員会
68. 大庭泰時・力武卓治編 1990『席田遺跡群VI』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 218 集 福岡市教育委員会
69. 瀧本正志編 1990『橋本一丁田遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 220 集 福岡市教育委員会
70. 佐藤一郎・吉武学編 1990『都地・七反田遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 223 集 福岡市教育委員会
71. 常松幹雄ほか編 1990『脇山 I』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 236 集 福岡市教育委員会
72. 片岡宏二編 1990『津古土取遺跡』小都市文化財調査報告書第 59 集 小都市教育委員会
73. 速水信也・柏原孝俊編 1990『北松尾口遺跡 II 地点』小都市文化財調査報告書第 63 集 小都市教育委員会
74. 佐藤昭則・茂和敏編 1990『平蔵遺跡 II』那珂川町文化財調査報告書第 22 集 那珂川町教育委員会
75. 井上祐弘・木下修編 1991『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 20』福岡県教育委員会
76. 木下修・水ノ江和同編 1991『椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告 4』福岡県教育委員会
77. 吉留秀敏編 1991『比恵遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 255 集 福岡市教育委員会
78. 常松幹雄・田中克子編 1991『四箇遺跡群 24 次調査』福岡市埋蔵文化財調査報告第 261 集 福岡市教育委員会
79. 大庭泰時編 1991『野多目 A』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 263 集 福岡市教育委員会
80. 飛野博文編 1991『名残 IV』宗像市文化財調査報告書第 29 集 宗像市教育委員会
81. 茂 和敏編 1991『山田西遺跡』那珂川町文化財調査報告書第 28 集 那珂川町教育委員会
82. 石井扶美子編 1991『梶原遺跡』夜須町文化財調査報告書第 22 集 夜須町教育委員会
83. 井上祐弘編 1992『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 22』福岡県教育委員会
84. 小池史哲編 1992『椎田バイパス関係埋蔵文化財調査報告 7』福岡県教育委員会
85. 中間研志編 1992『白峯遺跡』福岡県文化財調査報告第 95 集 福岡県教育委員会
86. 下村 智編 1992『警弥郷 B 遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 278 集 福岡市教育委員会
87. 小林義彦編 1992『飯倉 A 遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 296 集 福岡市教育委員会
88. 前田義人編 1992『貫川遺跡 5』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 121 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室



89. 伊崎俊秋編 1992『城井谷 I』築城町文化財調査報告書第 2 集 築城町教育委員会
90. 副島邦弘編 1993『辻垣ヲサマル遺跡』一般国道 10 号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第 1 集 福岡県教育委員会
91. 小池史哲編 1993『砥上上林遺跡 I』福岡県文化財調査報告第 103 集 福岡県教育委員会
92. 中間研志編 1993『小柳遺跡』福岡県文化財調査報告書第 104 集 福岡県教育委員会
93. 吉留秀敏編 1993『岩本遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 342 集 福岡市教育委員会
94. 浜石哲也・榎本義嗣編 1993『入部Ⅳ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 343 集 福岡市教育委員会
95. 木太久守編 1993『カキ遺跡(縄文時代)』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 131 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
96. 山口信義編 1993『中伏遺跡 2』北九州市埋蔵文化財調査報告書第 135 集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
97. 富永直樹編 1993『上津・藤光遺跡群 I』久留米市文化財調査報告書第 80 集 久留米市教育委員会
98. 小林勇作編 1993『榎崎遺跡』筑後市文化財調査報告書第 9 集 筑後市教育委員会
99. 渡辺和子編 1993『山家遺跡』筑紫野市文化財調査報告書第 36 集 筑紫野市教育委員会
100. 中間研志編 1994『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 32』福岡県教育委員会
101. 柳田康雄ほか編 1994『辻垣畠田・長通遺跡』一般国道 10 号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第 2 集 福岡県教育委員会
102. 飛野博文・水ノ江和同編 1994『堺町・大碓遺跡』一般国道 210 号線浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第 8 集 福岡県教育委員会
103. 宮井善朗編 1994『飯倉 F 遺跡 1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 379 集 福岡市教育委員会
104. 池田祐司編 1994『東入部遺跡群 1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 381 集 福岡市教育委員会
105. 池田祐司編 1994『東入部遺跡群 3』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 383 集 福岡市教育委員会
106. 榎本義嗣編 1994『脇山Ⅵ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 386 集 福岡市教育委員会
107. 常松幹雄編 1994『飯氏遺跡群 2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 390 集 福岡市教育委員会
108. 渡辺和子編 1994『以来尺遺跡Ⅱ』筑紫野市文化財調査報告書第 39 集 筑紫野市教育委員会
109. 速水信也・柏原孝俊編 1994『一ノ口遺跡 I 地点』小郡市文化財調査報告書第 86 集 小郡市教育委員会
110. 小池史哲編 1995『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 34』福岡県教育委員会
111. 中間研志編 1995『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告 37』福岡県教育委員会
112. 小池史哲編 1995『新延貝塚』福岡県文化財調査報告書第 122 集 福岡県教育委員会
113. 吉留秀敏編 1995『四箇船石 1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 422 集 福岡市教育委員会
114. 濱石哲也編 1995『入部Ⅴ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 424 集 福岡市教育委員会
115. 榎本義嗣編 1995『小笠木』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 425 集 福岡市教育委員会
116. 二宮忠司ほか編 1995『周船寺遺跡群』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 429 集 福岡市教育委員会
117. 二宮忠司・長家伸編 1995『大原 A 遺跡 1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 430 集 福岡市教育委員会
118. 荒牧宏行編 1995『大原 C 遺跡 1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第 433 集 福岡市教育委員会
119. 水ノ江和同編 1995『二十谷遺跡第 2 地点・小覚原遺跡第 2 地点』杷木町文化財調査報告書第 3 集 杷木町教育委員会
120. 小林勇作編 1995『筑後北部大二地区遺跡群』筑後市文化財調査報告書第 16 集 筑後市教育委員会
121. 森下靖土編 1995『花見遺跡第 4 地点高木・前田遺跡(2)』古賀町文化財調査報告書第 17 集 古賀町教育委員会



122. 佐藤昭則編 1995『山田西遺跡Ⅱ』那珂川町文化財調査報告書第36集 那珂川町教育委員会
123. 中間研志編 1995『久原遺跡群Ⅲ』久山町文化財調査報告書第3集 久山町教育委員会
124. 橋口達也編 1995『大坪遺跡Ⅰ』二丈町文化財調査報告書第10集 二丈町教育委員会
125. 吉川秀幸編 1995『大坪遺跡Ⅱ』二丈町文化財調査報告書第11集 二丈町教育委員会
126. 伊崎俊秋編 1996『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告39』福岡県教育委員会
127. 中間研志・井上祐弘編 1996『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告42』福岡県教育委員会
128. 池辺元治ほか編 1996『池ノ口遺跡』一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第3集 福岡県教育委員会
129. 小池史哲編 1996『上唐原遺跡Ⅱ』一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第5集 福岡県教育委員会
130. 水ノ江和同編 1996『中村石丸遺跡』一般国道10号線椎田道路関係埋蔵文化財調査報告第8集 福岡県教育委員会
131. 山崎龍雄編 1996『比恵遺跡群22』福岡市埋蔵文化財調査報告書第453集 福岡市教育委員会
132. 吉留秀敏編 1996『三苦永浦遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第476集 福岡市教育委員会
133. 松村道博ほか編 1996『大原D遺跡群1』福岡市埋蔵文化財調査報告第481集 福岡市教育委員会
134. 濱石哲也・池崎讓二編 1996『入部Ⅵ』福岡市埋蔵文化財調査報告書第485集 福岡市教育委員会
135. 石川みつみ・折尾学編 1996『野方塚原遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第490集 福岡市教育委員会
136. 園井正隆編 1996『津福寺山遺跡』久留米市文化財調査報告書第117集 久留米市教育委員会
137. 徳永博文編 1996『松ヶ上遺跡』志免町文化財調査報告書第6集 志免町教育委員会
138. 石井扶美子編 1996『松崎遺跡Ⅱ』夜須町文化財調査報告書第33集 夜須町教育委員会
139. 中間研志・伊崎俊秋編 1997『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告43』福岡県教育委員会
140. 伊崎俊秋編 1997『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告44』福岡県教育委員会
141. 小池史哲・中間研志編 1997『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告45』福岡県教育委員会
142. 秦憲二編 1997『以来尺遺跡Ⅰ』一般国道3号筑紫野バイパス関係埋蔵文化財調査報告第4集 福岡県教育委員会
143. 二宮忠司・大庭友子編 1997『吉武遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第514集 福岡市教育委員会
144. 吉武 学編 1997『野多目A遺跡4』福岡市埋蔵文化財調査報告書第527集 福岡市教育委員会
145. 山崎龍雄編 1997『福岡市外環状道路関係埋蔵文化財調査報告3』福岡市埋蔵文化財調査報告書第535集 福岡市教育委員会
146. 山口譲治編 1997『福岡市外環状道路関係埋蔵文化財調査報告2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第536集 福岡市教育委員会
147. 吉留秀敏編 1997『桧原遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第540集 福岡市教育委員会
148. 田中壽夫・宮園登美枝編 1997『橋本榎田遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第542集 橋本榎田遺跡調査会・福岡市教育委員会
149. 姫野健太郎編 1997『矢林遺跡』朝倉町文化財調査報告書第6集 朝倉町教育委員会
150. 佐藤昭則編 1997『中原・ヒナタ遺跡』那珂川町文化財調査報告書第39集 那珂川町教育委員会
151. 中間研志ほか編 1998『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告49』福岡県教育委員会
152. 小田和利・小池史哲ほか編 1998『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告50』福岡県教育委員会
153. 池辺元明・小川泰樹編 1998『上桑野遺跡・宇野代遺跡Ⅱ』一般国道10号豊前バイパス関係埋蔵文化財調査報告第8集 福岡県教育委員会



154. 赤司善彦ほか編 1998『下高橋馬屋元遺跡2』福岡県文化財調査報告第133集 福岡県教育委員会
155. 宮井善朗編 1998『下月隈C遺跡2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第566集 福岡市教育委員会
156. 屋山洋ほか編 1998『国道202号線今宿バイパス関係埋蔵文化財調査報告VII』福岡市埋蔵文化財調査報告書第583集 福岡市教育委員会
157. 白木 守編 1998『二本木遺跡』久留米市文化財調査報告書第143集 久留米市教育委員会
158. 小澤太郎編 1998『上津・藤光遺跡群II』久留米市文化財調査報告書第145集 久留米市教育委員会
159. 新宅信久編 1998『江辻遺跡』粕屋町文化財調査報告書第14集 粕屋町教育委員会
160. 吉岡賢生編 1998『前田遺跡群I』那珂川町文化財調査報告書第43集 那珂川町教育委員会
161. 村上 敦編 1998『上深江・小西遺跡I』二丈町文化財調査報告書第19集 二丈町教育委員会
162. 木下 修編 1999『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告53』福岡県教育委員会
163. 中間研志編 1999『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告54』福岡県教育委員会
164. 小田和利編 1999『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告55』福岡県教育委員会
165. 伊崎俊秋編 1999『九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告56』福岡県教育委員会
166. 中間研志編 1999『貝元遺跡II』福岡県教育委員会
167. 井澤洋一・吉田扶希子編 1999『井相田D遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第610集 福岡市教育委員会
168. 榎本義嗣編 1999『入部IX』福岡市埋蔵文化財調査報告書第613集 福岡市教育委員会
169. 米倉秀紀編 1999『大坪遺跡・大坪南遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第619集 福岡市教育委員会
170. 神保公久編 1999『山川南本村遺跡』久留米市文化財調査報告書第148集 久留米市教育委員会
171. 姫野健太郎編 1999『須川ノケオ遺跡』朝倉町文化財調査報告書第8集 朝倉町教育委員会
172. 吉川秀幸編 1999『二丈中学校校内遺跡I』二丈町文化財調査報告書第22集 二丈町教育委員会
173. 津国 豊編 1999『深江・中道遺跡』二丈町文化財調査報告書第21集 二丈町教育委員会
174. 石井扶美子編 1999『三並宮ノ前遺跡・本宮遺跡・鎌瀬遺跡』夜須町文化財調査報告書第45集 夜須町教育委員会
175. 石井扶美子編 1999『三並宮ノ前遺跡・本宮遺跡・鎌瀬遺跡』夜須町文化財調査報告書第46集 夜須町教育委員会
176. 石井扶美子編 1999『三並宮ノ前遺跡・本宮遺跡・鎌瀬遺跡』夜須町文化財調査報告書第47集 夜須町教育委員会
177. 重藤輝行ほか編 2000『仁右衛門畑遺跡I』一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告第12集 福岡県教育委員会
178. 大庭康時編 2000『東那珂4・烏田1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第637集 福岡市教育委員会
179. 山口譲治編 2000『臼佐遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第646集 福岡市教育委員会
180. 井澤洋一編 2000『梅林遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第648集 福岡市教育委員会
181. 濱石哲也編 2000『入部X』福岡市埋蔵文化財調査報告書第652集 福岡市教育委員会
182. 池田祐司・久住猛雄編 2000『JR筑肥線複線化地内遺跡埋蔵文化財調査報告書』福岡市埋蔵文化財調査報告書第654集 福岡市教育委員会
183. 大塚紀宜編 2000『周船寺遺跡3』福岡市埋蔵文化財調査報告書第655集 福岡市教育委員会
184. 宇野慎敏編 2000『貫・丸尾遺跡』北九州市埋蔵文化財調査報告書第239集 財団法人北九州市教育文化事業団埋蔵文化財調査室
185. 立石真二編 2000『筑後西部第2地区遺跡群III』筑後市文化財調査報告書第27集 筑後市教育委員会
186. 吉岡賢生編 2000『中原・ヒナタ遺跡群II』那珂川町文化財調査報告書第48集 那珂川町教育委員会



187. 吉川秀幸編 2000『大坪遺跡Ⅲ』二丈町文化財調査報告書第25集 二丈町教育委員会
188. 小田和利編 2001『長野古墳群』福岡県文化財調査報告書第158集 福岡県教育委員会
189. 水ノ江和同編 2001『川原西遺跡 第3地点』福岡県文化財調査報告書第160集 福岡県教育委員会
190. 長家 伸編 2001『福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告10』福岡市埋蔵文化財調査報告書第662集 福岡市教育委員会
191. 米倉秀紀編 2001『松木田遺跡群2』福岡市埋蔵文化財調査報告書第686集 福岡市教育委員会
192. 池田祐司編 2001『周船寺遺跡群4』福岡市埋蔵文化財調査報告書第692集 福岡市教育委員会
193. 片岡宏二・佐藤雄史編 2001『三沢蓬ヶ浦遺跡2』小郡市文化財調査報告書第151集 小郡市教育委員会
194. 境靖紀ほか編 2001『大荒遺跡・天田遺跡』春日市文化財調査報告書第30集 春日市教育委員会
195. 戸田哲也ほか編 2001『大宰府・佐野地区遺跡群Ⅻ』太宰府市の文化財第58集 太宰府市教育委員会・玉川文化財研究所
196. 近澤康治編 2001『横道遺跡Ⅱ』久留米市文化財調査報告書第173集 久留米市教育委員会
197. 上村英士編 2001『筑後東部地区遺跡群Ⅵ』筑後市文化財調査報告書第36集 筑後市教育委員会
198. 吉岡賢生編 2001『安徳原田遺跡群』那珂川町文化財調査報告書第54集 那珂川町教育委員会
199. 沖田智恵編 2001『前田遺跡』久山町文化財調査報告書第6集 久山町教育委員会
200. 長家 伸編 2001『福岡外環状道路関係埋蔵文化財調査報告10』福岡市埋蔵文化財調査報告書第662集 福岡市教育委員会
201. 重藤輝行ほか編 2002『堂畑遺跡Ⅰ』一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 福岡県教育委員会
202. 森井啓次ほか編 2002『宝満山遺跡群・浦ノ田遺跡Ⅲ』福岡県文化財調査報告書第169集 福岡県教育委員会
203. 飛野博文ほか編 2002『流川地区遺跡群』福岡県文化財調査報告書第171集 福岡県教育委員会
204. 久住猛雄編 2002『元岡・桑原遺跡群1』福岡市埋蔵文化財調査報告書第722集 福岡市教育委員会
205. 杉本岳史編 2002『三沢北中尾遺跡1地点』小郡市文化財調査報告書第169集 小郡市教育委員会
206. 西垣彰博編 2002『江辻遺跡』粕屋町文化財調査報告書第18集 粕屋町教育委員会
207. 吉岡賢生編 2002『山田西遺跡群Ⅲ』那珂川町文化財調査報告書第59集 那珂川町教育委員会
208. 八丁由香編 2002『下山田遺跡群』久山町文化財調査報告書第8集 久山町教育委員会
209. 池田祐司編 2003『大原D遺跡群4』福岡市埋蔵文化財調査報告書第741集 福岡市教育委員会
210. 常松幹雄編 2003『笠拔遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第752集 福岡市教育委員会
211. 本田浩二郎編 2003『三苫4』福岡市埋蔵文化財調査報告書第773集 福岡市教育委員会
212. 石木秀啓編 2003『松葉園遺跡Ⅰ』大野城市文化財調査報告書第59集 大野城市教育委員会
213. 佐藤浩司編 2003『志井雀木遺跡』北九州市埋蔵文化財調査報告書第294集 財団法人北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室
214. 上村英士編 2003『羽犬塚山ノ前遺跡』筑後市文化財調査報告書第48集 筑後市教育委員会
215. 園井正隆編 2003『日渡遺跡群・正福寺遺跡』久留米市文化財調査報告書第188集 久留米市教育委員会
216. 角浩行ほか編 2003『三雲・井原遺跡Ⅲ』前原市文化財調査報告書第82集 前原市教育委員会
217. 佐藤昭則編 2003『中原・ヒナタ遺跡群Ⅲ』那珂川町文化財調査報告書第62集 那珂川町教育委員会



218. 姫野健太郎ほか編 2004『下町外畑遺跡・宮野運輸遺跡』福岡県文化財調査報告書第192集 福岡県教育委員会
219. 米倉秀紀ほか編 2004『有田・小田部39』福岡市埋蔵文化財調査報告書第784集 福岡市教育委員会
220. 吉留秀敏・池田祐司編 2004『椎原A遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第794集 福岡市教育委員会
221. 瀧本正志編 2004『下月隈C遺跡』福岡市埋蔵文化財調査報告書第795集 福岡市教育委員会
222. 杉山富雄編 2004『次郎丸高石』福岡市埋蔵文化財調査報告書第797集 福岡市教育委員会
223. 阿部泰之編 2004『周船寺遺跡群5』福岡市埋蔵文化財調査報告書第798集 福岡市教育委員会
224. 山手誠治編 2004『朽網南塚遺跡4』北九州市埋蔵文化財調査報告書第318集 財団法人北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室
225. 小林勇作編 2004『筑後西部第2地区遺跡群Ⅷ』筑後市文化財調査報告書第57集 筑後市教育委員会
226. 中島恒次郎ほか編 2004『大宰府・国分地区遺跡群1』大宰府市の文化財第73集 太宰府市教育委員会
227. 佐々木竜郎編 2004『大宰府・佐野地区遺跡群18』太宰府市の文化財第74集 太宰府市教育委員会
228. 小澤太郎・熊代昌之編 2004『日渡遺跡群Ⅲ』久留米市文化財調査報告書第203集 久留米市教育委員会
229. 寺島克史編 2004『柳瀬遺跡(下層編)』浮羽町文化財調査報告書第18集 浮羽町教育委員会
230. 櫛山範一・杉内郷編 2004『内野地区遺跡群1』筑穂町文化財調査報告書第8集 筑穂町教育委員会
231. 石井扶美子編 2004『当町遺跡・出口遺跡Ⅱ』夜須町文化財調査報告書第60集 夜須町教育委員会
232. 大庭孝夫編 2005『堂畑遺跡Ⅲ』一般国道210号浮羽バイパス関係埋蔵文化財調査報告 福岡県教育委員会
233. 重藤輝行編 2005『御供田遺跡Ⅱ』福岡県文化財調査報告書第205集 福岡県教育委員会
234. 進村真之・宮地聡一郎編 2005『海津横馬場遺跡Ⅰ』九州新幹線関係埋蔵文化財調査報告第1集 福岡県教育委員会
235. 松村道博ほか編 2005『元岡・桑原遺跡群4』福岡市埋蔵文化財調査報告書第860集 福岡市教育委員会
236. 梅崎恵司編 2005『中貫ミカシキ遺跡2』北九州市埋蔵文化財調査報告書第328集 財団法人北九州市芸術文化振興財団埋蔵文化財調査室
237. 茂和敏・岩満聡編 2005『山田遺跡群Ⅳ』那珂川町文化財調査報告書第66集 那珂川町教育委員会
238. 櫛山範一・杉内郷編 2005『内野地区遺跡群2』筑穂町文化財調査報告書第9集 筑穂町教育委員会
239. 飛野博文ほか編 2006『入道町遺跡群』福岡県文化財調査報告書第207集 福岡県教育委員会
240. 平嶋文博編 2006『坂井田遺跡Ⅱ』筑前町文化財調査報告書第3集 筑前町教育委員会
241. 沖田智恵編 2006『片見鳥遺跡』久山町文化財調査報告第11集 久山町教育委員会

<長崎県>

242. 麻生 優 1968『岩下洞穴の発掘記録』中央公論美術出版
243. 下川達弥 1969「佐世保市焼山遺跡の石器」『上代文化』第38輯
244. 古田正雄編 1974『筏遺跡』百人委員会埋蔵文化財報告第4集 百人委員会
245. 田川 肇編 1979『長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第45集 長崎県教育委員会
246. 高野晋司編 1980『串島遺跡』長崎県文化財調査報告書第51集 長崎県教育委員会
247. 横山巳貴子編 1980『ケイマンゴー遺跡』長崎県文化財調査報告書第52集 長崎県教育委員会
248. 稲富裕和編 1980『黒丸遺跡』黒丸遺跡調査会
249. 安楽 勉編 1980『白浜貝塚』福江市文化財調査報告書第2集 福江市教育委員会
250. 田川 肇編 1981『長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅳ』長崎県文化財調査報告書第55集 長崎県教育委員会
251. 秀島貞康編 1981『平山遺跡B地点』諫早市文化財調査報告書第3集 諫早市教育委員会



253. 竹内 弘編 1982『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第56集 長崎県教育委員会
254. 田川 肇編 1982『長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅴ』長崎県文化財調査報告書第57集 長崎県教育委員会
255. 副島和明編 1982『針尾人崎遺跡』長崎県文化財調査報告書第60集 長崎県教育委員会
256. 田川 肇編 1983『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅲ』長崎県文化財調査報告書第64集 長崎県教育委員会
257. 副島和明・片山巳貴子編 1983『諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第65集 長崎県教育委員会
258. 正林 護編 1984『長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅶ』長崎県文化財調査報告書第67集 長崎県教育委員会
259. 秀島貞康編 1984『有喜貝塚』諫早市文化財調査報告書第5集 諫早市教育委員会
260. 安楽勉・藤田和裕編 1985『名切遺跡』長崎県文化財調査報告書第71集 長崎県教育委員会
261. 草野誠司編 1985『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅴ』長崎県文化財調査報告書第72集 長崎県教育委員会
262. 副島和明・伴耕一郎編 1985『諫早中核工業団地造成に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第74集 長崎県教育委員会
263. 安楽勉・中田敦之編 1985『楼厓田遺跡』長崎県文化財調査報告書第76集 長崎県教育委員会
264. 安楽 勉編 1985『古田遺跡』小佐々町文化財調査報告書第1集 小佐々町教育委員会
265. 伴耕一郎編 1985『里田原遺跡』田平町文化財調査報告書第2集 田平町教育委員会
266. 草野誠司編 1986『上原遺跡』長崎県文化財調査報告書第81集 長崎県教育委員会
267. 正林護・村川逸朗編 1986『長崎県埋蔵文化財調査集報Ⅸ』長崎県文化財調査報告書第82集 長崎県教育委員会
268. 萩原博文編 1986『津吉遺跡群』平戸市教育委員会
269. 萩原博文編 1989『牟田の原遺跡』平戸市の文化財27 平戸市教育委員会
270. 小野ゆかり・宮崎貴夫編 1989『国崎遺跡』南串山町文化財調査報告書第2集 南串山町教育委員会
271. 安楽 勉編 1989『白井川遺跡』東彼杵町文化財調査報告書第3集 東彼杵町教育委員会
272. 伴耕一郎編 1990『長崎県埋蔵文化財調査集報ⅩⅢ』長崎県文化財調査報告書第97集 長崎県教育委員会
273. 町田利幸編 1990『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅶ』長崎県文化財調査報告書第98集 長崎県教育委員会
274. 安楽 勉編 1990『白井川遺跡Ⅱ』東彼杵町文化財調査報告書第4集 東彼杵町教育委員会
275. 副島和明編 1991『九州横断自動車道建設に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書Ⅷ』長崎県文化財調査報告書99集 長崎県教育委員会
276. 萩原博文編 1991『神の池遺跡B地点Ⅱ・火除遺跡Ⅱ』神の池遺跡調査会
277. 萩原博文編 1991『中の原遺跡・前田遺跡・火除遺跡・神の池遺跡B地点・楯神山遺跡』平戸市の文化財32 平戸市教育委員会
278. 副島和明・町田利幸編 1991『礫石原遺跡』長崎県文化財調査報告書第100集 長崎県教育委員会
279. 宮崎貴夫編 1991『宮ノ首遺跡』宇久町文化財調査報告書第2集 宇久町教育委員会
280. 萩原博文編 1993『平戸和蘭商館跡の発掘Ⅳ・馬込遺跡の発掘Ⅰ・坊頭畑第3遺跡の発掘』平戸市の文化財35 平戸市教育委員会
281. 寺田正剛編 1994『県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第114集 長崎県教育委員会



282. 高原 愛編 1996『伊木力遺跡Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第126集 長崎県教育委員会
283. 町田利幸ほか編 1996『黒丸遺跡Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第127集 長崎県教育委員会
284. 町田利幸・荒木伸也編 1997『黒丸遺跡Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第132集 長崎県教育委員会
285. 川道寛ほか編 1997『県内重要遺跡範囲確認調査報告書Ⅴ』長崎県文化財調査報告書第133集 長崎県教育委員会
286. 福田一志・古門雅高編 1997『伊木力遺跡Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第134集 長崎県教育委員会
287. 村川逸朗ほか編 1997『稗田原遺跡Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第136集 長崎県教育委員会
288. 宮下雅史・高田美由紀編 1997『柿泊遺跡』長崎市教育委員会
289. 甲斐田彰編 1997『宇久山本遺跡』宇久町文化財調査報告書第3集 宇久町教育委員会
290. 福田一志編 1998『大浜遺跡』長崎県文化財調査報告書第141集 長崎県教育委員会
291. 村川逸朗ほか編 1998『稗田原遺跡Ⅱ』長崎県文化財調査報告書第145集 長崎県教育委員会
292. 正林護・永嶋豊編 1998『陣ノ内遺跡』瑞穂町文化財調査報告書第3集 瑞穂町教育委員会
293. 川道 寛編 1998『宮下貝塚』富江町文化財調査報告書第1集 富江町教育委員会
294. 川口洋平編 1999『稗田原遺跡Ⅲ』長崎県文化財調査報告書第152集 長崎県教育委員会
295. 中田敦之・明石拓子編 2000『小船遺跡』松浦市文化財調査報告書第15集 松浦市教育委員会
296. 中田敦之・明石拓子編 2001『田口高野遺跡』松浦市文化財調査報告書第17集 松浦市教育委員会
297. 諫見富士朗編 2001『大野原遺跡』有明町文化財調査報告書第12集 有明町教育委員会
298. 古門雅高編 2001『東鷹野遺跡』有明町文化財調査報告書第13集 有明町教育委員会
299. 宇土靖之・竹中哲朗編 2001『一野遺跡Ⅱ』有明町文化財調査報告書第14集 有明町教育委員会
300. 福田一志・井立尚編 2002『千里ヶ浜遺跡』長崎県文化財調査報告書第168集 長崎県教育委員会
301. 宮下雅史編 2002『磨屋町遺跡』長崎市教育委員会
302. 中田敦之・明石拓子編 2002『下谷遺跡』松浦市文化財調査報告書第18集 松浦市教育委員会
303. 村川逸朗ほか編 2003『供養川遺跡』長崎県文化財調査報告書第174集 長崎県教育委員会
304. 中田敦之・明石拓子編 2003『松浦市内遺跡確認調査4』松浦市文化財調査報告書第19集 松浦市教育委員会
305. 川道寛・古門雅高編 2004『地域拠点遺跡内容確認発掘調査報告書Ⅰ』長崎県文化財調査報告書第176集 長崎県教育委員会
306. 副島和明ほか編 2005『小野F遺跡』長崎県文化財調査報告書第186集 長崎県教育委員会
307. 本多和典・大河憲二編 2005『下末宝遺跡・上畦津遺跡』深江町文化財調査報告書第1集 深江町教育委員会
308. 中尾篤ほか編 2006『肥賀太郎遺跡』長崎県文化財調査報告書第189集 長崎県教育委員会
309. 副島和明ほか編 2006『門前遺跡』長崎県文化財調査報告書第190集 長崎県教育委員会
310. 本多和典ほか編 2006『権現脇遺跡』深江町文化財調査報告書第2集 深江町教育委員会

<佐賀県>

311. 木下之治編 1973『大門遺跡』佐賀市文化財調査報告書第9集 佐賀市教育委員会
312. 田島龍太ほか編 1977『小川島貝塚』唐津原始文化研究会
313. 中牟田賢治編 1978『千塔山遺跡』基山町遺跡発掘調査団
314. 堀川義英編 1979『牟田辻・中野遺跡』佐賀県文化財調査報告書第45集 佐賀県教育委員会
315. 杠 一義編 1979『本川原遺跡』佐賀県文化財調査報告書第49集 佐賀県教育委員会



316. 盛蜂雄・中島直幸編 1979『九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査概報』佐賀県教育委員会
317. 東中川新子ほか編 1980『大門西遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書(1) 佐賀県教育委員会
318. 堀川義英編 1980『柏崎遺跡群』佐賀県文化財調査報告書第53集 佐賀県教育委員会
319. 杠 一義編 1981『香田遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書(2) 佐賀県教育委員会
320. 中島直幸・田島龍太編 1982『菜畑』唐津市文化財調査報告書第5集 唐津市教育委員会
321. 東中川忠美編 1983『西原遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財調査報告書第3集 佐賀県教育委員会
322. 松尾吉高編 1983『波戸遺跡群』鎮西町文化財調査報告書第1集 鎮西町教育委員会
323. 蒲原宏行編 1984『金立開拓遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(4) 佐賀県教育委員会
324. 松尾吉高編 1984『七ッ江遺跡』肥前町文化財調査報告書第4集 肥前町教育委員会
325. 田島龍太・中島直幸編 1985『枝去木幹線水路建設に伴う文化財調査概報』唐津市文化財調査報告書第13集 唐津市教育委員会
326. 盛 蜂雄編 1985『天神搦遺跡・浦川内東方遺跡・鈴桶遺跡』伊万里市文化財調査報告書第17集 伊万里市教育委員会
327. 東中川忠美編 1986『久保泉丸山遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(5) 佐賀県教育委員会
328. 西村隆司編 1988『長尾開拓遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(8) 佐賀県教育委員会
329. 田島龍太編 1988『菅牟田遺跡群確認調査』唐津市文化財調査報告書第30集 唐津市教育委員会
330. 田島龍太編 1989『草履作遺跡』唐津市文化財調査報告書第34集 唐津市教育委員会
331. 明瀬慎吾編 1989『赤松海岸遺跡』鎮西町文化財調査報告書第7集 鎮西町教育委員会
332. 福田義彦・前田達男編 1990『来迎寺遺跡』佐賀市文化財調査報告書第27集 佐賀市教育委員会
333. 田島龍太編 1991『湊松本遺跡1』唐津市埋蔵文化財調査報告書第43集 唐津市教育委員会
334. 田島龍太編 1991『中尾二ツ枝1』唐津市文化財調査報告書第47集 唐津市教育委員会
335. 藤井浩司編 1991『新木場東遺跡』肥前町文化財調査報告書第7集 肥前町教育委員会
336. 高瀬哲郎ほか編 1992『朝日北遺跡』九州自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(15) 佐賀県教育委員会
337. 船井向洋編 1992『加志田遺跡・円造寺遺跡』伊万里市文化財調査報告書第38集 伊万里市教育委員会
338. 家田淳一編 1993『切畑遺跡』九州横断自動車道関係埋蔵文化財発掘調査報告書(16) 佐賀県教育委員会
339. 徳永貞紹編 1993『平原遺跡II』佐賀県文化財調査報告書第120集 佐賀県教育委員会
340. 西田巖編 1993『大野原遺跡』佐賀市文化財調査報告書第48集 佐賀市教育委員会
341. 内田孔明編 1993『十蓮II遺跡』唐津市文化財調査報告書第54集 唐津市教育委員会
342. 徳富則久編 1993『西百合野遺跡』江北町文化財調査報告書第2集 江北町教育委員会
343. 田島龍太編 1994『徳蔵谷遺跡1』唐津市文化財調査報告書第57集 唐津市教育委員会
344. 内田孔明編 1994『高峰遺跡2』唐津市文化財調査報告書第58集 唐津市教育委員会
345. 内田孔明編 1996『梨川内村前遺跡2』唐津市文化財調査報告書第65集 唐津市教育委員会
346. 田島龍太編 1996『徳蔵谷遺跡3』唐津市文化財調査報告書第68集 唐津市教育委員会
347. 田島龍太編 1996『唐ノ川高峰遺跡3』唐津市文化財調査報告書第72集 唐津市教育委員会
348. 船井向洋・松下孝幸編 1996『宮ノ前北遺跡』伊万里市文化財調査報告書第43集 伊万里市教育委員会
349. 藤井浩司編 1996『赤坂III遺跡』肥前町文化財調査報告書第11集 肥前町教育委員会



350. 田島龍太編 1997『菅牟田西山遺跡・山田団六遺跡』唐津市埋蔵文化財調査報告書第79集 唐津市教育委員会
351. 久山高史編 1998『西田遺跡』鳥栖市文化財調査報告書第56集 鳥栖市教育委員会
352. 内田孔明編 1998『八幡溜第II遺跡2』唐津市文化財調査報告書第82集 唐津市教育委員会
353. 仁田坂聡編 1998『雲透遺跡II』唐津市文化財調査報告書第83集 唐津市教育委員会
354. 川副麻理子編 1998『筑後川下流用水事業に係る文化財調査報告書5』佐賀県文化財調査報告書第136集 佐賀県教育委員会
355. 大橋隆司編 1998『牛津町内遺跡発掘調査I』牛津町文化財調査報告書第13集 牛津町教育委員会
356. 船井向洋編 1998『樽浦遺跡』伊万里市文化財調査報告書第45集 伊万里市教育委員会
357. 田島龍太編 2000『菅牟田西山遺跡3』唐津市文化財調査報告書第94集 唐津市教育委員会
358. 久山高史ほか編 2000『歳上遺跡III』鳥栖市文化財調査報告書第61集 鳥栖市教育委員会
359. 荒谷義樹編 2000『午辰遺跡』伊万里市文化財調査報告書第47集 伊万里市教育委員会
360. 八尋 実編 2000『船塚遺跡』神埼町文化財調査報告書第67集 神埼町教育委員会
361. 木島慎治ほか編 2001『徳永遺跡群VI徳永遺跡20区』佐賀市文化財調査報告書第127集 佐賀市教育委員会
362. 木島慎治ほか編 2001『徳永遺跡群VII徳永遺跡21区』佐賀市文化財調査報告書第128集 佐賀市教育委員会
363. 田島龍太編 2001『菅牟田荒谷遺跡2』唐津市文化財調査報告書第96集 唐津市教育委員会
364. 田島龍太編 2001『東山I遺跡』唐津市文化財調査報告書第97集 唐津市教育委員会
365. 草場誠司編 2001『外原遺跡』唐津市文化財調査報告書第98集 唐津市教育委員会
366. 仁田坂聡編 2001『半田新田遺跡』唐津市文化財調査報告書第100集 唐津市教育委員会
367. 武谷和彦・徳富則久編 2001『馬川谷口遺跡1区・2区』七山村文化財調査報告書第2集 七山村教育委員会
368. 岩尾峯希編 2003『徳蔵谷遺跡4』唐津市文化財調査報告書第110集 唐津市教育委員会
369. 岩尾峯希編 2004『徳蔵谷遺跡5』唐津市文化財調査報告書第117集 唐津市教育委員会

<熊本県>

370. 松村道博編 1978『谷頭遺跡』谷頭遺跡調査団
371. 佐藤伸二・本田多江編 1980『矢護川日向遺跡調査報告』九州電力株式会社・日向遺跡調査団
372. 隈 昭志編 1980『古保山・古閑・天城』熊本県文化財調査報告書第47集 熊本県教育委員会
373. 中村幸史郎・倉原謙治編 1980『城・下原遺跡』山鹿市立博物館調査報告第1集 山鹿市教育委員会
374. 中村幸史郎ほか編 1982『方保田東原遺跡』山鹿市立博物館調査報告書第2集 山鹿市教育委員会
375. 松本健郎・野田拓治編 1983『上の原遺跡I』熊本県文化財調査報告書第58集 熊本県教育委員会
376. 隈 昭志編 1984『沖ノ原遺跡』五和町教育委員会
377. 村井眞貴・島津義昭編 1986『伊坂上原遺跡・石佛遺跡』熊本県文化財調査報告書第78集 熊本県教育委員会
378. 古森正次編 1994『ワクト石遺跡』熊本県文化財調査報告書第144集 熊本県教育委員会
379. 野田恒親・濱田彰久編 1999『古閑北遺跡』熊本県文化財調査報告書第184集 熊本県教育委員会
380. 竹田宏司編 1999『太郎迫遺跡・妙見遺跡』熊本県文化財調査報告書第186集 熊本県教育委員会
381. 中原幹彦・鶴嶋深雪編 2002『笹尾遺跡II』植木町文化財調査報告書第13集 植木町教育委員会



<大分県>

382. 高橋信武編 1983『萩台地の遺跡』萩町教育委員会  
383. 高橋信武編 1988『横枕遺跡・日向塚遺跡』直入町教育委員会  
384. 坂本嘉弘編 1989『佐知遺跡』大分県文化財調査報告書第81輯 大分県教育委員会  
385. 綿貫俊一編 1994『都原縄文集落遺跡発掘調査報告書』九重町文化財調査報告第20輯 九重町教育委員会  
386. 小林昭彦編 1995『一般国道10号宇佐道路埋蔵文化財発掘調査報告書3』大分県教育委員会  
387. 金田信子・永松みゆき編 1996『陽弓遺跡』大分県国東町文化財調査報告書第12集 国東町教育委員会  
388. 田中裕介ほか編 1998『日田市高瀬遺跡群の調査2 手崎遺跡・大部遺跡』一般国道210号日田バイパス建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ 大分県教育委員会  
389. 吉田博嗣編 1998『口が原遺跡』日田市埋蔵文化財調査報告書第17集 日田市教育委員会  
390. 行時桂子編 2004『石ヶ迫遺跡』日田市埋蔵文化財調査報告書49 日田市教育委員会  
391. 今田秀樹・土居和幸編 2006『大肥祝原遺跡Ⅱ』日田市埋蔵文化財調査報告書64 日田市教育委員会

<鹿児島県>

392. 戸崎勝洋他編 1976『法光寺遺跡』鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書2 鹿児島県教育委員会  
393. 池水寛治他編 1979『荘貝塚』出水市文化財調査報告書1 出水市教育委員会  
394. 彌榮久志他編 1982『山崎B遺跡』九州縦貫自動車道関係埋蔵文化財調査報告Ⅸ 鹿児島県埋蔵文化財発掘調査報告書18 鹿児島県教育委員会  
395. 立神次郎編 2000『沖田岩戸遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書26 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
396. 橋口勝嗣編 2002『今里遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書33 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
397. 東和幸他編 2005『大坪遺跡 上巻』鹿児島県立埋蔵文化財発掘調査報告書79 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
398. 彌榮久志他編 2005『南田代遺跡』鹿児島県立埋蔵文化財センター発掘調査報告書88 鹿児島県立埋蔵文化財センター  
399. 羽生文彦編 2005『柗原貝塚Ⅱ』垂水市埋蔵文化財発掘調査報告9 垂水市教育委員会

<宮崎県>

400. 東真一編 2000『内小野遺跡』えびの市埋蔵文化財調査報告書第24集 えびの市教育委員会  
401. 中野和浩・東真一編 2002『長江浦地区遺跡群』えびの市埋蔵文化財調査報告書第32集 えびの市教育委員会  
402. 森田浩史・金丸武司編 2003『鹿村野地区遺跡』田野地区文化財調査報告書第47集 田野町教育委員会

(各県発行年代順)

別表 1 中九州地域遺跡地名表



表1 中九州地域遺跡地名表(前期)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
尾田貝塚	玉名市天水町尾田本村屋敷				前期・中期	貝塚					
深田浦遺跡	玉名郡長洲町腹赤深田浦				早期～前期						
桜ヶ水遺跡	菊池市旭志麓桜ヶ水				曾畑式						
南桜ヶ水遺跡	菊池市旭志麓南桜ヶ水				曾畑式						
宮山遺跡群	阿蘇郡西原村宮山西原・広瀬				早前後晩期						
袴野遺跡	阿蘇郡西原村小森袴野藪				前期						
楯須A遺跡	阿蘇郡南阿蘇村河陰楯須原				早～中期						
山田東部牧場遺跡	阿蘇市山田				前期						
東荒牧遺跡	阿蘇市西小園				轟式						
鳥間石遺跡	阿蘇市西湯浦				轟C式						
伝習農場遺跡	鹿本郡植木町清水堤が平				早期・前期						
龍田陳内遺跡	熊本市龍田町陳内	台地上	35～40m	?	曾畑式(轟式・阿高式・三万田式・御領式・黒川式)	包蔵地	集石1				○
託麻弓削遺跡群	熊本市弓削町				前・後晩期土器						
八景水谷遺跡	熊本市八景水谷1丁目	平野部	約15m	?	曾畑式・小池原上層式	包蔵地					
カプト山遺跡	熊本市黒髪町字留毛甲山	尾根上	40～50m	?	早期主体(轟式・北久根山式・太郎迫式・黒川式)	包蔵地	なし				
麻生原遺跡	上益城郡甲佐町麻生原				前中晩期						
カキワラ貝塚	上益城郡嘉島町下六嘉				前・後期	貝塚					
小迫遺跡	上益城郡嘉島町井寺小迫				前期						
南田遺跡	上益城郡山都町南田原前				早前期						
片平遺跡	上益城郡山都町城平城の平				早前期						
牛が瀬遺跡	上益城郡山都町鶴が田谷				前期						
源志山遺跡	上益城郡益城町福原源志山				曾畑式						
千無田遺跡	上益城郡御船町田代千無田開拓地				前期						
轟貝塚	宇土市宮の庄居屋敷				轟式	貝塚					
馬場遺跡	宇土市神合馬場下				曾畑式						
曾畑貝塚	宇土市岩古曾北原ほか				曾畑式	貝塚					

表2 中九州地域遺跡地名表(中期)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
保田木貝塚	玉名市高瀬保田木町				阿高式	貝塚					
桃田貝塚	玉名市大倉桃田原				阿高式	貝塚					
尾崎貝塚	玉名市岱明町野口尾崎				阿高式	貝塚					
庄司貝塚	玉名市岱明町山下庄司				阿高式	貝塚					
古閑原貝塚	玉名市岱明町山下久々牟田				阿高式	貝塚					
竹崎貝塚	玉名市天水町竹崎山崎				阿高式	貝塚					
尾田貝塚	玉名市天水町尾田本村屋敷				曾畑式・阿高式	貝塚					
湯の浦貝塚	玉名市天水町小天部田				阿高式	貝塚					
高野古閑遺跡	玉名郡和水町高野古閑				中後期土器						
腹赤貝塚	玉名郡長洲町腹赤新町				阿高式・西平式・御領式	貝塚					
天の岩戸岩陰遺跡	山鹿市菊鹿町山内鶴次郎				中後晩期						
岡田遺跡	菊池市七城町岡田				竹崎式	集落		2		竹崎式	
姫井遺跡	菊池市旭志弁利				阿高式						
伏石遺跡	菊池市旭志麓伏石				阿高式						
七野尾遺跡	菊池郡大津町矢護川七野尾				早期・中期・後期・晩期						
河原第5・8・16遺跡	阿蘇郡西原村河原大野				早期・中期						
楢須△遺跡	阿蘇郡南阿蘇村河陰楢須原				早～中期						
八久保遺跡	合志市竹迫				阿高式・御領式						
川戸貝塚	熊本市松尾町中松尾				早・前・中・後期	貝塚					
帯山遺跡群	熊本市帯山1丁目				阿高式・竹崎式						
高橋遺跡	熊本市高橋町・上高橋町	平野部	約5m	?	阿高式・北久根山式・黒川式(並木式・南福寺式・中津式・出水式・御手洗A式・小池原上層式・鐘崎式・辛川式・太郎迫式・鳥井原式・御領式)	包蔵地	なし				
川戸貝塚	熊本市松尾町中松尾	沖積平野	10m	?	阿高式(轟式・曾畑式・竹崎式・並木式・南福寺式・出水式・御手洗A式・小池原上層式・鐘崎式・辛川式・太郎迫式・三万田式・御領式)	貝塚	なし				
広木遺跡	熊本市広木町	台地上	約10m	?	竹崎式	包蔵地	なし				
麻生原遺跡	上益城郡甲佐町麻生原				前中晩期						
阿高貝塚	下益城郡城南町阿高字東原	台地上	?	40m <sup>2</sup>	阿高式・阿高式系	貝塚	住居址1 土坑5 獣骨埋葬遺構	1		南福寺式	
仲間貝塚	宇城市松橋町両仲間仲間				阿高式						



表3 中九州地域遺跡地名表(後期前半-1)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
腹赤貝塚	玉名郡長洲町腹赤新町				阿高式・西平式・御領式	貝塚	なし				
若園貝塚	玉名郡和水町江田若園				阿高式～御手洗A式	貝塚	ピット				
清原遺跡	玉名郡和水町江田大久保原ほか				鐘崎式・太郎迫式・御領式・古閑式						
城・下原遺跡	山鹿市城字下原	台地上	65m	?	西平式	包蔵地	溝状遺構 土坑				○
木柑子下原遺跡	菊池市木柑子字西ノ平	台地上	?	1600㎡	辛川式(三万田式・鳥井原式)	集落	住居址5 土坑13	5	円形	辛川式	
木柑子西原遺跡	菊池市木柑子字西原	台地上	?	4500㎡	辛川式(太郎迫式・古閑式)	集落	住居址2 土坑2	2	円形 楕円形	辛川式	
木柑子東山ノ上遺跡	菊池市木柑子字山の上	台地上	?	2620㎡	辛川式(市来式・三万田式・鳥井原式・御領式・天城式)	集落?	住居址1 土坑20 集石遺構4	1	円形	辛川式	○
ヒララ石遺跡	菊池市旭志川辺柏木				磨消縄文?						
柏木遺跡	菊池市旭志川辺柏木				磨消縄文・御領式						
川辺西原遺跡	菊池市旭志川辺西原				南福寺式・出水式						
松ヶ平遺跡	菊池市旭志新明松ヶ平				太郎迫式・御領式						
大久保遺跡	菊池市七城町林原	丘陵上	65～68m	約3766㎡	天城式・御領式(西平式・太郎迫式・三万田式・鳥井原式・古閑式・黒川式)	集落	住居址7 埋甕	7	うち4基は壁のみ検出	御領式1 天城式3 太郎迫式1	○
亀尾原遺跡	菊池市七城町亀尾西上原				西平式・御領式						
二本松遺跡	阿蘇市西湯浦二本松				南福寺式・出水式・西平式・鐘崎式・天城式						
産神社遺跡	阿蘇市狩尾下山				北久根山式・鐘崎式・御手洗A式・三万田式						
水掛長迫遺跡	阿蘇市山田				西平式・鐘崎式						
中坂梨遺跡	阿蘇市一の宮町中坂梨豆礼				出水式						
北坂梨遺跡	阿蘇市一の宮町三野北坂梨				出水式・御手洗A式・三万田式	包蔵地					
ワクト石遺跡	菊池郡大津町杉水	台地上	約140m	8000㎡	三万田式(太郎迫式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式)	集落	住居址10 埋鉢3 ピット1 階段状落ち込み 柱穴群	10		御領式～天城式1 三万田式1 御領式1 太郎迫式1 太郎迫～天城式2 太郎迫式?3	○
今村遺跡	菊池郡大津町杉水今村				西平式・御手洗B式						
御領原遺跡	菊池郡大津町矢護川御領原				西平式・御領式						
辛川東原遺跡	菊池郡菊陽町辛川東原ほか				辛川I・II式						
六地藏遺跡	菊池郡菊陽町津久礼字六地藏	自然堤防上	55～59m	?	北久根山式(攪乱層から三万田式)	集落	住居址17 土坑1	17	円形13 楕円形3 長方形1	北久根山式	
塔ノ本遺跡	鹿本郡植木町轟字塔ノ本	台地上	96m	6124㎡	北久根山式	包蔵地	ピット1 焼土2				
今古閑久保遺跡	鹿本郡植木町轟字今古閑	台地上	92m	3378㎡	西平式(黒川式)						
笹尾遺跡	鹿本郡植木町木留字中土井	台地上	100m	3600㎡	西平式(三万田式)	包蔵地	土坑2				
御手洗遺跡	合志市幾久富御手洗				御手洗式						



表4 中九州地域遺跡地名表(後期前半-2)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
太郎迫遺跡	熊本市太郎迫町	台地上	70~90m	12500㎡	太郎迫式(西平式・三万田式・鳥居原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式・刻目突帯文)	集落	住居址6 土坑155 埋設土器46	6	円形	西平式・太郎迫式2 天城式4	○
妙見遺跡	熊本市立福寺町	台地上	70~90m	1550㎡	太郎迫式(西平式・三万田式・鳥居原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式・刻目突帯文)	集落	土坑16				
万楽寺出口遺跡	熊本市万楽寺町	台地上	?	6000㎡	西平式?	包蔵地	なし				
千原台遺跡群	熊本市島崎町3丁目	台地上	?	750㎡	鐘崎式・辛川式・太郎迫式・古閑式・黒川式	集落	なし	1?	?	後晚期土器	
中尾遺跡	熊本市花園4丁目	丘陵斜面	40~50m	?	太郎迫式	包蔵地	なし				
柿原遺跡群	熊本市花園町柿原柿原	?	30m	?	北久根山式・辛川I式	包蔵地	なし				
吉原遺跡	熊本市吉原町殿田	河岸段丘上	約51m	?	南福寺式・御領式・黒川式	包蔵地	なし				
打越貝塚	熊本市清水町打越	台地裾	10m	?	北久根山式	貝塚	なし				
八景水谷遺跡	熊本市八景水谷1丁目	平野部	約15m	?	曾畑式・小池原上層式	包蔵地					
北久根山遺跡	熊本市渡鹿	台地上	25m	?	北久根山式(御領式)	集落?	住居址1	1	円形	北久根山式	
渡鹿貝塚	熊本市渡鹿6丁目	河岸段丘上	約20m	?	鐘崎式(阿高式・太郎迫式・黒川式)	貝塚	住居址1 屋外炉				
陣内上ノ園遺跡群	熊本市籠田町上立田				御手洗A式						
弓削上古閑遺跡	熊本市弓削町上古閑	河岸段丘上	約57m	?	辛川II式(曾畑式・辛川I式・太郎迫式・御領式)	包蔵地	なし				
中江町遺跡	熊本市中江町	河岸段丘上	51~55m	?	福田KII式・南福寺式・出水式・御領式(阿高式・黒川式)	包蔵地	なし				
高橋遺跡	熊本市高橋町・上高橋町	平野部	約5m	?	阿高式・北久根山式・黒川式(並木式・南福寺式・中津式・出水式・御手洗A式・小池原上層式・鐘崎式・辛川式・太郎迫式・鳥井原式・御領式)	包蔵地	なし				
西水前寺町遺跡	熊本市水前寺1丁目				阿高式系						
千金甲菖蒲谷貝塚	熊本市小島下町菖蒲谷	山裾部	約5m	?	鐘崎式・御領式(御手洗A式・北久根山式・太郎迫式)	包蔵地	なし				
沼山津貝塚	熊本市秋津町3丁目沼山津	台地上	5.5m	?	南福寺式・出水式・北久根山式(並木式・阿高式・鐘崎式)	貝塚	土坑墓1				
ソビエ石貝塚	下益城郡富合町木原辨天・鱈塚				阿高式系	貝塚					
阿高貝塚	下益城郡城南町阿高字東原	台地上	?	40㎡	阿高式・阿高式系	貝塚	住居址1 土坑5 獣骨埋葬遺構	1		南福寺式	
黒橋貝塚	下益城郡城南町下宮地字外田	?	?	800㎡	阿高式系(並木式・阿高式・南福寺式・出水式)	貝塚	土坑73				
浜ノ洲貝塚	宇城市三角町戸馳字若宮	丘陵上	?	28㎡前後	鐘崎式~西平式	貝塚	埋葬遺構2 配石遺構				
古閑原遺跡	宇城市豊野町下郷字清水寺ほか	台地上	72m	16000㎡	出水式・鐘崎式・北久根山式・御領式(西平式・三万田式・天城式・古閑式)	包蔵地	埋甕34				
糸石貝塚	宇城市豊野町糸石末ノ原				阿高式系	貝塚					
七ツ江カキワラ貝塚	宇城市小川町南部田七ツ江				出水式	貝塚					
西岡台貝塚	宇土市宮の庄西岡				出水式・北久根山式	貝塚					
古保里貝塚	宇土市小保里居屋敷				西平式・御領式	貝塚					



表5 中九州地域遺跡地名表(後期後半-1)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
野部田東遺跡	玉名市天水町野部田平				御領式						
伊倉八幡宮境内遺跡	玉名市宮原北方ほか				阿高式・御領式						
伊倉宮の後遺跡	玉名市伊倉北方宮の後				阿高式・御領式						
中土西遺跡	玉名市岱明町中土西分・大跡				御領式						
腹赤貝塚	玉名郡長洲町腹赤新町				阿高式・西平式・御領式	貝塚	なし				
高野奥原遺跡	玉名郡和水町				御領式						
清原遺跡	玉名郡和水町江田大久保原ほか				鐘崎式・太郎迫式・御領式・古閑式	包蔵地	なし				
松阪原遺跡	玉名郡和水町瀬川				三万田式・古閑式						○
古閑原遺跡	玉名郡和水町下津原				磨消縄文・晩期前半						
竈門寺原遺跡	玉名郡和水町竈門寺原	河岸段丘上	?	700㎡	三万田式	包蔵地	なし				
相谷向原遺跡	玉名郡南関町相谷向原				黒色磨研						
東山西遺跡	玉名郡玉東町原倉荒平				御領式						
梅迫遺跡	山鹿市城松の木原	台地上	?	約500㎡	鳥井原式(太郎迫式・三万田式・御領式・天城式・古閑式)	包蔵地	埋甕2ピット				
牛草遺跡	山鹿市志々岐牛草				御領式	集落		2		御領式	○
大久保遺跡	菊池市七城町林原	丘陵上	65~68m	約3766㎡	天城式・御領式(西平式・太郎迫式・三万田式・鳥井原式・古閑式・黒川式)	集落	住居址7埋甕	7	うち4基は壁のみ検出	御領式1 天城式3 太郎迫式1	○
水次一本松遺跡	菊池市七城町水次一本松				後晩期・御領式含	集落	住居址	○			
山崎遺跡	菊池市七城町山崎屋敷				御領式						
亀尾原遺跡	菊池市七城町亀尾西上原				西平式・御領式						
深川遺跡	菊池市深川諏訪原				御領式						
毛原遺跡	菊池市原毛足				御領式						
三万田遺跡	菊池市泗水町亀尾東原	台地上	?	?	三万田式	集落	住居址2	2		三万田式1 御領式1	○
城山遺跡	菊池市泗水町住吉城山				御領式						
伊坂上原遺跡	菊池市旭志伊坂上原	台地上	約100m	6500㎡	三万田式~御領式	集落	住居址2 炉跡 鉢8 方形溝遺構 円形周溝遺構	2	円形	三万田式~鳥井原式1 御領式~天城式1	
三本三西原遺跡	菊池市旭志伊坂				鳥井原式						
屋敷の上遺跡	菊池市旭志弁利屋敷の上				御領式						
中尾遺跡	菊池市旭志辨利中尾				御領式						
四郎丸遺跡	菊池市旭志川辺小が原ほか				御領式						
高永遺跡	菊池市旭志新明高永				御領式						
松ヶ平遺跡	菊池市旭志新明松ヶ平				太郎迫式・御領式						
前畑遺跡	菊池市旭志新明前畑				天城式	集落	住居址10	10		天城式	
尾足原遺跡	菊池市旭志尾足南原				御領式						
たばこ石遺跡	菊池市旭志麓たばこ石				御領式						
五十町遺跡	菊池市旭志麓五十町				御領式						
天城遺跡	菊池市赤星錢塚				天城式	集落	住居址2	2		三万田式1	○
藤田上原遺跡	菊池市藤田上原				天城式						
中塚遺跡	阿蘇市西湯浦二本松				三万田式						



表6 中九州地域遺跡地名表(後期後半-2)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
二本松遺跡	阿蘇市西湯浦二本松				南福寺式・出水式・西平式・鐘崎式・天城式	包蔵地	なし				
北坂梨遺跡	阿蘇市一の宮町三野北坂梨				出水式・御手洗A式・三万田式	包蔵地	なし				
産神社遺跡	阿蘇市狩尾下山				北久根山式・鐘崎式・御手洗A式・三万田式	包蔵地	なし				
一里山遺跡	阿蘇市狩尾雛川				三万田式						
栗の木遺跡	阿蘇市一の宮町三野栗の木				黒色研磨土器						
沖田遺跡	合志市野々島沖田				御領式						
西合志中学校敷地遺跡	合志市野々島中原・枇杷田				御領式						
中林遺跡	合志市栄				御領式						
小園遺跡	合志市豊岡小園				御領式						
八久保遺跡	合志市竹迫				阿高式・御領式						
御領遺跡	合志市竹迫福原				御領式						○
竹迫宇土遺跡	合志市竹迫宇土	台地上	?	1600㎡	三万田式(北久根山式)	包蔵地	焼土遺構				
小合志原遺跡	合志市合生辻久保・小合志原				御領式	集落	住居址	○		不明	
ワクト石遺跡	菊池郡大津町杉水	台地上	約140m	8000㎡	三万田式(太郎迫式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式)	集落	住居址10 埋鉢3 ピット1 階段状落ち込み 柱穴群	10		御領式~天城式1 三万田式1 御領式1 太郎迫式1 太郎迫~天城式2 太郎迫式?3	○
馬糞塚遺跡	菊池郡大津町矢護川七野尾				御領式・押型文						
御領原遺跡	菊池郡大津町矢護川七野尾				御領式						
水ノ山遺跡	菊池郡大津町矢護川				御領式						
ナギナタ遺跡	菊池郡大津町平川				御領式						
森遺跡	菊池郡大津町森覆迫				御領式						
梅ノ木遺跡	菊池郡菊陽町津久礼				黒色研磨期	集落	住居址3	3		後晩期1 黒色研磨1	
上中原遺跡	菊池郡菊陽町辛川字上中原	台地上	90~110m	1700㎡	鳥井原式(三万田式・御領式)	集落	住居址2 溝状遺構3 炉跡2 埋甕1 土坑1	2	円形	三万田式~鳥井原式1 鳥井原式~御領式1	
ヲスギ遺跡	鹿本郡植木町滴水	丘陵上	85m	18192㎡	御領式(北久根山式・太郎迫式・三万田式・鳥井原式・黒川式)	集落	住居址6 炉穴5 埋設土器3 土坑12	6	竪穴式 円形	後期後半~晩期(詳細不明)	
石の本遺跡	熊本市平山町字石の本	微高地上	?	13549600㎡	天城式(御領式・古閑式)	集落	住居址76 埋設土器 円形周溝 土坑	76	円形 楕円形 方形	天城式 御領式 古閑式	
沼山津遺跡	熊本市桜木	河岸段丘上	19~20m	約1100㎡	天城式(阿高式系)	集落	なし				



表7 中九州地域遺跡地名表(後期後半-3)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
竜田陣内遺跡	熊本市竜田町陣内字戸ノ上	河岸段丘上	36~38m	3550㎡	御領式(刻目突帯文)	包蔵地	なし				
鶴羽田遺跡	熊本市梶尾町鶴の原	台地上	?	2000㎡	御領式・天城式(阿高式・太郎迫式・三万田式・鳥井原式・古閑式・黒川式・刻目突帯文)	集落	住居址13 土坑10 焼土坑3	13	円形 楕円形	御領式9 天城式5 他不明	
太郎迫遺跡	熊本市太郎迫町	台地上	70~90m	12500㎡	太郎迫式(西平式・三万田式・鳥居原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式・刻目突帯文)	集落	住居址6 土坑155 埋設土器46	6	円形	西平式・太郎迫式2 天城式4	○
山海道遺跡	熊本市太郎迫町	丘陵上	?	3500㎡	御領式(鳥井原式・天城式・古閑式)	集落	住居址5 埋甕21 土坑12 焼土坑1 溝6 石組み炉1 集石35	5	方形 円形	御領式~天城式?	○
五丁中原遺跡	熊本市貢町馬場・三つ塚	台地上	60~65m	?	鳥井原式・天城式	集落	住居址3 埋甕	3	円形	鳥井原式 天城式	○
立石遺跡	熊本市改寄町北の割・南の割	台地上	75m	?	鳥井原式・御領式	包蔵地	なし				
四方寄遺跡	熊本市四方寄町平畑・上野	台地上	80m	?	三万田式・御領式(太郎迫式・鳥井原式)	集落?	住居址2	2	?	?	○
川東遺跡群	熊本市和泉町幡宮	台地上	80m	?	三万田式	包蔵地	なし				○
島崎遺跡	熊本市島崎	山地斜面	53~57m	1954㎡	三万田式~古閑式?(太郎迫式・黒川式・刻目突帯文)	集落	土坑75 埋設土器3 炉跡3 集石遺構2 竪穴状遺構5 ピット274 不明遺構2				
楠田地遺跡	熊本市楠1丁目	台地上	約80m	?	御領式	包蔵地	埋甕1				
中江町遺跡	熊本市中江町	河岸段丘上	51~55m	?	福田KⅡ式・南福寺式・出水式・御領式(阿高式・黒川式)	包蔵地	なし				
庵ノ前遺跡	熊本市龍田町上龍田字古閑山ほか	台地上	?	6900㎡	古閑式?(三万田式~刻目突帯文)	包蔵地	なし				
竹ノ後・芭蕉遺跡群	熊本市上龍田町竹ノ後	河岸段丘上	約55m	?	御領式	包蔵地	石囲み				○
楠遺跡	熊本市龍田町				御領式						
弓削宮原遺跡	熊本市弓削町宮原	河岸段丘上	約53m	?	鳥井原式・御領式(轟式・曾畑式・幸川Ⅰ式・黒川式)	包蔵地	なし				○
吉原遺跡	熊本市吉原町殿田	河岸段丘上	約51m	?	南福寺式・御領式・黒川式	包蔵地	なし				
上南部遺跡	熊本市上南部町	河岸段丘上	48m	8334㎡	鳥井原式・御領式(阿高式・北久根山式・三万田式・天城式・古閑式・黒川式)	集落	住居址5 埋甕17 特殊石組遺構	12	円形 隅丸方形	詳細時期不明	○
乾原遺跡	熊本市長嶺町乾原ほか	台地上	50~53m	2352㎡	天城式?	包蔵地	住居址1 埋甕1	1	不明(周囲攪乱)	天城式?	○
長嶺遺跡群	熊本市長嶺町	台地上	約68m	?	御領式(北久根山式・鳥井原式・黒川式)	包蔵地	なし				



表8 中九州地域遺跡地名表(後期後半-4)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
新南部遺跡	熊本市新南部1・2丁目	台地上	約30m	?	天城式	包蔵地	なし				
市営託麻団地遺跡	熊本市新南部託麻団地				御領式						
中山遺跡	熊本市小山町中山	台地上	約60m	?	天城式・古閑式(阿高式・南福寺式・黒川式)	包蔵地	なし				
中原道明遺跡	熊本市小山町	台地上	約90m	?	天城式・古閑式	包蔵地	なし				
鳥井原遺跡	熊本市健軍町鳥井原	台地上	?	?	鳥井原式(鐘崎式・北久根山式・三万田式・御領式)	包蔵地	なし				
健軍神社遺跡	熊本市健軍本町	台地上	約25m	?	天城式(竹崎式・御手洗A式・鐘崎式・北久根山式・辛川I式・太郎迫式・鳥井原式・御領式・黒川式)	包蔵地	埋甕1				○
健軍上ノ原遺跡	熊本市健軍本町	台地上	約25m	?	御領式・天城式(並木式・阿高式・太郎迫式・黒川式)	集落	住居址1 埋甕	1		天城式	○
水源地遺跡	熊本市水源1丁目	台地上	約10m	?	鳥井原式・御領式(曾畑式・轟式・竹崎式・並木式・阿高式・太郎迫式・三万田式・黒川式)	集落	住居址1	1		鳥井原式 御領式	○
八反田遺跡群	熊本市長嶺町八反田				天城式?						
川戸貝塚	熊本市松尾町中松尾	沖積平野	10m	?	阿高式(轟式・曾畑式・竹崎式・並木式・南福寺式・出水式・御手洗A式・小池原上層式・鐘崎式・辛川式・太郎迫式・三万田式・御領式)	貝塚	なし				
千金甲菖蒲谷貝塚	熊本市小島下町菖蒲谷	山裾部	約5m	?	鐘崎式・御領式(御手洗A式・北久根山式・太郎迫式)	貝塚	なし				
古閑北遺跡	上益城郡益城町古閑ほか	台地上	約30m	28700㎡	天城式(阿高式・南福寺式・出水式・御手洗式・北久根山式・福田KII式・御領式・古閑式・刻目突帯文)	集落	住居址17 円形周溝遺構 9 埋甕2 土坑(数十)	17	円形	天城式2 ほか後期後半 期	
梨木遺跡	上益城郡益城町梨木	台地上	約30m	16700㎡	御領式~古閑式(阿高式・出水式・御手洗式・市来式・北久根山式・鐘崎式)	包蔵地	なし				
二の峠遺跡	上益城郡益城町安永字二の峠	台地上	39m	5400㎡	天城式・古閑式(阿高式・出水式・北久根山式・御領式・黒川式)	集落	住居址3 集石遺構4 焼土坑15 溝状遺構	3	円形 楕円形	天城式~古閑 式?	
御領貝塚	下益城郡城南町東阿高八ツ尾				御領式	貝塚					○
西天神原遺跡	下益城郡城南町坂野西天神原				御領式			1		御領式	
古閑原遺跡	宇城市豊野町下郷字清水寺ほか	台地上	72m	16000㎡	出水式・鐘崎式・北久根山式・御領式(西平式・三万田式・天城式・古閑式)	包蔵地	埋甕34				
松橋大野貝塚	宇城市松橋町大野前田				三万田式・御領式~晩期	貝塚					○
古保山打越遺跡	宇城市松橋町古保山字打越	微高地上	35m	?	御領式・黒川式	包蔵地	土坑2				
曲野貝塚	宇城市松橋町曲野				御領式	貝塚					
古保里貝塚	宇土市小保里居屋敷				西平式・御領式	貝塚	なし				



表9 中九州地域遺跡地名表(晩期)

遺跡名	住所	立地	標高	調査面積	土器型式	遺跡タイプ	遺構	住居址			土偶
								数	タイプ	時期	
吉丸前遺跡	玉名市寺田吉丸前				古閑式・黒川式						
川辺西原遺跡	山鹿市鍋田西原	台地上	84~87m	?	黒川式?(北久根山式)	包蔵地	土坑2 溝状遺構1				
滴水尖遺跡	鹿本郡植木町滴水字尖	台地上	92m	2385㎡	黒川式?(北久根山式)	包蔵地	なし				
八窪遺跡	菊池郡大津町高尾野字八窪	谷部平坦面	262m	?	三万田式(御領式・黒川式)	包蔵地	ピット1	2	円形不明	晩期?	
瀬田裏遺跡	菊池郡大津町瀬田裏字荻の平ほか	尾根裾	?	?	黒川式(阿高式・刻目突帯文)	包蔵地	土坑4				
岩倉山中腹遺跡	熊本市八景水谷	台地上?	?	114㎡	黒川式(鳥居原式・御領式・天城式・古閑式)	集落	住居址2 不明遺構1	2	方形	黒川式1 弥生中期1	
扇田遺跡	熊本市貢町	台地上	68m	15000㎡	古閑式(天城式・黒川式・刻目突帯文)	集落	住居址1 埋設土器3 土坑10	1		天城式~古閑式	
田畑遺跡	熊本市硯川町					集落		1		晩期?	
天拝山遺跡	熊本市清水町楡木	尾根上	?	?	黒川式(轟式・鳥井原式)	包蔵地	なし				
楡木遺跡	熊本市清水町楡の木	台地上	70~75m	?	黒川式(轟式・辛川式・御領式)	包蔵地	なし				○
古閑山遺跡	熊本市龍田町上龍田字古閑山	?	?	7500㎡	黒川式(北久根山式?)(御手洗式・鐘崎式・天城式・古閑式)	包蔵地	なし				
迫ノ上遺跡	熊本市龍田町上龍田ほか	?	?	6400㎡	古閑式(阿高式・三万田式・御領式・天城式・黒川式)	集落	住居2 埋甕1	2	円形	後晩期?	
カブト山遺跡	熊本市黒髪町字留毛甲山	尾根上	40~50m	?	早期主体(轟式・北久根山式・太郎迫式・黒川式)	包蔵地	なし				
吉原遺跡	熊本市吉原町殿田	河岸段丘上	約51m	?	南福寺式・御領式・黒川式	包蔵地	なし				
葉山遺跡	熊本市戸島町葉山	台地上	約60m	?	黒川式(阿高式・三万田式・鳥井原式・御領式)	包蔵地	なし				
北内潟塚参考地遺跡	熊本市小島下町北内潟	山裾部	約5m	?	黒川式	貝塚	なし				
高橋遺跡	熊本市高橋町・上高橋町	平野部	約5m	?	阿高式・北久根山式・黒川式(並木式・南福寺式・中津式・出水式・御手洗A式・小池原上層式・鐘崎式・辛川式・太郎迫式・鳥井原式・御領式)	包蔵地	なし				
上の原遺跡	下益城郡城南町塚原字上の原	台地上	30~40m	68000㎡以上	黒川式(阿高式・南福寺式・出水式・鐘崎式・北久根山式・西平式・三万田式・御領式・天城式・古閑式)	包蔵地	土坑1				
古閑遺跡	上益城郡益城町古閑	丘陵上	?	?	古閑式(阿高式・北久根山式・大石式)	包蔵地	なし				○
曲野遺跡	宇城市松橋町曲野	洪積台地上	2.5m以下	26300㎡以上	黒川式(黒川式以前型式・刻目突帯文)	包蔵地	集石遺構9				
古閑原遺跡	宇城市豊野町山崎古閑原				出水式・鐘崎式・北久根山式・天城式						
上久貝塚	宇城市松橋町久具堂前				黒川式	貝塚					



表10 中九州地域遺跡地名表(後晩期)

遺跡名	住所	時期
高野古閑遺跡	玉名郡和水町高野古閑	中後期
東山遺跡	玉名郡玉東町原倉荒強当	後期
梶尾原遺跡	菊池市七城町清泉	後期
二葉パン工場遺跡	鹿本郡植木町舞尾西原・前畑	後期
萩迫遺跡	鹿本郡植木町萩迫表畑・萩原ほか	後期
外土井遺跡	鹿本郡植木町豊岡外土井	後期
諏訪原遺跡	鹿本郡植木町鞍掛諏訪原	後期
円台寺遺跡	鹿本郡植木町円台寺本村	後期
内目遺跡	鹿本郡植木町轟ラスギ	後期
小糸山遺跡群	熊本市小糸山町居屋敷	後期
袖ノ木遺跡	熊本市硯川町市迫	後期
徳王遺跡	熊本市徳王町ほか	後期
四方寄御馬下遺跡	熊本市四方寄町御馬下	後期
高木原遺跡	合志市合生高木	後期
辻久保遺跡	合志市合生辻久保	後期
狸坂遺跡	菊池郡菊陽町曲手部田	後期
部田遺跡	菊池郡菊陽町曲手部田	後期
立石遺跡	菊池郡大津町矢護川立石	後期
中屋敷遺跡	菊池郡菊陽町辛川中屋敷	後期
池ノ窪遺跡	菊池郡菊陽町辛川池ノ窪	後期
上辛川遺跡	菊池郡菊陽町	後期
新町遺跡	阿蘇郡南阿蘇村吉田城後	後期
松手遺跡	下益城郡城南町塚原松手	後期
甘木遺跡	上益城郡御船町甘木	中後期
岩屋堂遺跡	上益城郡御船町御船下岩屋堂	後期
辺田見貝塚	上益城郡御船町辺田見下鶴	中後期
カキワラ貝塚	上益城郡嘉島町下六嘉	前・後期
中小野貝塚	宇城市小川町中小野尾崎	中後期
竹ノ下貝塚	宇城市小川町南部田竹ノ下	後期
引地貝塚	宇城市小川町中小野引地	中後期
中尾刎遺跡	玉名市天水町	後期
駄の原遺跡	山鹿市鹿央町合里東駄の原	後晩期
松崎遺跡	阿蘇市波野小園松崎	後晩期
千部塚遺跡	阿蘇市波野小園豆札	後晩期
辻遺跡	玉名郡玉東町二俣辻	後晩期
四山貝塚	荒尾市大島笠原	後晩期
境崎貝塚	荒尾市万田猪ノ鼻ほか	後晩期
宮内貝塚	荒尾市宮内本村・上屋敷	後晩期
七野尾遺跡	菊池郡大津町矢護川七野尾	早・中～晩期
清水町遺跡群	熊本市清水町山室ほか	前・後晩期
託麻弓削遺跡群	熊本市弓削町	前・後晩期
飛田遺跡群	熊本市飛田町塔の木ほか	後晩期
馬の水遺跡	熊本市花園7丁目	後晩期
襟の平遺跡	阿蘇郡西原村鳥子襟の平	後晩期
揺が池西側台地遺跡	阿蘇郡西原村小森桑鶴	後晩期
下高下遺跡	阿蘇郡西原村宮山下高下	中後晩期
將軍塚遺跡	阿蘇郡西原村宮山下高下	後晩期

遺跡名	住所	時期
宮山遺跡群	阿蘇郡西原村宮山西原・広瀬	後晩期
南原遺跡	下益城郡城南町鰐瀬南原	早・後晩期
土鹿野遺跡	下益城郡城南町鰐瀬北の畑	後晩期
石塚遺跡	上益城郡嘉島町上甘木石塚ほか	後晩期
東弁指遺跡	菊池郡菊陽町辛川東弁指	後晩期
窪遺跡	菊池郡菊陽町	後晩期
東鍋田遺跡	山鹿市鍋田東原	早～晩期
石塚笹ノ瀬遺跡		後晩期
繁根木貝塚	玉名市繁根木馬場	後晩期
亀川遺跡	玉名市天水町	後晩期
松尾遺跡	玉名郡和水町平野松尾	早・晩期
道米木遺跡	玉名市天水町	晩期
助丸・三郎丸屋敷	荒尾市下井手持丸ほか	晩期
尾鶴遺跡	菊池郡大津町杉水小迫・尾鶴	晩期
道明遺跡	菊池郡菊陽町	晩期
北上遺跡群	熊本市石原町平	晩期
石原瀬々井遺跡	熊本市石原町瀬々井	晩期
馬ノ水遺跡	熊本市花園町	晩期
皆元遺跡	阿蘇郡西原村鳥子皆元	晩期
桃の木原遺跡	阿蘇郡西原村鳥子桃の木原	早・晩期
古閑遺跡	阿蘇郡西原村鳥子古閑	早・晩期
なこやしき遺跡	阿蘇郡西原村宮山宮山	晩期
天が瀬遺跡	上益城郡御船町田代天が瀬	晩期
小池原遺跡	上益城郡御船町田代南小池	前・晩期
中山神遺跡	上益城郡御船町御船中山神	晩期
上瓜山遺跡	上益城郡御船町御船上瓜山	晩期
麻生原遺跡	上益城郡甲佐町麻生原	前中晩期
田口東原遺跡	上益城郡甲佐町田口東原	晩期
大野十三本松遺跡	上益城郡山都町上寺拾三本	晩期
男成遺跡	上益城郡山都町男成大角	晩期
今村貝塚	下益城郡城南町今吉野・西原	晩期
新御堂遺跡	下益城郡城南町宮地新御堂	晩期
柿田遺跡	下益城郡城南町藤山柿田	晩期
三石野遺跡	下益城郡城南町藤山三石野	晩期
星野屋敷跡遺跡	下益城郡城南町藤山上柿田	早晩期
山の上遺跡	下益城郡城南町出水居屋敷	早・晩期
志導寺遺跡	下益城郡城南町鰐瀬志導寺	晩期
西萱場遺跡	下益城郡城南町鰐瀬西萱場	晩期
柏原遺跡	宇城市不知火町柏原野田	晩期
嫁坂遺跡	宇城市不知火町御領東原	晩期
寺村遺跡	宇城市豊野町下郷清水寺	晩期



別表 2 鈴桶技法関連遺跡地名表



表1 鈴柄技法関連石器出土遺跡地名表(福岡県-1)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器				遺構	遺構共伴	他石材/備考	参考文献
					出土土器	主体・共存型式	石刃	刮片	つまみ形石器	その他石器				
黒崎貝塚	北九州市八幡西区黒崎	台地上	?	縄文	縄崎式・北久根山式・黒崎式	北久根山式	6	1					姫島	25
中伏遺跡	北九州市八幡西区水犬丸	低丘陵上	2.6~3.5m	縄文~弥生	晩期土器	御領式	1							96
下吉田遺跡	北九州市小倉南区吉田	低湿地上	7~9m	縄文	阿高式系・小池原上層式・中津式・縄崎式・北久根山式・西平式	縄崎式	8	5	1				サスカイト・姫島	45
勝田遺跡	北九州市小倉南区曾根字勝田	沖積地上	3.6~5.2m	縄文~中世	福田KⅡ式・小池原上層式・北久根山式	北久根山式	2					石錐1・彫器1		46
貫川遺跡	北九州市小倉南区貫	丘陵上	4~6m	縄文~弥生	轟B式・阿高式系・中津式・福田KⅡ式・縄崎式・北久根山式・西平式・黒川式	縄崎式	6	1					姫島	57・88
貫・丸尾遺跡	北九州市小倉南区貫	?	?	旧石器~近世	押型文・後期土器・晩期土器	押型文	2							184
中興ミカシキ遺跡	北九州市小倉南区貫	段丘上	20~30m	弥生~近世	轟B式・北久根山式・弥生土器	北久根山式	1							236
砥石坂遺跡	北九州市小倉南区横代字砥石坂	丘陵上	8m~22m	縄文~古代	後期土器	縄崎式		1						56
菊水町遺跡	北九州市小倉南区横代字新町	低位丘陵上	30m	縄文~中世	北久根山式	北久根山式		1						55
カキ遺跡	北九州市小倉南区横代字カキ	微高地上	10m前後	縄文~古墳	押型文・轟B式・阿高式・黒川式	黒川式		1	1					95
朽網南塚遺跡	北九州市小倉南区東朽網	低位段丘上	12m	縄文~中世	押型文・西平式	西平式	4	1					サスカイト	224
志井釜木遺跡	北九州市小倉南区志井	丘陵上	37m	弥生~中世	弥生土器	?	2						姫島	213
上桑野遺跡	築上郡上毛町重水	河岸段丘上	約30m	弥生~近世	なし	なし	2							153
池ノ口遺跡	築上郡上毛町重水字三ツ溝ほか	台地上	22m	弥生~古代	後・晩期土器	西平式	3							128
上唐原遺跡	築上郡上毛町上唐原字塚畑ほか	沖積地上	?	縄文	縄崎式・北久根山式・滋賀里式系・晩期土器	縄崎Ⅲ式		5					姫島	129
山崎遺跡	築上郡築上町越路字山崎	?	21m前後	縄文~中世	小池原上層式・縄崎式・北久根山式・三万田式・晩期土器	北久根山式	2	5	2		石錐1	住居	姫島	84
石町遺跡	築上郡築上町越路字石町	?	?	縄文・古墳・中世	小池原上層式・縄崎式・晩期土器?	北久根山式	3	2	2			住居	姫島	84
安武・深田遺跡	築上郡築上町大字安武	後背湿地上	33~34.5m	縄文~中世	後・晩期土器	縄崎式		1						76
松丸遺跡	築上郡築城町松丸	平野上	74m	縄文・中世	轟B式・北久根山式・西平式・三万田式・広田式・黒川式	北久根山式	7	4	1		石錐1			89
中村石丸遺跡	豊前市中村字石丸	低位段丘上	13m	縄文・弥生	小池原上層式・縄崎式・北久根山式・西平式・太郎迫式・三万田式・鳥居原式	北久根山式	3		2			住居	サスカイト・姫島	130
辻垣フサマル遺跡	行橋市辻垣字フサマル	自然堤防上	11.7~12.7m	縄文~古墳・近世	後期土器	縄崎式			1					90
辻垣富田・長通遺跡	行橋市辻垣字富田ほか	微高地上	10.5~12.7m	弥生・古墳	押型文・小池原上層式・縄崎式・広田式(すべて1点ずつ)	?	1							101
新延貝塚	鞍手郡鞍手町新延字犬丸ほか	丘陵上	4~6m	縄文~古墳	管畑式・轟B式・並木式・船元式・里木式・阿高式(中期末)・西和田式・中津式・縄崎式・北久根山式・三万田式・晩期土器	中津式	5	12	3					21・112
下伊田遺跡	田川市伊田	低位丘陵上	40m	弥生	弥生土器	?		1						58
富地原梅木遺跡	宗像市富地原	丘陵上	30~60m	弥生	弥生土器	?	1							80
水上遺跡	古賀市新原字水上	台地上	?	縄文・古墳	後期後半土器	鳥井原式	2							11
川原西遺跡	古賀市川原	段丘上	13m	縄文~古代	阿高式系・出水式・南福寺式・小池原上層式・縄崎式	小池原上層式・縄崎式	3	4	1					189
花見遺跡	古賀市花見東	丘陵上	?	弥生	弥生土器	?	1							121
三雲遺跡	前原市三雲	扇状地上	28~44m	縄文~弥生	管畑式・西平式・三万田式・御領式・大石式・晩期土器	西平式	21	24	16		石匙1		サスカイト	19・22・28・31・43
三雲・井原遺跡	前原市三雲ほか	扇状地上	30~44m	弥生~中世	弥生土器	?		1						216
長野宮の前遺跡	前原市長野宮ノ前	沖積丘陵地上	?	縄文・弥生	中津式・阿高式系(後期初頭)	中津式		4	7					64
アミダ遺跡	嘉麻市馬見ほか	台地上	?	縄文	北久根山式・西平式・三万田式・御領式	三万田式	3	2	2				サスカイト	62
白峯遺跡	糟屋郡新宮町下府字白峯	低丘陵上	?	弥生~近代	弥生土器	?	1							85
江辻遺跡	糟屋郡粕屋町江辻	平野地上	?	縄文・古代	縄崎式・北久根山式・晩期後半土器	北久根山式	28	3	7			竪穴住居	姫島	159・206
松ヶ上遺跡	糟屋郡志免町吉原字松ヶ上	丘陵頂部	34m	旧石器~近世	弥生土器	?		1						137
高田遺跡	糟屋郡篠栗町高田字中坪	河岸段丘上	?	旧石器~近世	坂ノ下式・後・晩期土器	御領式	1以上	2	1					66
下山田遺跡	糟屋郡久山町山田字野添	?	?	弥生~古代	天城式	?	8	1						208
前田遺跡	糟屋郡久山町久原字前田	沖積平野上	34m	古墳~古代	土師器・須恵器	?	1	1						199
堀田遺跡	糟屋郡久山町久原字堀田	段丘上	42m	縄文~古代	阿高式・黒川式	黒川式	6	1	2					123
片見鳥遺跡	糟屋郡久山町久原字片見鳥	微高地上	23m	縄文~弥生	北久根山式・三万田式・御領式・黒川式?	北久根山式・三万田式	11	3	5					241
千里シビナ遺跡	福岡市西区千里字シビナ	台地上	11m前後	縄文	後期土器	三万田式	62	9	6		石錐1	溝状遺構	サスカイト	20・29
橋本一丁田遺跡	福岡市西区拾六町	沖積平野上	5.7m前後	弥生・古墳	弥生土器	夜臼式	2		1					69
拾六町ツイジ遺跡	福岡市西区拾六町字ツイジ	沖積地上	5m	弥生	弥生土器	弥生初頭		1						33
今宿五郎江遺跡	福岡市西区今宿五郎江	低台地上	6m	弥生~中世	弥生土器	?	1							49
七反田遺跡	福岡市西区吉武	低位段丘上	?	古代・中世	弥生以降土器	?	2							70
飯氏遺跡	福岡市西区飯氏字鏡原	丘陵上	14m	旧石器~弥生	弥生土器	?	2		2					107・182
橋本榎田遺跡	福岡市西区橋本字榎田	沖積微高地上	9.5m	弥生~古墳	土師器	?	1							148
古武遺跡群	福岡市西区飯盛字本名	?	?	弥生	弥生土器	?		1						143
野方塚原遺跡	福岡市西区野方字塚原	扇状地上	?	弥生	押型文	?		1						135
大原D遺跡	福岡市西区今津字小浦	丘陵上	8~60m	旧石器~弥生	押型文・阿高式系・縄崎式・西平式・太郎迫式・三万田式・北久根山式・晩期土器	広田Ⅲ式	31	9	2		不明石器1 縦匙1			133・209
大原C遺跡	福岡市西区今津	低位段丘上	5.5~31m	縄文~中世	弥生土器	?	12	1	3					118
大原A遺跡	福岡市西区今津字柳の浦	丘陵上	12~30m	縄文~中世	弥生土器	?	1						サスカイト	117



表2 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(福岡県-2)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器				遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	主体・共伴型式	石刃	刮片	つまみ形石器	その他石器			
周船寺遺跡	福岡市西区周船寺・千里	沖積微高地上	13m	縄文～弥生	西平式・後期土器・晩期土器・弥生土器	古閑Ⅱ式・黒川式	73	7	3		1		116・182・183・192・223
徳永A遺跡	福岡市西区徳永字松尾	丘陵上	18～22.8m	古代	須恵器	?		1					156
元岡・桑原遺跡	福岡市西区元岡ほか	丘陵上	?	旧石器～近世	胎元式・並木式・阿高式系・晩期土器	鐘崎式・黒川式	3	2					204・235
野多目枯渡遺跡	福岡市南区野多目字枯渡	段丘上	15m前後	縄文～古代	坂ノ下式・阿高式系・中津式	坂ノ下式	3	2				溝状遺構	34
野多目遺跡	福岡市南区野多目	中位段丘上	13.5m	弥生～中世	北久根山式・三万田式・御領式	三万田式		2					51
野多目A遺跡	福岡市南区野多目	中位段丘上	13m前後?	縄文～中世	阿高式系・三万田式・晩期土器	三万田式・広田式	8		3		○		79・144
警弥都B遺跡	福岡市南区赤水	沖積地上	18m	弥生	弥生土器	?	2						86
松原遺跡	福岡市南区松原	丘陵上	30～40m	古墳	須恵器	?		1					147
臼佐遺跡	福岡市南区臼佐	低位段丘上	12～15m	旧石器～中世	曾畑式・並木式・阿高式系・西平式系・北久根山式・晩期土器	西平式	29	3					179
笠拔遺跡	福岡市南区横手南	段丘上	14m	縄文～弥生	曾畑式	曾畑式		1					210
柏原遺跡	福岡市南区柏原字荒谷	丘陵上	65～80m	縄文	押型文・稲荷山式・早水台式・下管生B式・平橋式・田村式・寺の前式・阿高式・黒川式	押型文	33	6		石鐘2	1	サヌカイ	32・50・54
四箇遺跡	福岡市早良区四箇	高位扇状地上	20～25m	縄文～古墳	曾畑式・三万田式・晩期土器	三万田式	332	37	36	石鐘5	○	サヌカイ/鈴桶計1113点以上	8・14・35・59・78
四箇船石遺跡	福岡市早良区四箇	沖積地上	28m	弥生	弥生土器	?	2						113
次郎丸遺跡	福岡市早良区次郎丸	低位段丘上	10m前後	古代～中世	晩期土器	黒川式	1	1					145
次郎丸高石遺跡	福岡市早良区次郎丸高石	低平台地上	14m	縄文・弥生	晩期土器	西平式	4	4	1				23・146・222
高柳遺跡	福岡市早良区田村	微高地上	15m前後	縄文～中世	後・晩期土器	黒川式		1				溝状遺構	24
田村遺跡	福岡市早良区田村	平野上	15～17m	縄文～中世	曾畑式・三万田式・晩期土器	三万田式	112	14	3		7	サヌカイ	40・53・60・67
石田遺跡	福岡市早良区有田ほか	中位段丘上	15m前後	旧石器～近世	阿高式系	坂ノ下式	6	7				貯蔵穴	44・219
東入部遺跡群	福岡市早良区東入部	沖積地上	36.3m	縄文～古代	押型文・鐘崎式・北久根山式・西平式・晩期前半土器(古閑式～黒川式)	鐘崎式・北久根山式	43	32	24	石鐘2			104・105・114・134・168・181
安通遺跡	福岡市早良区東入部	低丘陵上	29.8～31.9m	中世	晩期土器	大石式	1						94
岩木遺跡	福岡市早良区東入部	沖積地上	29～34m	縄文～古墳	三万田式・古閑式	三万田式	5	1					93
飯倉A遺跡	福岡市早良区飯倉	丘陵上	?	弥生～古墳	弥生土器	?		1					87
飯倉F遺跡	福岡市早良区飯倉	丘陵上	28m	弥生～古代	弥生土器	?		1					103
脇山A遺跡	福岡市早良区脇山	扇状地上	79.5～85.8m	縄文～中世	後・晩期土器	御領式	3	2				土壌	71・104
脇山B遺跡	福岡市早良区脇山	丘陵上	79.5～85.8m	旧石器～縄文	押型文	押型文	1						115
大坪南遺跡	福岡市早良区内野	扇状地上	53m	縄文・古代	曾畑式・晩期土器	古閑式		1					169
椎原A遺跡	福岡市早良区椎原	丘陵斜面上	190～230m	旧石器～中世	押型文・轟B式・曾畑式・阿高式系・晩期土器	曾畑式	3						220
松木田遺跡	福岡市早良区早良	低位段丘上	?	縄文～中世	早期土器	櫛糸文	2						191
那珂遺跡	福岡市博多区那珂	台地上	?	弥生～中世	弥生土器	?	1				1		52
比恵遺跡	福岡市博多区博多駅南	台地上	5～11m	弥生	弥生土器	?	2	3	1				77・131
大谷遺跡	福岡市博多区東平尾字大谷	丘陵上	33m	弥生	弥生土器	?		2					68
佐原遺跡	福岡市博多区露岡	沖積微高地上	14m前後	旧石器～古代	旧石器・須恵器	?	1	1					190
東那珂遺跡	福岡市博多区東那珂	段丘上	?	縄文～古墳	晩期土器	刻目突魯文	11						178
井相田D遺跡	福岡市博多区立花寺	台地上	12m	縄文～古代	晩期土器	天城式		1					167
下月隈C遺跡	福岡市博多区大字上月隈	沖積地上	?	弥生～中世	弥生土器・須恵器・土師器	?		3					155・221
三草遺跡	福岡市博多区板付7丁目	沖積微高地上	10.5～11.5m	中世	須恵器	?		2					200
三苦遺跡	福岡市東区三苦	低丘陵上	4～22m	旧石器～中世	三万田式	三万田式	2	2	1		1		211
三苦水浦遺跡	福岡市東区三苦ほか	低丘陵上	10～40m	旧石器～古墳	弥生土器	?	4	9	3				132
梅林遺跡	福岡市城南区梅林	低丘陵上	22m	縄文～古代	縄文土器	?	1					サヌカイ	180
春田遺跡	飯塚市高田	?	40m	縄文	三万田式・御領式・広田式	広田Ⅲ式	3						63
向田遺跡	飯塚市内野字向田	扇状台地上	70～76m	縄文～中世	押型文(稲荷山式～田村式)・塞ノ神式・轟式・曾畑式・晩期土器(無文)	御領式	3					土壌	230
土取遺跡	飯塚市内野字土取ほか	扇状台地上	71～73m	縄文～中世	曾畑式・三万田式・晩期土器	大石式・古閑式	1	1					238
板田遺跡	飯塚市内野字板田	扇状台地上	75～81m	縄文～近世	黒川式	黒川式		1					238
宮田遺跡	飯塚市内野字宮田	扇状台地上	78～85m	縄文～中世	押型文・轟B式・阿高式・三万田式・晩期土器	御領式			1				238
御床松原遺跡	糸島郡志摩町御床字松原ほか	低砂丘上	5～6m	縄文～歴史	阿高系(中期)・後期後半土器	?		1					36
石崎曲り田遺跡	糸島郡二丈町石崎	低丘陵上	?	縄文～弥生	轟D式・中期(坂ノ下期?)・後期前半土器	轟D式	20以上	3					39
大坪遺跡	糸島郡二丈町石崎字大坪	丘陵上	?	縄文・弥生	曾畑式・後期・晩期土器	夜白式	9	5	3				124・125・187
二丈中学校校内遺跡	糸島郡二丈町深江字後田	砂丘上	3m前後	弥生～中世	弥生土器	?	2	1					172
上深江・小西遺跡	糸島郡二丈町深江字小西	?	7m前後	縄文・弥生	鐘崎式・北久根山式	北久根山式		25					161・173
広田遺跡	糸島郡二丈町吉井字広田	丘陵上	11m前後	縄文	西平式・鐘崎式・三万田式・御領式	御領式	18	15・未製品1	3				18・26
松葉園遺跡	大野城市乙金	丘陵上	?	旧石器～中世	弥生土器	?	1	1					212
門田遺跡	春日市上白水字門田	丘陵上	33m前後	縄文～中世	瓜形文・曾畑式・晩期土器・弥生土器	黒川式		4	1				16
柏田遺跡	春日市上白水字柏田	低位段丘上	21m前後	縄文	並木式・阿高系・北久根山式(西平式?)・黒川式・夜白式	北久根山式	231(842)	239	539	尖頭状石器2・石鐘31		住居址	6
下原遺跡	春日市上白水字下原	低位段丘上	24m	縄文～古墳	曾畑式・後・晩期土器	曾畑式	2						5
天道遺跡	春日市大和	沖積地上	?	弥生～古代	弥生土器	?		1					194
御供田遺跡	春日市春日公園	丘陵上	27.5m	弥生～古代	弥生土器	?	1						233
塔ノ原遺跡	筑紫野市	山麓	257m?	縄文～中世	西平式	西平式	2						3
道場山2地点	筑紫野市武蔵	丘陵上	58m	縄文～古代	板付Ⅱ式	板付Ⅱ式	8	1	1				13
劍塚遺跡群	筑紫野市杉塚	低台地上	?	弥生・古墳	弥生土器	?	11	2	3				12



表3 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(福岡県-3)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					遺構共伴	他石材/備考	参考文献	
					出土土器	主体・共伴型式	石刀	刮片鏃	つまみ形石器	その他石器	石核				
以来尺遺跡	筑紫野市筑紫字以来尺	台地上	38~48m	旧石器~近世	前期・晩期土器	上菅生B式	14							108・142	
貝元遺跡	筑紫野市古賀字へボノ木	河岸段丘上	?	弥生~古代	弥生土器	御領式	20		1					166	
大島遺跡	筑紫野市山家	低台地上	38m前後	弥生	北久根山式	北久根山式	1	2						27	
山家遺跡	筑紫野市山家	山麓	?	弥生~古代	なし	?	1	1						99	
日境遺跡	太宰府市向佐野	丘陵上	34~36m	旧石器~古代	早期・曾畑式・後期・晩期土器	黒川式	1							227	
宝満山遺跡群	太宰府市内山字野田ほか	低位段丘上	?	縄文~中世	縄文・土器	押型文	4	1						202	
国分松本遺跡	太宰府市国分	段丘上	?	弥生~中世	弥生土器	?		1						226	
カヤノ遺跡	太宰府市大佐野	台地上	?	縄文~近世	縄文・後・晩期土器	?	1							195	
裏ノ田遺跡	太宰府市水城字裏ノ田	低丘陵地上	39~50m	縄文~古墳	縄B式・南福寺式・福田KⅡ式・大石式・黒川式	黒川式	1		2					7	
下高橋馬屋元遺跡	三井郡太刀洗町下高橋字丸石ほか	低位段丘上	12m前後	縄文~古代	弥生土器	?	3	1						154	
山田西遺跡	筑紫郡那珂川町山田	河岸段丘上	?	縄文	坂ノ下式(1点のみ)・北久根山式・御領式・広田式	北久根山式	676	252	548		石錐等68	9	竪穴住居	81・122・207・237	
小柳遺跡	筑紫郡那珂川町山田	平地地上	33m前後	縄文・中世	曾畑式・黒川式	黒川式	11	1	1					92	
中原・ヒナタ遺跡	筑紫郡那珂川町中原	河岸段丘上	25m	縄文・古代・中世	北久根山式	北久根山式	20	6	9				土城	150・186・207	
深原遺跡	筑紫郡那珂川町中原	台地上	?	縄文	押型文・塞ノ神式・手向山式・縄B式・曾畑式・後・晩期土器	太郎迫式	29	11	17		石錐2	2		10	
鳥ノ巣A地点遺跡	筑紫郡那珂川町中原字鳥の巣	?	?	縄文	後・晩期土器	?			1					15	
立石遺跡	筑紫郡那珂川町中原立石	?	36m前後	中世	なし	なし		1						15	
井出ノ原遺跡	筑紫郡那珂川町中原字井出ノ原	台地上	?	縄文~中世	稲荷山式・早水台式・田村式・大石式・黒川式	黒川式	4	2						4	
安徳原田遺跡	筑紫郡那珂川町安徳字原田	?	?	弥生以降	弥生土器	?	2							198	
前田遺跡	筑紫郡那珂川町五郎丸字前田ほか	河岸段丘上	27m	古墳以降	阿高式	御領式	1		1					160	
平蔵遺跡	筑紫郡那珂川町上野原字平蔵	低丘陵上	?	縄文~中世	晩期土器	黒川式			1					74	
入道町遺跡	筑紫郡那珂川町下野原字入道町	丘陵上	?	縄文~中世	押型文・縄B式・後期・晩期土器	御領式	25	9	5					239	
松木遺跡	筑紫郡那珂川町松木字瀬戸口	河岸段丘上	?	縄文~中世	前期・晩期土器	西和田式・黒川式			1					48	
藪ノ内遺跡	筑紫郡那珂川町今光字藪ノ内	?	?	縄文	後期中葉	北久根山式	2		4		石錐1			15	
汐井掛遺跡	宮若市沼口字汐井掛ほか	丘陵上	75m	旧石器~弥生	?	?	3	3			石錐1			17	
牟田々遺跡	小郡市三國字牟田々	台地上	31~32m	弥生	弥生土器	?		2						9	
津古内畑遺跡	小郡市津古	台地上	?	弥生~中世	弥生土器	?	1	1						2	
津古土取遺跡	小郡市津古土取	?	?	縄文~古墳	黒川式	弥生初頭	1	1						72	
津古生掛遺跡	小郡市津古生掛	丘陵上	?	弥生~古墳	須恵器	?		1						61	
北松尾口遺跡	小郡市三沢字北松尾口	丘陵上	35~47m	縄文~弥生	早期?土器・弥生土器	?	1	1					サヌカイト	73	
一ノ口遺跡	小郡市三沢字一ノ口	丘陵上	32~49m	縄文~古墳	弥生土器	?		4						109	
三沢蓬ヶ浦遺跡	小郡市三沢字蓬ヶ浦	低丘陵地上	32~39m	縄文~弥生	弥生土器	?		1						193	
三沢北中尾遺跡	小郡市三沢	丘陵上	?	弥生~古墳	弥生土器	?		1						205	
原の東遺跡Ⅰ区	朝倉市菱野字原の東	段丘上	60.2m	縄文・弥生	早期・阿高系・晩期(広田Ⅳ期?)	広田Ⅳ式	1						羨槽墓土壇	152	
原の東遺跡Ⅱ・Ⅲ区	朝倉市菱野字原の東	段丘上	61m前後	旧石器~古代	押型文・平梅式・手向山式・阿高式系・小池原上層式・鐘崎式・晩期土器	稲荷山式	20	1						162	
鎌塚遺跡	朝倉市菱野字鎌塚	低台地上	?	旧石器~近世	曾畑式・黒川式	黒川式	7	2						83	
楠田遺跡	朝倉市杷木林田字楠田	丘陵上	60~62m	縄文~現代	塞ノ神式・縄B式・曾畑式・阿高式・太郎迫式・御領式	太郎迫式	4						不明遺構	151	
二十谷遺跡	朝倉市杷木林田字二十谷	丘陵上	75m前後	縄文・中世	早期・晩期土器	上菅生B式	8							119・151	
小覚原遺跡	朝倉市杷木大山字小覚原	丘陵上	87.6~89.3m	旧石器~古墳	晩期土器	大石式	4							151	
志波岡本遺跡	朝倉市杷木志波字岡本	尾根上	51~78m	縄文~中世	晩期土器	黒川式	3		1		石錐1			141	
笹原遺跡	朝倉市杷木久喜宮字笹原	丘陵上	77~88m	縄文~中世	塞ノ神式・阿高式系・西平式・晩期土器	古閑式		5	2		石錐3		住居	サヌカイト	140
クナラ遺跡	朝倉市杷木寒水字クナラ	丘陵上	95~110m	縄文・古墳	黒川式	黒川式	35以上	2			石匙1			139	
天園遺跡	朝倉市杷木古賀字天園	丘陵上	78~85m	縄文・古墳~中世	縄B式・曾畑式・縄D式・北久根山式・三万田式・晩期土器	曾畑式	2							127	
上池田遺跡	朝倉市杷木池田字上池田	丘陵上	71m	縄文~中世	阿高式系・鐘崎式・北久根山式・西平式・三万田式・黒川式・弥生土器	黒川式	3	3	1			土城	サヌカイト	127	
畑田遺跡	朝倉市杷木池田字畑田	丘陵上	60~67m	縄文~中世	押型文・阿高式系・西平式・鐘崎式・晩期土器	西平式・広田式	19							165	
中道遺跡	朝倉市大庭字中道	台地上	33m前後	旧石器~古代	押型文・晩期土器	押型文	8	1						126	
柿原Ⅰ遺跡	朝倉市柿原字若山	丘陵谷間	?	縄文~弥生	押型文・黒川式	黒川式	28	4	1		石錐2	1	サヌカイト	111	
柿原D地区遺跡	朝倉市柿原字若山ほか	丘陵上	80~130m	縄文~古墳	なし	なし		1						65	
長島遺跡	朝倉市須川字長島			縄文~中世	押型文・鐘崎式・北久根山式・西平式・晩期土器	西平式	7							164	
長島C地区遺跡	朝倉市須川字長島	段丘上	51.6m	縄文・古代	御手洗A式・鐘崎式・西平式・三万田式・晩期土器	西平式	6	1				1		110	
治部ノ上遺跡	朝倉市入地字治部ノ上	低位段丘上	?	縄文~中世	押型文・手向山式・晩期土器(黒川式)	手向山式	5							100	
山ノ神遺跡	朝倉市山田字山ノ神	丘陵上	56m	旧石器・縄文・古墳	曾畑式・北久根山式・黒川式	曾畑式・縄B式・黒川式	2	4	2					83	
上ノ宿遺跡	朝倉市山田字上ノ宿	丘陵上	?	旧石器~古墳	押型文・縄B式・阿高式・西平式系・晩期土器	大石式	4	1						75	
稗畑遺跡	朝倉市山田字稗畑	台地上	46.5~50m	縄文・古墳	押型文・曾畑式・並木式・南福寺式・出水式・鐘崎式・北久根山式・西平式・晩期土器	南福寺式	3		1					75	
金場遺跡	朝倉市山田字金場ほか	丘陵上	51~71m	旧石器~古墳	押型文・曾畑式・縄B式・晩期土器	古閑式	16	1	1					163	



表4 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(福岡県-4)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器					遺構共伴	他石材/備考	参考文献	
					出土土器	主体・共伴型式	石刃	刮片/鏃	出土石器 つまみ形石器				その他石器
須川ノケオ遺跡	朝倉市須川字ノケオ	盆地	?	古墳	晩期土器?	御領式	3					171	
下町外畑遺跡	朝倉市宮野	台地上	?	縄文・古代・近世	溝B式・並木式・阿高式・坂ノ下式	坂ノ下式	2					218	
矢井遺跡	朝倉市宮野	?	?	縄文・中世	並木式・西平式・三万田式・黒川式	並木式	2	1				149	
坂井田遺跡	朝倉郡筑前町朝日字坂井田	河岸段丘上	32.5m	弥生・古墳	弥生土器	?	2					240	
梶原遺跡	朝倉郡筑前町三並	尾根上	57~59m	縄文~古墳	御領式	御領式		1				82	
三並宮ノ前遺跡	朝倉郡筑前町三並字宮ノ前	丘陵上	49m	縄文~歴史	縄文土器(押型文ほか)	御領式	1	1				174	
本宮遺跡	朝倉郡筑前町三並字本宮	丘陵上	58.5m	縄文~近世	土師器・須恵器	?		1			1	175	
当町遺跡	朝倉郡筑前町中牟田字当町	河岸段丘上	22~23m	弥生・古墳	弥生土器	?	1	1				231	
鎌瀬遺跡	朝倉郡筑前町曾根田字鎌瀬	丘陵上	?	縄文~歴史	縄文土器	?	1					176	
松崎遺跡	朝倉郡筑前町吹田字松崎	丘陵上	38.5~40.0m	縄文~中世	土師器・須恵器	?		1				138	
砥上上林遺跡	朝倉郡筑前町砥上字上林	丘陵上	50m	古墳	古墳	?	1					91	
大庭遺跡	うきは市吉井町生葉字大庭	平地上	?	縄文~中世	曾畑式・太郎迫式・御領式(全6点)	御領式		1				102	
塚堂遺跡	うきは市吉井町徳丸ほか	沖積微高地	?	縄文~中世	西平式・三万田式・御領式・広田式	黒川式	6	1				30・38	
堂畑遺跡	うきは市吉井町新治字堂畑	自然堤防上	28.7m	弥生~中世	弥生土器	?	2		1			201・232	
仁右衛門畑遺跡	うきは市吉井町新治字仁右衛門畑ほか	自然堤防上	?	古墳~中世	須恵器・土師器	?	2	1				177	
柳瀬遺跡	うきは市浮羽町東原上	沖積台地上	61m	縄文・古墳	報告なし	?	189	84	287		石鏃4		229
綿打遺跡	うきは市浮羽町流川字綿打	?	?	縄文・古代~中世	晩期土器	黒川式	3				土城		203
長野古墳群	八女市長野	丘陵上	63~67m	縄文~近世	押型文	?		2					188
大草平遺跡	八女郡星野村字大草	山麓	555m前後	旧石器~縄文	押型文・塞ノ神式・並木式・阿高式	塞ノ神式・並木式		1					37
常用長田遺跡	筑後市常用字長田	低位段丘上	6~7m	弥生~近世	弥生土器	?		1					225
羽大塚山ノ前遺跡	筑後市羽大塚字山ノ前	低位丘陵上	19m	古代~近世	弥生土器	?		2					214
鶴田西牛ヶ池遺跡	筑後市鶴田字西牛ヶ池	?	?	弥生~近世	弥生土器	?		1					197
志前田遺跡	筑後市志前田	微高地	8.5m	縄文	押型文	押型文・櫛糸文		1					185
若菜立萩遺跡	筑後市若菜	低位段丘上	?	弥生~中世	弥生土器	?		1					120
榎崎遺跡	筑後市下北島字榎崎	?	?	弥生~近世	弥生土器	?		2					98
車地遺跡	久留米市藤光町字車地ほか	台地上	15m	旧石器~近世	弥生土器・須恵器・土師器	?	1	1	1				97・158
笹井原遺跡	久留米市上津町字笹井原	台地上	16m	弥生~中世	弥生土器・須恵器	?		2					158
日渡遺跡	久留米市国分町字古賀	洪積台地上	28m	縄文~中世	阿高式・北久根山式・古閑式・礫石原式	出水式	3	5			石鏃1		228
正福寺遺跡	久留米市国分町字日渡	台地上	?	縄文~近世	阿高式・南福寺式・鐘崎式・北久根山式	北久根山式	4	17	4			溝状遺構	215
山川南本村遺跡	久留米市山川町	扇状地上	24~28m	弥生~中世	弥生土器・須恵器・土師器	?		1	1				170
二本木遺跡	久留米市御井町字二本木	丘陵上	27~32m	弥生~中世	弥生土器・土師器	?	1						157
横道遺跡	久留米市御井町字大島居	段丘上	26~28m	縄文~近世	柏原式・手向山式・塞ノ神式・平袴式・轟式・曾畑式・晩期土器	早期	20				石鏃1	1	196
津福寺山遺跡	久留米市津福本町寺山	丘陵先端部	11m	縄文~近世	押型文	押型文	2						136
海津横馬場遺跡	三池郡高田町大字海津字横馬場	扇状台地上	9m	弥生~中世	弥生土器	?	20		1				234
三船山遺跡	山門郡本宮三船	山麓裾部上	48~50.5m	弥生	弥生土器	?	1						42
権現塚北遺跡	山門郡瀬高町坂田字権現	台地上	9m	縄文~弥生	広田式・黒川式	広田II式	93	4	3		石鏃1	1	47
荒田比貝塚	大牟田市倉永字荒田比	台地上	17.5m	縄文	西平式・阿高式系・南福寺式・出水式・御手洗A式・晩期土器	福田KII式	1		1				1
中尾遺跡	?	丘陵上	?	弥生	弥生土器	?		1					41



表5 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(長崎県-1)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器				石刃	剃片	共伴遺構	他石材/備考	参考文献	
					出土土器	型式	つまみ形石器	その他石器	石核							
天久保遺跡	西海市西海町天久保築字塔尾	?	40~50m	旧石器~弥生	曾畑式・刻目突帯文・弥生土器	刻目突帯文					3				281	
ケイマンゴ-遺跡	西海市西海町横瀬ケイマンゴ-	丘陵上	40~43m	旧石器~弥生	黒川式	黒川式					10	1			248	
串島遺跡	西海市大瀬戸町松島内郷串島		0.8~2.15m	縄文~古代	阿高式・西平式・刻目突帯文	西平式						2			247	
茂遺跡	雲仙市国見町神代乙東里乙	台地上	8~12m	縄文	押型文・曾畑式・西平式・三万田式・御領式・大石式・黒川式	三万田式					34	10		石鐘1	245・281	
国崎遺跡	雲仙市南串山町丙	砂礫丘上	6m	縄文~古代	並木式・阿高式・坂ノ下式・南福寺式・出水式・鐘崎式・北久根山式・三万田式・晩期(御領式?)	北久根山式			1		1	1			270	
種ノ内遺跡	雲仙市瑞穂町夏峰名字前田	丘陵上	11~15m	縄文~弥生	御領式・天城式	天城式					21				292	
坂口館跡	大村市荒瀬町	段丘上	45m	旧石器~現代	押型文・塞ノ神式・曾畑式・北久根山式・黒川式	黒川式					9	1			275	
上八竜遺跡	大村市弥崎寺町上八竜	丘陵上	90~105m	旧石器~近世	刻目突帯文	刻目突帯文					4				275	
葛城遺跡	大村市鬼橋町葛城	丘陵上	50m	旧石器~弥生	阿高式・鐘崎式・大石式?	大石式					○	4			273	
野田A遺跡	大村市鬼橋町野田	丘陵上	50~60m	旧石器~近世	北久根山式・黒川式	黒川式					○	3			273	
野田の久保遺跡	大村市立福寺町野田の久保	尾根上	94~102m	旧石器~中世	押型文・前期・後期・刻目突帯文	刻目突帯文					10	1			273	
東平遺跡	大村市木場郷字東平	丘陵上	60~65m	旧石器~縄文	なし	なし						1			253	
上長尾遺跡	大村市木場郷字上長尾	丘陵上	85~92m	旧石器~縄文	なし	なし					3				256	
鴨石遺跡	大村市徳泉川内郷鴨石	丘陵上	85~90m	旧石器~縄文	なし	なし					2	1			256	
桜B遺跡	大村市徳泉川内郷桜	丘陵上	70~77m	旧石器~縄文	出水式?	出水式						1			256	
上水計遺跡	大村市武部郷字上水計	丘陵上	67~73m	旧石器~縄文	詳細不明	?					8				256	
坂ノ下A遺跡	大村市池田郷	?	33~37m	旧石器~中世	塞ノ神式・轟式・坂ノ下式・御領式	塞ノ神式					14				261	
黒丸遺跡	大村市黒丸町	扇状地上	2~5m	縄文~中世	阿高式・黒川式	黒川式					39	6	1	1	247・283・284	
里郷遺跡	東彼杵郡東彼杵町里郷平	丘陵上	112~117m	旧石器~近代	早期土器・御領式	御領式					6	3	1		275	
小園城跡	東彼杵郡東彼杵町宿郷	台地上	28~32m	旧石器~中世	阿高式・大石式	阿高式・御領式					5	1			275	
外園遺跡	東彼杵郡東彼杵町千綿宿郷	丘陵上	63~76m	旧石器~中世	阿高式	阿高式					13	9	2		273	
白井川遺跡	東彼杵郡東彼杵町蔵本郷	微高地上	3~7m	縄文~中世	阿高式・鐘崎式・御領式?・黒川式	黒川式					28				271・274	
山角遺跡	東彼杵郡佐佐見町穂木郷字下春田	低平地上	20m	縄文	阿高式・南福寺式	阿高式					29	2			251	
上原遺跡	佐世保市上原町	台地上	77~86m	旧石器~中世	押型文・晩期(詳細不明)	押型文					5	4			266	
平川原遺跡	佐世保市世知原町上野原字平川原	台地上	510m	縄文	なし	なし					2				272	
針尾入崎遺跡	佐世保市針尾中町字入崎	台地上	25~26m	旧石器~弥生	刻目突帯文	刻目突帯文					8				255	
小野F遺跡	佐世保市小野町	低位段丘上	?	縄文・近世	曾畑式	曾畑式					5				306	
宇久山本遺跡	佐世保市宇久町平郷	台地上	15~20m	旧石器~縄文・中世	なし	なし					11				289	
宮ノ首遺跡	佐世保市宇久町本飯良郷	丘陵上	?	縄文~中世	轟C式・轟D式・曾畑式・並木式・阿高式・南福寺式・北久根山式・鐘崎式	曾畑式・阿高式						1			279	
焼山遺跡	佐世保市心野町上宇戸田焼山	丘陵上	500m	旧石器~縄文	詳細不明	?					85	12	15	15	243	
岩下洞穴	佐世保市松瀬町岩下	段丘上	200m	縄文	押型文・曾畑式・轟式・阿高式	曾畑式					9	78	11	石鐘2	4	242
門前遺跡	佐世保市愛宕町	低地上	?	縄文~近世	早期土器・坂ノ下式・黒川式・刻目突帯文	黒川式					2	2			309	
古田遺跡	佐世保市小佐々町楠泊免吉田	谷	3~5m	縄文~古墳	阿高式・北久根山式・黒川式	黒川式					6	1			サヌカイト	264
樓樁田遺跡	松浦市志佐町白底免字日ノ前1カ	低丘陵上	7~15.5m	旧石器~近世	曾畑式・阿高式・坂ノ下式	曾畑式					1	4			263	
既谷城跡	松浦市今福町東免	山上	110~135m	中世	中世以降	なし					4	1			304	
下谷遺跡	松浦市御厨町西木場免	沖積平野上	1.1~3.2m	縄文・中世	並木式・阿高式・坂ノ下式・鐘崎式・北久根山式・三万田式・御領式・黒川式	坂ノ下式・北久根山式					115	25	9		ドングリビット	302
田口高野遺跡	松浦市御厨町西木場免	低位台地上	?	旧石器~縄文	なし	なし						2			296	
小船遺跡	松浦市御厨町山根免	低位台地上	?	旧石器~縄文・中世	なし	なし					9				295	
肥原太郎遺跡	島原市北本木町字肥賀太郎	?	?	縄文~古墳	塞ノ神式・押型文・黒川式	黒川式					12				272・308	
小原下遺跡	島原市有明町大三東乙	丘陵上	20~25m	縄文	西平式・三万田式・御領式・黒川式	西平式					20	2			258	
大野原遺跡	島原市有明町大三東字大野原	台地上	17~28m	縄文~古代	北久根山式・西平式・太郎追式・三万田式・鳥井原式・御領式・古園式	太郎追式					114	27	2	石鐘4	297・305	
一野遺跡	島原市有明町大三東甲	段丘上	10~20m	縄文~中世	押型文・手向山式・並木式・阿高式・三万田式・黒川式	早期					1				299	
東鷹野遺跡	島原市有明町字東鷹野	台地上	190~200m	縄文・近世	押型文・御領式・黒川式	黒川式					9				298	
神田原遺跡	島原市神田町	平地上	?	縄文~中世	礫石原式(黒川式並行)	礫石原式					28				287・291・294	
礫石原遺跡	島原市礫石原町	山麓扇状地上	230~300m	縄文	黒川式	黒川式					4				278	
鱒川貝塚	五島市岐宿町岐宿字白餅田	湾岸部	7m	縄文	並木式・阿高式・南福寺式・鐘崎式	阿高式					7	3			254	
大浜遺跡	五島市	丘陵上	?	縄文~中世	並木式・阿高式・坂ノ下式・出水式・鐘崎式・北久根山式・三万田式・黒川式	鐘崎式・北久根山式						3			290	
中島遺跡	五島市浜町大坪	後背湿地上	3~6m	縄文	轟B式・曾畑式・阿高式・坂ノ下式・南福寺式・出水式・御手洗式・鐘崎式・北久根山式・西平式・三万田式	北久根山式					12	1			サヌカイト	285
白浜貝塚	五島市向町	砂丘上	?	縄文~弥生	塞ノ神式・曾畑式・阿高式・鐘崎式・北久根山式・市来式・黒川式・刻目突帯文	鐘崎式・北久根山式					97	18	10	石鐘5	針尾	250
下末宝遺跡	五島市深江町甲下末宝	?	?	縄文	摺系文・押型文・阿高式・鐘崎式・三万田式	早期					2		1		針尾	307
権現脇遺跡	五島市深江町戊大野木場	扇状地上	218~235m	縄文~弥生	押型文・摺系文・手向山式・妙見天道ヶ道式・曾畑式・三万田式・御領式・天城式	御領式					26	2			310	



表6 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(長崎県-2)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片燧	つまみ形石器	その他石器	石核			
宮下貝塚	五島市富江町富江宮ノ下	?	?	縄文	縄B式・縄D式・船元式・春日式・並木式・阿高式・坂ノ下式・出水式・御手洗A式・御手洗C式・市来式・鐘崎式・北久根山式・三万田式	北久根山式	14	2	1					293
西輪久道遺跡	諫早市久葉町	河岸段丘上	20~30m	旧石器~縄文	押型文・塞ノ神式・縄式系	押型文	21		1			1		256・252
牛込遺跡	諫早市貝津町	低丘陵上	23~25m	旧石器~縄文	手向山式・平橋式・塞ノ神式・曾畑式?	早期	31	1						253
平遺跡	諫早市貝津町字平	低地上	26~29m	旧石器~縄文	押型文・塞ノ神式・縄式・阿高式	塞ノ神式	13				石匙1			257
有喜貝塚	諫早市松里町	丘陵上	14~16m	縄文~弥生	阿高式・坂ノ下式・南福寺式・出水式・中津式・福田K II式・御手洗A式・鐘崎式・市来式・北久根山式	坂ノ下式・出水式・鐘崎式	10	1						259
平山遺跡	諫早市栗面町	丘陵上	50m	旧石器~古墳	弥生土器	?	9							252
伊木力遺跡	諫早市多良見町船津郷	湾岸部	?	縄文~中世	縄式・曾畑式・並木式・阿高式・坂ノ下式・出水式・御手洗A式・大石式?	南福寺式・坂ノ下式・出水式	9	4	2		石匙1			282・286
名切遺跡	志岐市郷ノ浦町	海岸上	0~2m	旧石器~縄文	縄式・曾畑式・並木式・阿高式・坂ノ下式・中津式・北久根山式・鐘崎式・黒川式	阿高式	94	28			石匙6・石匙1			260
浜泊遺跡	南松浦郡新上五島町女住郷頭ヶ島	斜面上	?	縄文	縄式・曾畑式・阿高式・西平式?	阿高式	3	1						246
供養川遺跡	平戸市大久保町供養川	?	?	縄文	縄B式・曾畑式・船元式・春日式	曾畑式	5							303
千里ヶ浜遺跡	平戸市川内町千里ヶ浜	砂浜	?	縄文	縄B式・曾畑式・船元式・春日式・並木式・阿高式・坂ノ下式・中津式・西平式	阿高式		2						300
馬込遺跡	平戸市紐差町	低地上	6~20m	縄文~弥生	報告なし(晩期?)	なし	1	1						280
火除遺跡	平戸市紐差町	低丘陵上	?	旧石器	なし	なし		1						277
神の池遺跡	平戸市大石町	丘陵上	45m	旧石器	なし	なし	1	2						276・277
津田の原遺跡	平戸市赤松町字津田	丘陵上	96~97m	旧石器	なし	なし	1							269
津吉遺跡群	平戸市津吉町	丘陵上	5~20m	旧石器~弥生	刻目突帯文	刻目突帯文	4	2						268
里田原遺跡	平戸市田平町里免尾藤	低湿地上	?	弥生~古墳	押型文・上菅生B式?	?		3						265
つくめのはな遺跡	平戸市田平町野田免	急崖下	7m	縄文	平橋式・縄B式・坂ノ下式・阿高式	坂ノ下式	6	1						267
磨屋町遺跡	長崎市諏訪町	?	?	縄文・近世	太郎道式・黒川式	黒川式	1	2			石匙1			301
柿泊遺跡	長崎市柿泊町	丘陵上	130~160m	旧石器・縄文	曾畑式・黒川式	黒川式	4	2						288

表7 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(佐賀県-1)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片燧	つまみ形石器	その他石器	石核			
切畑遺跡	神埼市神埼町城原字上朝日	丘陵上	35m	旧石器~中世	押型文・塞ノ神式・晩期前葉土器?	?		2						338
朝日北遺跡	神埼市神埼町城原字朝日	丘陵上	40~77m	弥生・古墳	弥生土器	?		2						336
船塚遺跡	神埼市神埼町志波屋	段丘上	40m	旧石器~近世	押型文・縄B式・曾畑式・船元式・西和田式?・御領式?	曾畑式	25	1						360
浦田遺跡	神埼市吉野ヶ里町三津字上三津西	丘陵上	39~42m	縄文~古代	押型文・曾畑式(最多)・阿高式・鐘崎式・晩期土器	曾畑式	1					サヌカイ		321
寺ヶ里遺跡	神埼郡吉野ヶ里町三津	丘陵上	44~50m	縄文・古墳	塞ノ神式・北久根山式(同程度)	北久根山式	1							319
戦場遺跡	神埼郡吉野ヶ里町三津字戦場	丘陵上	41~45m	縄文	押型文・阿高式・後・晩期土器(同程度)	鐘崎式	1	1						319
長尾開拓遺跡	多久市南多久町長尾字米満	台地上	16.6~23m	旧石器~縄文	なし	なし						サヌカイ		328
久保泉丸山遺跡	佐賀市久保泉町川久保	段丘上	35~40m	縄文~古墳	押型文・平橋式・塞ノ神式・阿高式・後期後葉・晩期前半土器	黒川式	1	1				サヌカイ		327
西原遺跡	佐賀市久保泉町川久保字西原	緩斜面上	?	旧石器~中世	晩期前半土器	古閑式	4					サヌカイ		321
藤付遺跡	佐賀市久保泉町川久保字藤付	丘陵上	?	縄文~古墳	鐘崎式・三万田式・御領式	鐘崎式		1						316
藤附A遺跡	佐賀市久保泉町川久保字藤附	丘陵上	24~48m	縄文~中世	押型文・南福寺式・鐘崎式・後・晩期土器(後晩期多い)	古閑式	1	1						319
徳水遺跡	佐賀市久保泉町上和泉字徳水	微高地上	?	縄文~中世	阿高式	阿高式		3						361・362
金立開拓遺跡	佐賀市金立町金立字五本黒木	段丘上	30~35m	縄文~近世	押型文・平橋式・手向山式・曾畑式・縄B式・船元式・阿高式・西平式・三万田式・御領式	御領式	5	7	2			住居	サヌカイ	323
三郎山遺跡	佐賀市金立町金立字十一本杉	丘陵上	40~50m	古墳	須恵器	?	2							319
大門西遺跡	佐賀市金立町金立字十一本杉	丘陵上	35~40m	縄文~古代	押型文・前期~晩期土器(型式名未記載)	古閑式	7	1						317
大野原遺跡	佐賀市金立町金立字大野原	扇状地上	8.5~10.5m	縄文~中世	押型文・曾畑式・弥生土器	押型文	1	1						340
来迎寺遺跡	佐賀市金立町三本黒木・七本杉	丘陵谷部	?	縄文~弥生	阿高式・南福寺式・出水式・中津式・黒川式	阿高式	11		3					322
大門遺跡	佐賀市金立町大門	?	?	縄文~弥生	曾畑式・御領式・夜白式	曾畑式・御領式			1			サヌカイ		311
香田遺跡	三養基郡みやき町養原字香田	台地上	60~70m	縄文・古墳	押型文・平橋式(II式)・縄B式・曾畑式・阿高式(坂ノ下I式)・後・晩期土器(黒川式並行期)(後晩期多い)	御領式					石匙1			319
坊所三本松遺跡	三養基郡上峰町坊所	段丘上	8~9m	縄文~古代	弥生土器	?		1						354
千塔山遺跡	三養基郡基山町宮浦字塔	丘陵上	53m	弥生~中世	弥生土器	?		3						313
平原遺跡	鳥栖市楯比町平原ほか	?	?	縄文・古墳	縄文・古墳	黒川式	2	2	1					339
本川原遺跡	鳥栖市永吉町本川	段丘上	20~30m	縄文~歴史	黒川式	黒川式	3				石匙1	袋状堅穴		415



表8 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(佐賀県-2)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片鏃	つまみ形石器	その他石器	石核			
蔵上遺跡	鳥栖市蔵上町	微高地上	27m	縄文	太郎迫式・三万田式・鳥居原式・御領式・広田式	三万田式	3	24			石鏢2		サヌカイト	358
西田遺跡	鳥栖市山浦町西田	丘陵上	?	縄文・古墳	押型文・船元式・晩期土器	早期	2	1						351
大深田遺跡	唐津市柏崎字大深田	低丘陵上	4~5m	弥生~古墳	夜臼式・板付式・土師器	?		1						318
牟田辻遺跡	唐津市枝去木矢倉	丘陵上	153.5m	縄文	旧石器~縄文	押型文・山形文	早期		1					314
草履作遺跡	唐津市枝去木字草履作	台地上	?	旧石器~縄文・中近世	爪形文・条痕文・後期土器	後期後半	10	1			1			330
枝去木山中遺跡	唐津市枝去木字山中	低丘陵地上	147m	旧石器~縄文	早期~前期土器?	?	4							325
徳蔵谷遺跡	唐津市佐志字徳蔵谷	丘陵上	?	縄文~近世	阿高式系・中津式・出水式・鐘崎式・北久根山式・西平式	坂ノ下式	94	38	31		石鏢3	1		343・346・368・369
八幡溜第II遺跡	唐津市佐志字八幡	台地上	120~130m	旧石器~縄文	三万田式?	三万田式	3	2						352
佐志日焼遺跡A地点	唐津市佐志字日焼ほか	丘陵上	160m	旧石器~縄文	押型文	?	2							325
半田新田遺跡	唐津市半田字新田	低湿地上	?	弥生~中世	黒川式	黒川式	12							366
外原遺跡	唐津市半田字外原	?	?	古墳~近世	なし	なし	3							365
東山I遺跡	唐津市字東山	台地上	207m	旧石器~古墳	押型文・黒川式	押型文・黒川式			1					364
菅牟田遺跡群	唐津市菅牟田字黒龍ほか	台地上	150~200m	旧石器~縄文	なし	なし	6	1						329
菅牟田荒谷遺跡	唐津市菅牟田字荒谷	台地上	204~208m	旧石器~中世	押型文・轟B式・曾畑式・並木式・船元式・中津式・御領式	中津式・御領式	11	2	2					363
菅牟田西山遺跡	唐津市菅牟田字西山	丘陵上	207m	旧石器~近世	押型文	押型文			2					357
雲透遺跡	唐津市湊町字雲透	台地上	?	旧石器~弥生	弥生土器	?	1	2	1					353
十瀬II遺跡	唐津市湊町字十瀬	台地上	140~156m	旧石器~縄文	黒川式	黒川式	11	1						341
湊松本遺跡	唐津市湊町字松本	砂丘上	?	縄文~中世	後期後半	後期後半	1	2	1					333
山田団六遺跡	唐津市山田字団六	丘陵上	195~197m	旧石器~縄文	なし	なし	5							350
唐ノ川高峰遺跡	唐津市唐ノ川字高峰	台地上	170m	旧石器~縄文	押型文・曾畑式・船元式・後期・晩期土器	黒川式	46	20	14			3		344・347
梨川内村前遺跡	唐津市梨川内字村前	丘陵上	90~150m	旧石器~弥生・近世	御領式?	御領式	2							345
中尾二ツ枝遺跡	唐津市大良中尾字二ツ枝	台地上	102~104m	旧石器~縄文	押型文・轟B式・曾畑式・船元式・曾畑式・船元式・並木式・阿高式・中津式・御手洗a式・福田KII式・鐘崎式・西平式・三万田式・山ノ寺式・弥生土器	曾畑式		1			石鏢1			334
菜畑遺跡	唐津市菜畑字松円字	丘陵上	2~3m	縄文~弥生	山ノ寺(弥生)	山の寺(弥生)	1	1	2					320
馬川谷口遺跡	唐津市七山馬川字谷口	丘陵上	245~255m	旧石器~近世	塞ノ神式・平楯式・曾畑式・坂ノ下式・出水式	坂ノ下式・出水式	2	6						367
小川島貝塚	唐津市呼子町小川島	湾岸部	7~9m	縄文~弥生	阿高式・坂ノ下式・鐘崎式	鐘崎式	3	1						312
赤坂III遺跡	唐津市肥前町赤坂字太田	丘陵上	180m	旧石器~弥生	早期・中期土器(詳細報告なし)	?	6	5						349
新木場東遺跡	唐津市肥前町新木場字東	丘陵上	170m	旧石器~縄文	報告なし	?		2						335
小平遺跡	唐津市肥前町星賀字小平	丘陵上	100m	旧石器~縄文	押型文・鐘崎式	鐘崎式		2						324
赤松海岸遺跡	唐津市鎮西町石室赤松	湾岸部	10m前後?	縄文	塞ノ神式・轟B式・轟C式・曾畑式・並木式・阿高式・出水式・御手洗A式・中津式・鐘崎式・北久根山式・西平式・三万田式	鐘崎式	19	7	4		2		サヌカイト	331
鳥ノ巣遺跡	唐津市鎮西町波戸	丘陵上	?	縄文~弥生	弥生土器	?	4	1						322
空山遺跡	小城市津津町上砥川字空山	丘陵上	60m	縄文~中世	土師器	?		1						355
午辰遺跡	伊万里市大坪町字午辰・辻の前	丘陵上	9~12m	縄文~中世	樺糸文・前期瀬戸内型・北久根山式・太郎迫式・三万田式・御領式・黒川式	太郎迫式	9	3	8		2	土塚		359
加志田遺跡	伊万里市大坪町字加志田	丘陵上	27m	縄文	不明(ほとんどなし)	?	1							337
樽浦遺跡	伊万里市木須町樽浦	尾根上	32m	縄文	押型文	押型文	2	2						356
宮ノ前北遺跡	伊万里市木須町字宮ノ前	扇状地上	4.5~16m	縄文・古墳・中世	曾畑式・坂ノ下式・中津式・福田KII式	坂ノ下式	5							348
鈴桶遺跡	伊万里市二里町字鈴桶	丘陵上	100~200m	旧石器・縄文	なし	なし(原産地)	○				○			326
西百合野遺跡	杵島郡江北町山口	丘陵上	145~153m	縄文~中世	黒川式?	黒川式	6							342



表9 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(熊本県)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片	つまみ形石器	その他石器	石核			
伊板上原遺跡	菊池市旭志伊板上原	台地上	約100m	縄文～近世	三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式	三方田式～御領式	8					溝状遺構		377
方保田東原遺跡	山鹿市方保田東原	河岸段丘上	35～40m	弥生～古墳	弥生土器	?	1							374
城下原遺跡	山鹿市城下原	台地上	50m	縄文	西平式・三方田式	西平式	2							373
梅迫遺跡	山鹿市城松の木原	台地上	?	縄文・弥生・古代	太郎迫式・鳥井原式・三方田式・御領式・天城式・古閑式	鳥井原式	5	1						
木柑子下原遺跡	菊池市木柑子字西ノ平	台地上	?	縄文・古墳	辛川式・三方田式・鳥井原式	辛川式		1						
木柑子東山ノ上遺跡	菊池市木柑子字山の上	台地上	?	旧石器・縄文・古墳・古代	辛川式・市来式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式	辛川式		1						
三万田東原遺跡	菊池市酒木町亀尾東原	?	?	縄文	三方田式	三方田式			1					
谷頭遺跡	阿蘇郡西原村河原字谷頭	丘陵上	約400m	縄文～弥生	轟B式・塞ノ神式・手向山式・古閑式	?	7							370
ワクト石遺跡	菊池郡大津町杉木川ワクト石	台地上	約140m	縄文～古代	押型文・塞ノ神式・手向山式・摺糸文・曾畑式・阿高式・御手洗A式・北久根山式・太郎迫式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式	三方田式	29	1			石錐1・石匙2			378
六地藏遺跡	菊池郡菊陽町津久礼六地藏	自然堤防上	55～59m	縄文・弥生	北久根山式・三方田式	北久根山式		1						
矢護川日向遺跡	菊池郡大津町矢護川	台地上	250m前後	弥生中期以降	御手洗B式・西平式・辛川式・黒川式	?		1						371
笹尾遺跡	熊本郡植木町木留字中土井	台地上	100m	縄文・中世～近代	西平式・三方田式	西平式	40	3			石錐1			381
太郎迫遺跡	熊本市太郎迫町	台地上	70～90m	縄文～中世	西平式・太郎迫式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式	太郎迫式	209以上	31以上	2以上		石匙1・その他6	1	サヌカイト/鈴桶計1000点以上	380
妙見遺跡	熊本市立福寺町	台地上	70～90m	縄文～中世	西平式・太郎迫式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式	太郎迫式	24							380
上南部遺跡	熊本市上南部町	河岸段丘上	48m	縄文	阿高式・北久根山式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・古閑式・黒川式	鳥井原式	24							
島崎遺跡	熊本市島崎	山地斜面	53～57m	縄文	太郎迫式・三方田式～古閑式・黒川式・剣目突帯文	三方田～古閑式		1						
鳥井原遺跡	熊本市健軍町鳥井原	台地上	?	縄文・歴史	鐘崎式・北久根山式・三方田式・鳥井原式・御領式	鳥井原式		1						
扇田遺跡	熊本市貞町	台地上	68m	縄文～古代	天城式・古閑式・黒川式・剣目突帯文	古閑式		3						
古閑遺跡	上益城郡益城町古閑	丘陵上	?	晩期	押型文・阿高式・北久根山式・大石式・古閑式	古閑式	35	2	1		1			372
古閑北遺跡	上益城郡益城町大字古閑字横道ほか	台地上	30m前後	縄文～古代	押型文・並木式・阿高式・南福寺式・出水式・福田KⅡ式・御手洗式・北久根山式・御領式・天城式・黒川式	天城式	5	3				住居	サヌカイト	379
二の峠遺跡	上益城郡益城町安永字二の峠	台地上	39m	縄文	阿高式・出水式・北久根山式・御領式・天城式・古閑式・黒川式	天城式・古閑式		1						
上の原遺跡	下益城郡城南町大字塚原字上の原	台地上	?	早期～晩期	押型文・手向山式・塞ノ神式・轟式・阿高式・南福寺式・出水式・鐘崎式・北久根山式・西平式・三方田式・御領式・天城式・古閑式・黒川式期?	黒川式		1						375
沖ノ原遺跡	天草市五和町二江字沖ノ原	砂嘴先端部	0m?	縄文～古墳	轟式・曾畑式・阿高式・南福寺式・鐘崎式・御領式	阿高式	3	2	1		剥片未製品2		サヌカイト	376

表10 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(大分県)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片	つまみ形石器	その他石器	石核			
手崎遺跡	日田市高瀬字手崎	河岸段丘上	100m	縄文～近世	轟式・西平式・三方田式	西平式	2							338
口が原遺跡	日田市高瀬字下木ノ上	台地上	155m	弥生～近世	弥生土器	?	1		2		石匙1(持ち?)	堅穴住居		389
大肥原遺跡	日田市夜明字道ノ外	河岸段丘上	?	縄文	船元式・阿高式・中津式・福田KⅡ式・宿毛式・小池原上層式・鐘崎式・北久根山式・西平式・三方田式・黒川式	鐘崎式	3							391
石ヶ迫遺跡	日田市東有田石ヶ迫	台地上	116～136m	縄文～現代	押型文・御領式	御領式	4							390
都原遺跡	玖珠郡九重町引地字都原	段丘上	?	縄文	北久根山式・西平式	北久根山式・西平式	3					住居		385
寺の前遺跡	竹田市萩町新藤字鳥井原	台地上	531～535m	縄文～弥生	押型文・摺糸文・福田KⅡ式・鐘崎式・北久根山式・御手洗A式・西平式	鐘崎式	3							382
横枕遺跡	竹田市直入町長湯字横枕	低地上	?	縄文～弥生	西平式・三方田式・鳥井原式・御領式・天城式・大石式・上菅生B式	御領式	8							383
尾畑遺跡	宇佐市山下字尾畑	段丘上	?	縄文～古代	西平式・三方田式・御領式?	三方田式	1						サヌカイト・野島	386
陽弓遺跡	国東市国東町横手字陽弓	丘陵上	65m	縄文・中世	西平式・三方田式・御領式	三方田式	7							387



表11 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(鹿児島県)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片鏃	つまみ形石器	その他石器	石核			
荘貝塚	出水市庄下	台地上	?	縄文	縄文・曾畑式	縄文	110	4						393
放光寺遺跡	出水市高尾野町下高尾野字法光寺	扇状地	?	縄文～近世	並木式・市来式?	?	1	1						392
大坪遺跡	出水市美原町	沖積地上	7～8m	縄文・古代～近代	上加世田式・入佐式・黒川式	黒川式	4	6			石鏃1			397
神田岩戸遺跡	出水市下瀬瀬字神田小字岩戸	平野	?	縄文・古墳・古代	並木式・南福寺式・出水式・西平式・松山式・上加世田式・御領式・黒川式	黒川式	141				石鏃3・石鏃1			395
山崎B遺跡	姶良郡湧水町木場牛瀬戸	丘陵辺縁部	210m	旧石器～中世	吉田式・前平式・平裕式・塞ノ神式・曾畑式・縄文・阿高式・指宿式・市来式・大石式	早期	3以上				石鏃1			394
今里遺跡	日置市東市来町伊作田字今里	台地上	83m	旧石器～歴史	前平式・深浦式・春日式・出水式・上加世田式・黒川式	黒川式	1							396
南田代遺跡	川辺郡川辺町田部田字南田代	扇状地端	?	縄文～中世	塞ノ神式・縄文・曾畑式・深浦式・阿高式・春日式・船元式・御領式・黒川式	?	1	1						398
終原貝塚	垂水市終原終原下	沖積平野上	10m	縄文・古墳	縄文系・曾畑式・深浦式・春日式・並木式・阿高式系・大平式・指宿式・市来式系・鐘崎式・北久根山式・西平式・納曾式・三万田式・御領式・上加世田式・入佐式・黒川式	市来式	7				1石鏃1			399

表12 鈴桶技法関連石器出土遺跡地名表(宮崎県)

遺跡名	所在	立地	標高	時代	土器		出土石器					共伴遺構	他石材/備考	参考文献
					出土土器	型式	石刃	剥片鏃	つまみ形石器	その他石器	石核			
ズクノ山第2遺跡	宮崎市田野町乙鹿村野	台地上	?	縄文	押型文・前平式・石坂式・中原式・下割峯式・桑ノ丸式・平裕式・塞ノ神式	早期		1						402
役所田遺跡	えびの市大字西長江浦字役所田	微高地上	238m	縄文・中世	市来式・一漢式・鐘崎式・北久根山式・三万田式・天城式・古園式	鐘崎式		2						401
内小野遺跡	えびの市大字西川北字内小野	尾根上	280～290m	縄文～中世	押型文・縄文・曾畑式・阿高式・南福寺式・出水式・西和田式・黒川式	曾畑式					石鏃1			400